

令和5年度
東広島市子ども・子育て支援に関する
ニーズ調査結果報告書

令和6年3月

東広島市

《目次》

I. 調査概要	1
II. 調査結果	2
1. 属性データ	2
(1) 年齢・学年	2
(2) 居住地区	3
(3)-1 世帯構成	3
(3)-2 両親の状況	4
(4) きょうだいの人数(本人を含む)	4
(5) 調査票回答者	4
2. 家族の状況	5
(1) 主な教育者	5
(2) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無	5
(3) 両親の就労状況	6
3. 教育・保育事業の状況	10
(1) 教育・保育事業の利用状況	10
(2) 教育・保育事業の利用希望	13
4. 育児休業	16
(1) 育児休業取得状況	16
5. 病気の際の対応	18
(1) 病気等により幼稚園・保育所・学校等を利用できなかった経験	18
(2) 病児・病後児保育施設の利用希望	20
6. 不定期の保育事業	22
(1) 不定期に利用したサービス	22
(2) 不定期に子どもを預ける事業の利用希望	23
(3) 泊りがけで子どもを預ける必要性	23
7. 放課後の過ごし方	24
(1) 放課後の過ごし方	24
(2) 放課後子ども教室の利用希望	25

8. 子育て支援センター、出産・育児サポートセンター.....	26
(1) 子育て支援センターの利用状況.....	26
(2) 出産・育児サポートセンターすくすくの利用状況.....	27
(3) 子育て支援センター及び出産・育児サポートセンターの利用理由.....	27
(4) それ以外の子育て支援事業の利用状況.....	28
(5) 1か所でまとめて行う施設.....	29
9. 子育て全般.....	31
(1) 子育て支援サービスの認知度.....	31
(2) 理想と現実の子どもの人数.....	32
(3) 子育ての楽しさや悩み.....	34
(4) 子どもの家庭での生活.....	37
(5) 相談先の有無.....	46
(6) 公的な相談窓口の利用について.....	48
(7) 子育てに関する情報取得について.....	50
(8) 健康づくり支援について.....	53
(9) 教育・保育事業や一時的な保育を行う事業について.....	54
(10) 仕事と子育ての両立.....	56
(11) 子どもの地域交流や体験について.....	57
(12) 地域の人々や社会全体の支えについて.....	58
(13) 子育て環境や支援への満足度.....	59
(14) 東広島市の子育てしやすさ.....	60

I. 調査概要

1. 調査の目的

「第3期東広島市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、東広島市在住の就学前児童及び小学生児童を持つ保護者の方に子育て家庭の実態と子育て支援ニーズを把握し、計画を検討する基礎資料とするために実施しました。

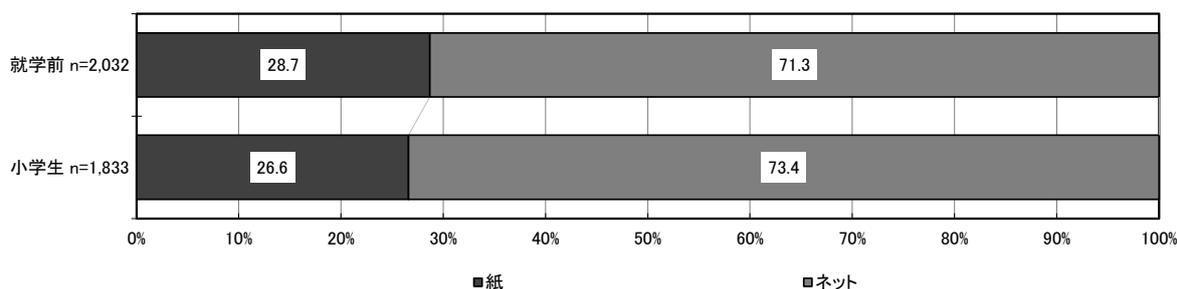
2. 実施概要

- 調査対象者 : 令和5年10月15日現在、市内に在住の方
- 対象数 : ①就学前児童保護者 3,500件 ②小学生児童保護者 3,000件
- 調査期間 : 令和5年11月8日～令和5年12月1日まで
- 調査方法 : 郵送による配布回収
※郵送調査票にQRコードを貼付してのweb回答も可能としている

3. 回収結果

	配布数	回収数	回収率
①就学前児童保護者	3,500件	2,032件	58.1%
②小学生児童保護者	3,000件	1,833件	61.1%

○ネット回答率



4. 調査集計にあたっての留意事項

○回答結果は小数点第2桁目を四捨五入しています。この関係で、単回答（複数の選択肢から一つだけを選ぶ形式）の合計値がちょうど「100.0」にならない場合があります。

○複数回答（2つ以上の回答を選ぶ形式）における割合についての単位はパーセントとしています。この場合、回答は有効標本数全体に対して各々の割合を示すものであり、各選択肢の回答を合計しても「100.0」とはなりません。

○本報告書における「N」「SA」「MA」「FA」「数量」は、それぞれ

- 「N」 = サンプル数のこと 「SA」 = 単回答のこと
- 「MA」 = 複数回答のこと 「FA」 = 自由回答のこと
- 「数量」 = 数量回答のこと を示します。

○図表中において「無回答」とある項目については、「回答のなかったもの」、もしくは「判別ができなかったもの」、「存在しない回答があったもの」などを表しています。

○本文中の設問の選択肢が長い場合は、簡略化している場合があります。

○本報告書においてクロス集計は、無回答がある為、合計人数は全体の人数と合致しません。

II. 調査結果

1. 属性データ

*規正標本数とは、回収数を母集団の年齢・地域比率に補正し、集計した数値であり、小数点第1位を四捨五入しています。

(1) 年齢・学年

就学前

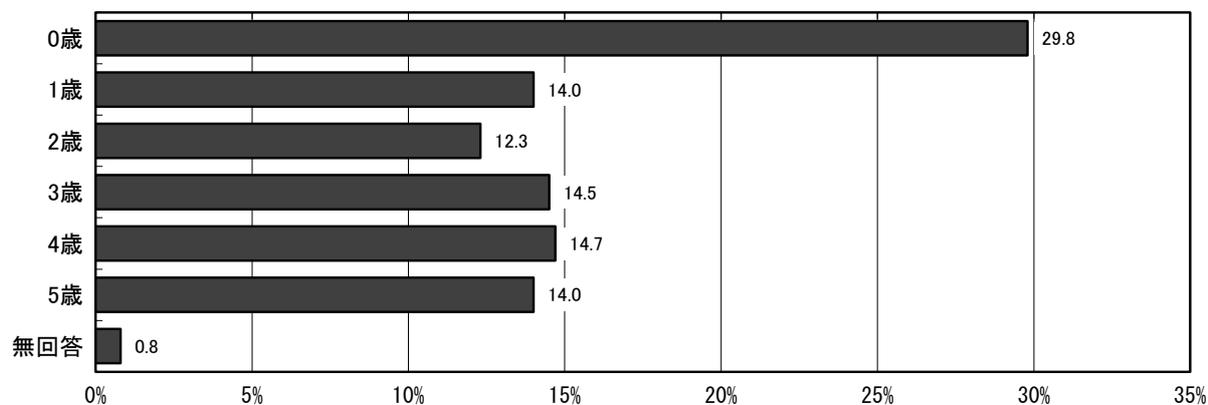
カテゴリ	回答数	規正標本数	割合
0歳	587	606	29.8%
1歳	295	284	14.0%
2歳	256	249	12.3%
3歳	298	294	14.5%
4歳	296	298	14.7%
5歳	283	285	14.0%
無回答	17	17	0.8%

小学生

カテゴリ	回答数	規正標本数	割合
1年生	311	300	16.4%
2年生	321	312	17.0%
3年生	294	284	15.5%
4年生	288	298	16.3%
5年生	310	322	17.6%
6年生	302	309	16.9%
無回答	7	7	0.4%

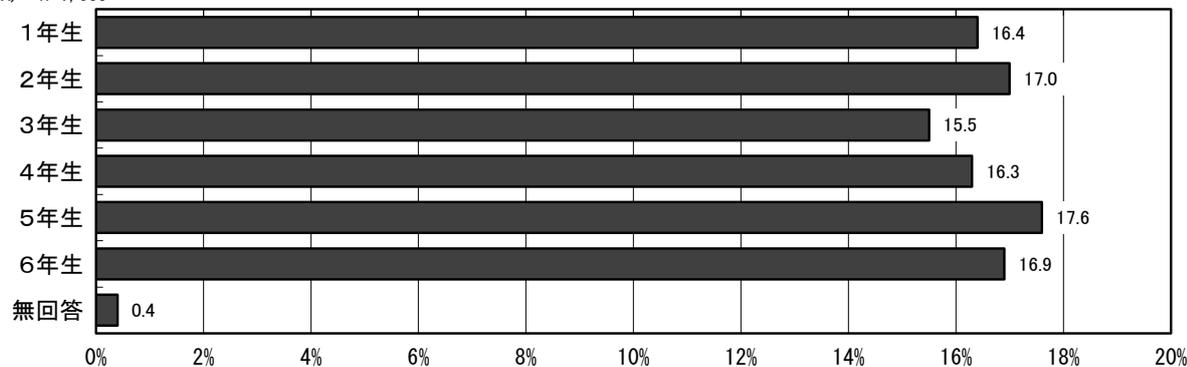
■ 就学前

(SA) n=2,032



■ 小学生

(SA) n=1,833



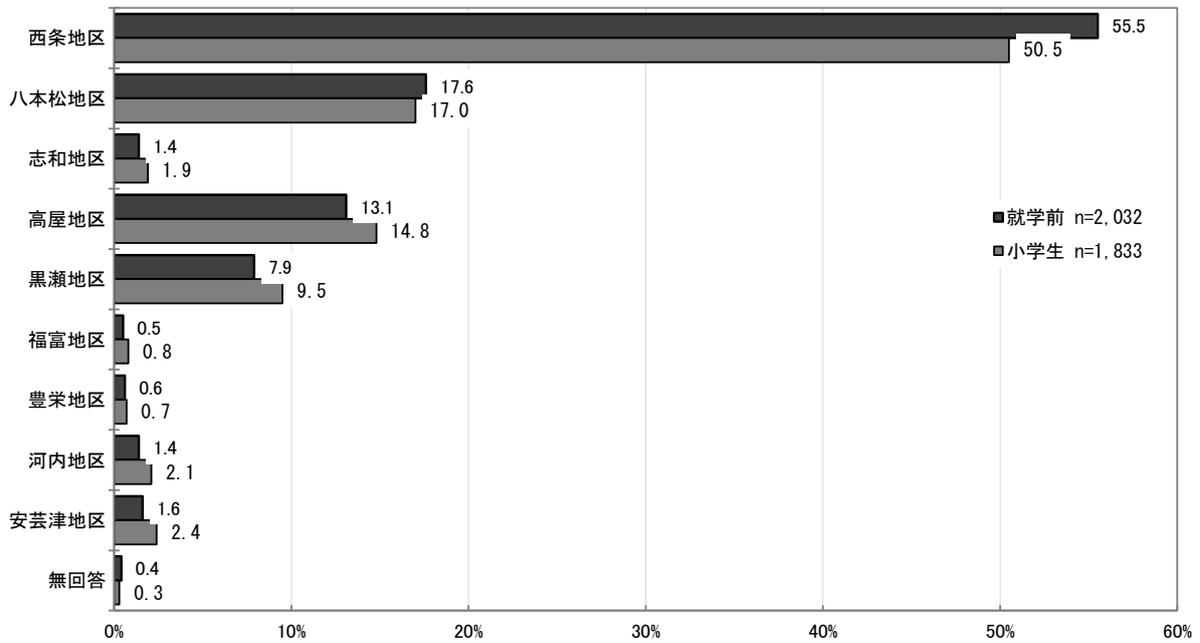
(2) 居住地区

就学前

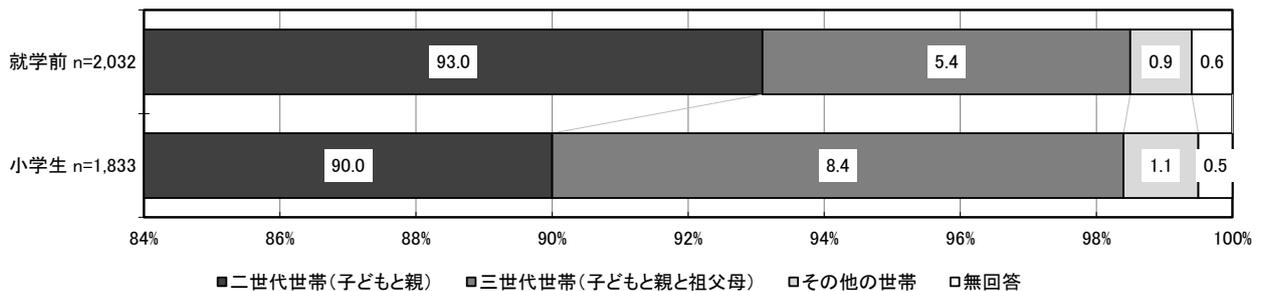
カテゴリ	回答数	規正標本数	割合
西条地区	1,003	1,128	55.5%
八本松地区	282	358	17.6%
志和地区	63	29	1.4%
高屋地区	341	266	13.1%
黒瀬地区	187	160	7.9%
福富地区	20	9	0.5%
豊栄地区	18	13	0.6%
河内地区	51	28	1.4%
安芸津地区	59	33	1.6%
無回答	8	8	0.4%

小学生

カテゴリ	回答数	規正標本数	割合
西条地区	916	926	50.5%
八本松地区	241	311	17.0%
志和地区	64	34	1.9%
高屋地区	250	271	14.8%
黒瀬地区	152	174	9.5%
福富地区	31	15	0.8%
豊栄地区	22	13	0.7%
河内地区	67	39	2.1%
安芸津地区	84	44	2.4%
無回答	6	6	0.3%

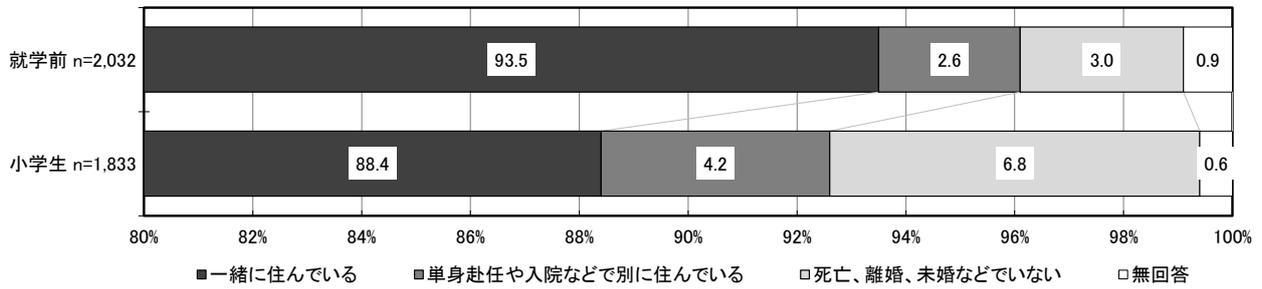


(3)-1 世帯構成

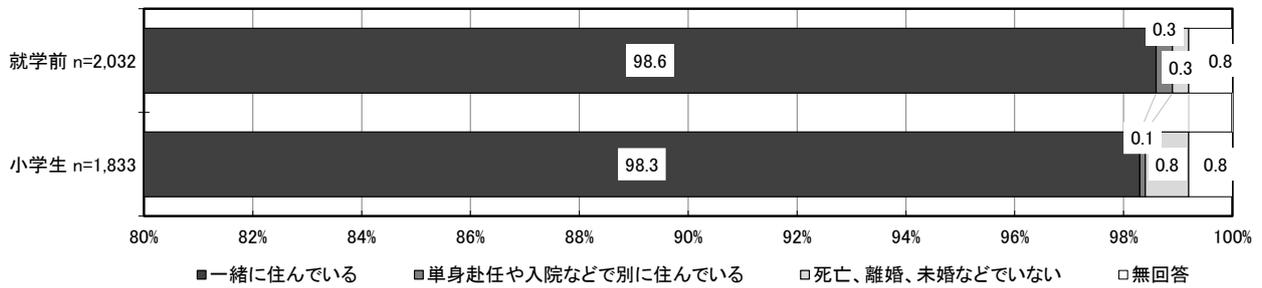


(3)-2 両親の状況

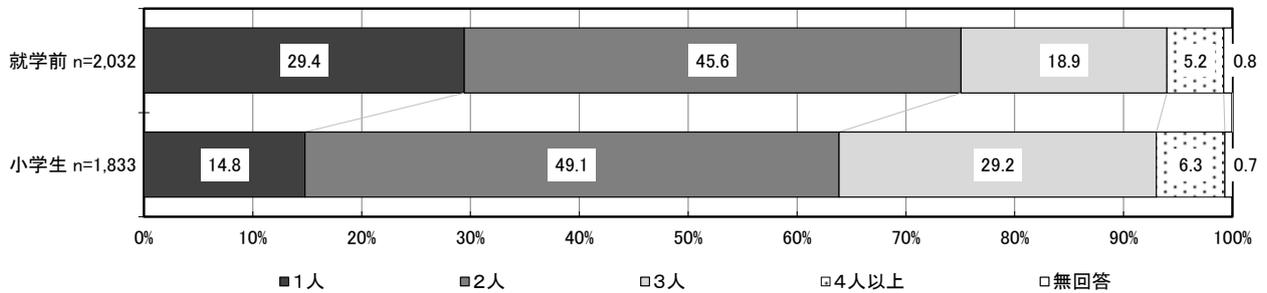
■ 父親



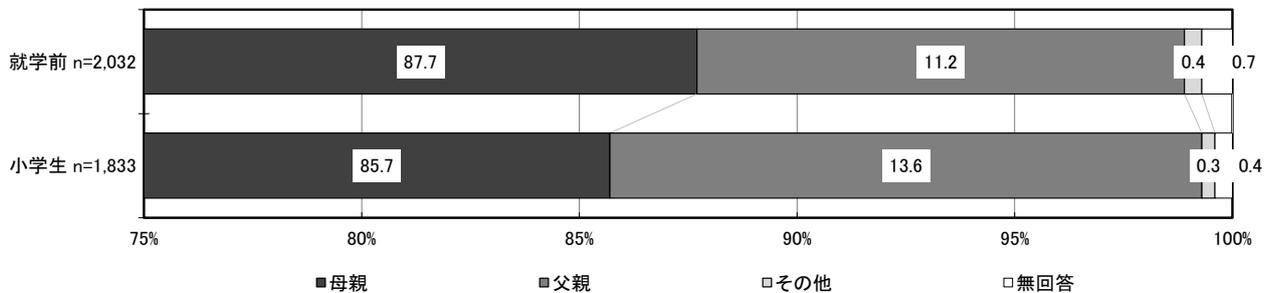
■ 母親



(4) きょうだいの人数(本人を含む)



(5) 調査票回答者

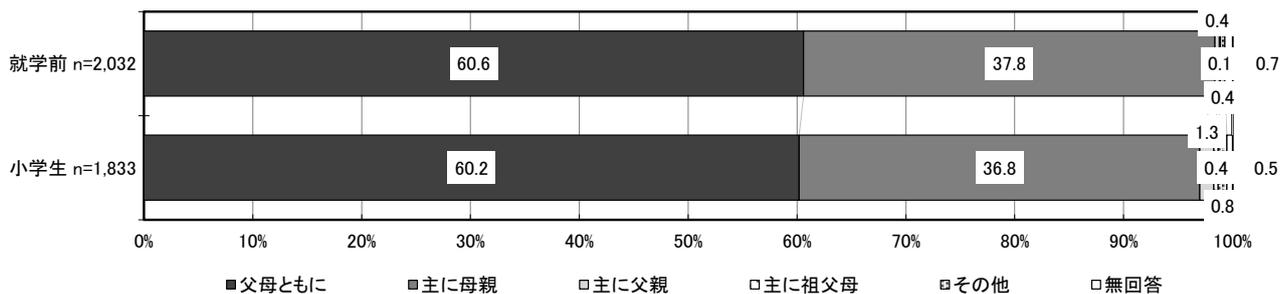


2. 家族の状況

(1) 主な教育者

① あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係で回答してください。

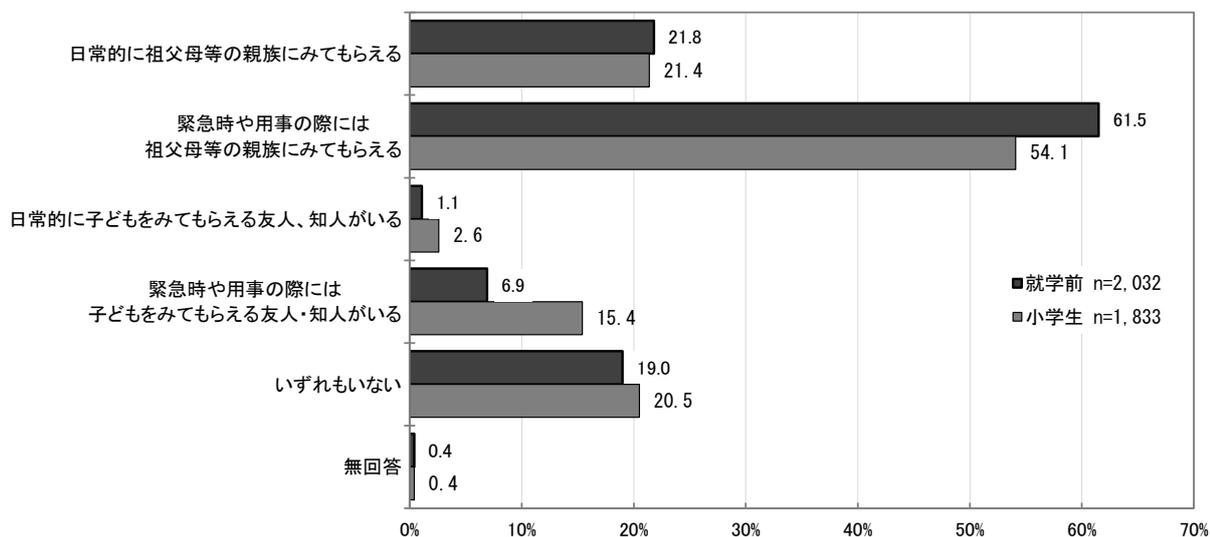
就学前、小学生ともに「父母ともに」がおよそ6割となっています。



(2) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

② 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

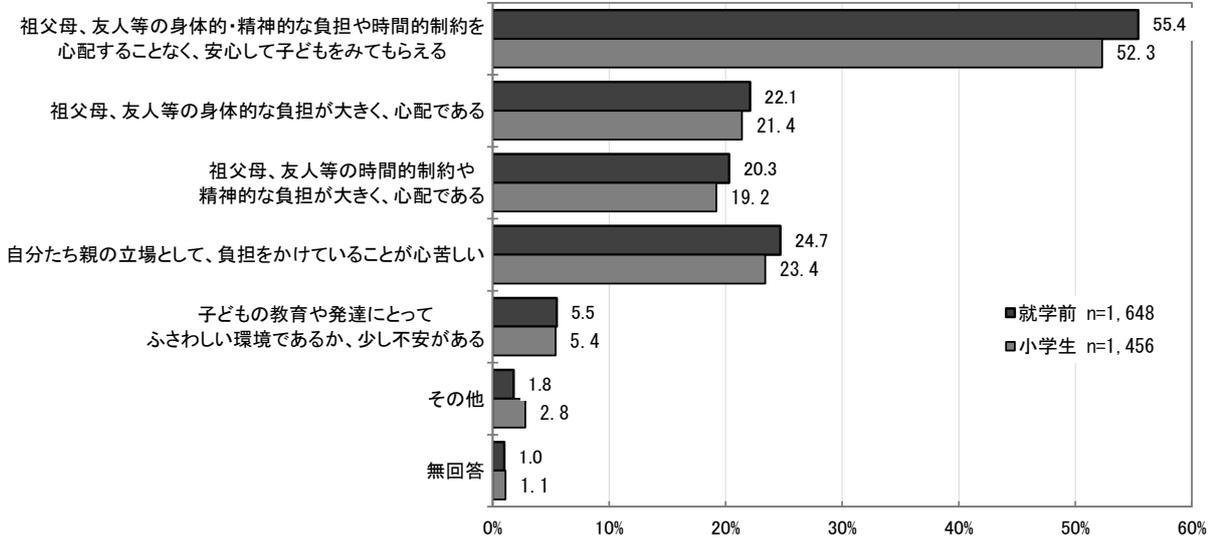
就学前に比べて、小学生では「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が低くなり、「緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる」が高くなっています。



②で「1」から「4」と回答した人

②-1 祖父母等の親族、友人、知人にお子さんをみてもらっている状況について回答してください。

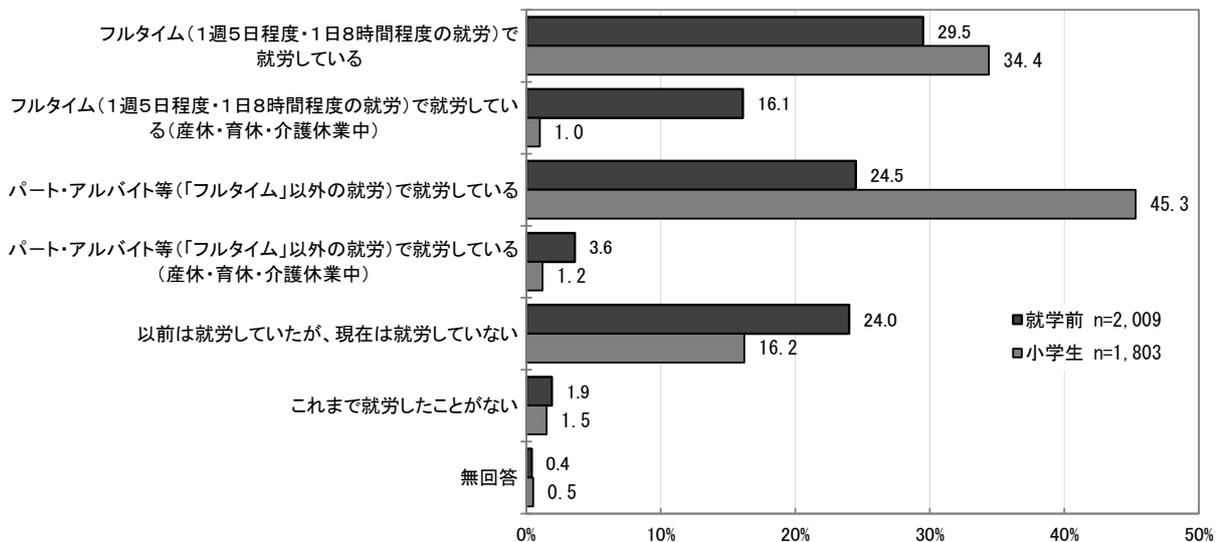
就学前と小学生では同様の傾向となっています。



(3) 両親の就労状況

③ 母親の就労状況を回答してください。

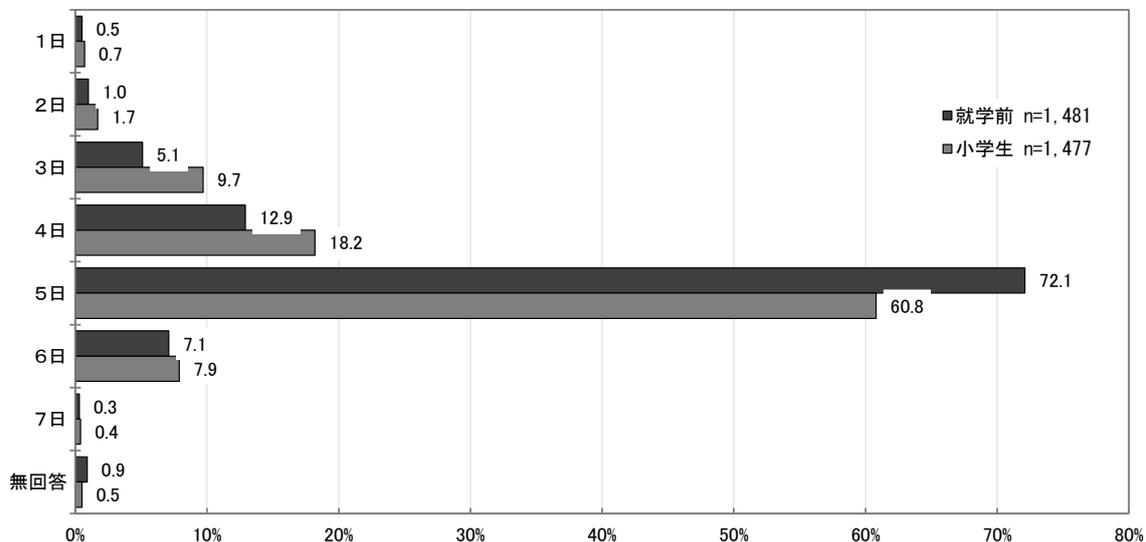
就学前に比べて、小学生では「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労している」が高く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が低くなっています。



③で「1」から「4」と回答した人

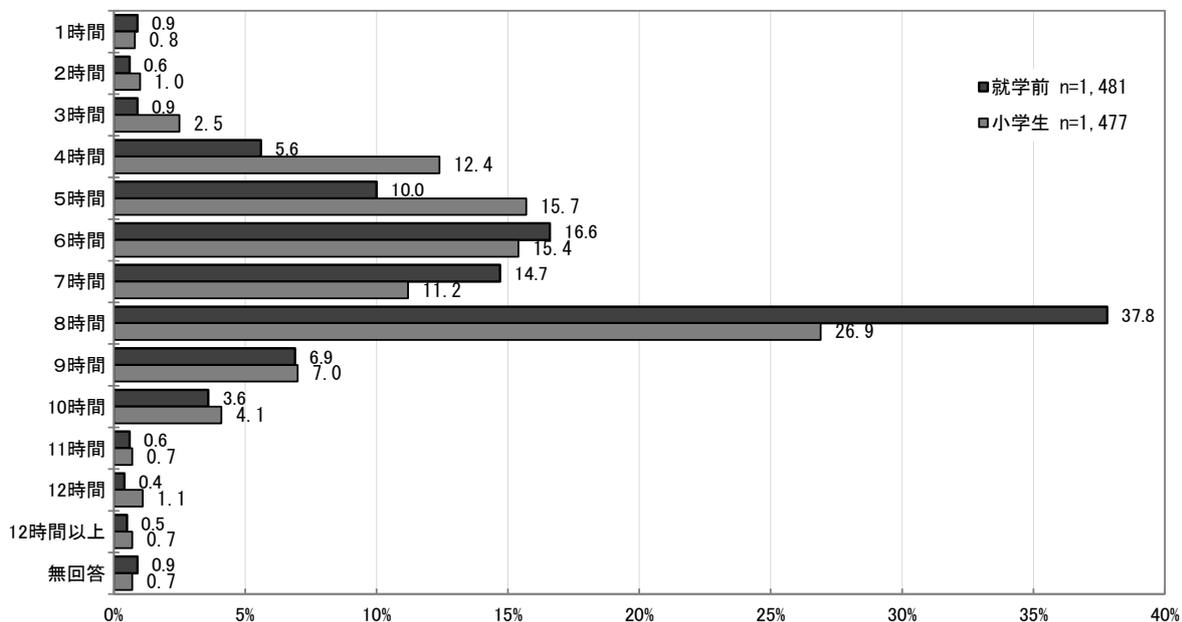
③-1 母親の1週当たりの「就労日数」を回答してください。

就学前は小学生に比べて「5日」が高くなっています。



③-2 母親の1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を回答してください。

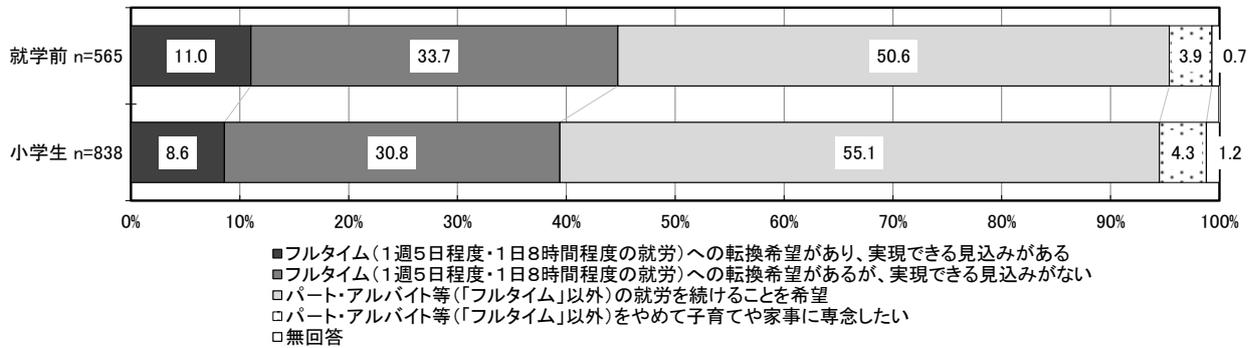
就学前は小学生に比べて「8時間」が高く、「4時間」「5時間」が低くなっています。



③で「3」「4」と回答した人

③-3 母親はフルタイムへの転換希望はありますか。

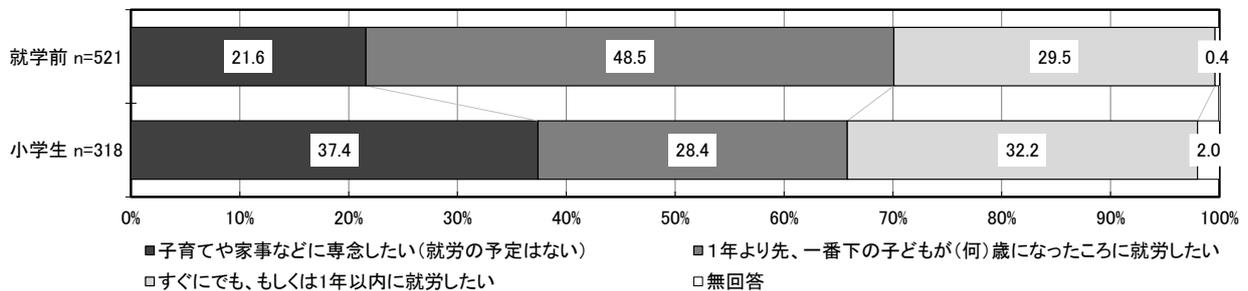
小学生は就学前に比べて「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が高くなっています。



③で「5」「6」と回答した人

③-4 母親は就労希望はありますか。

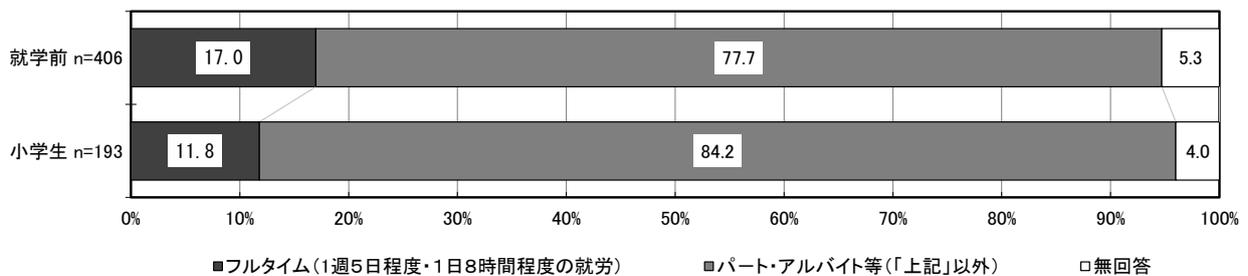
小学生は就学前に比べて「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が高く、「1年より先、一番下の子どもが(何)歳になったところに就労したい」が低くなっています。



③-4で「2」「3」と回答した人

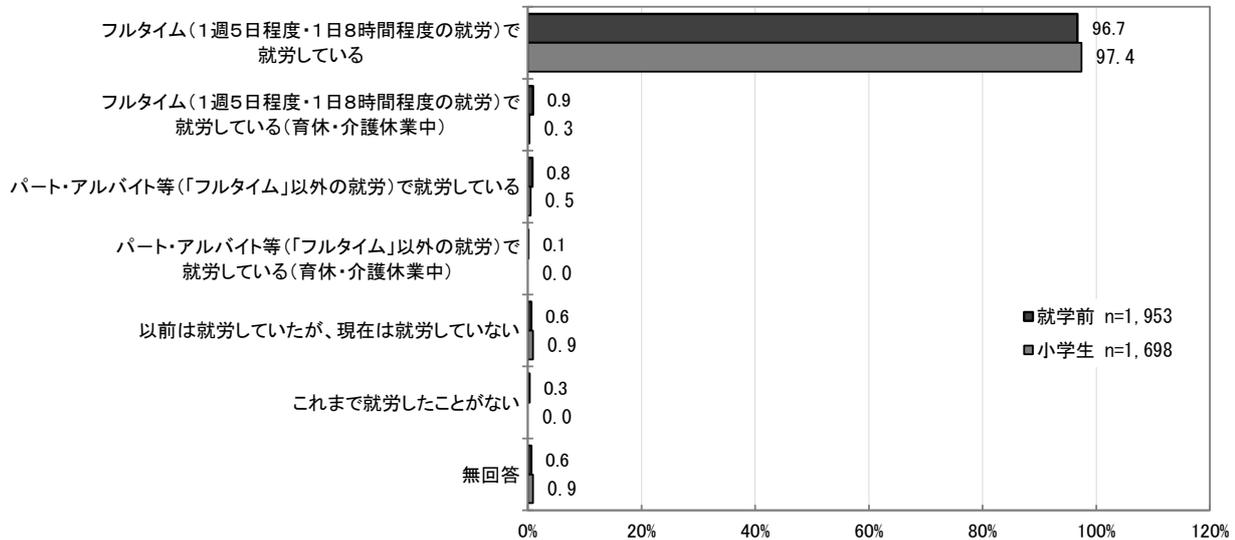
③-5 母親の希望する就労形態は何ですか。

小学生は就学前に比べて「パート・アルバイト等(「上記」以外)が高くなっています。



④ 父親の就労状況を回答してください。

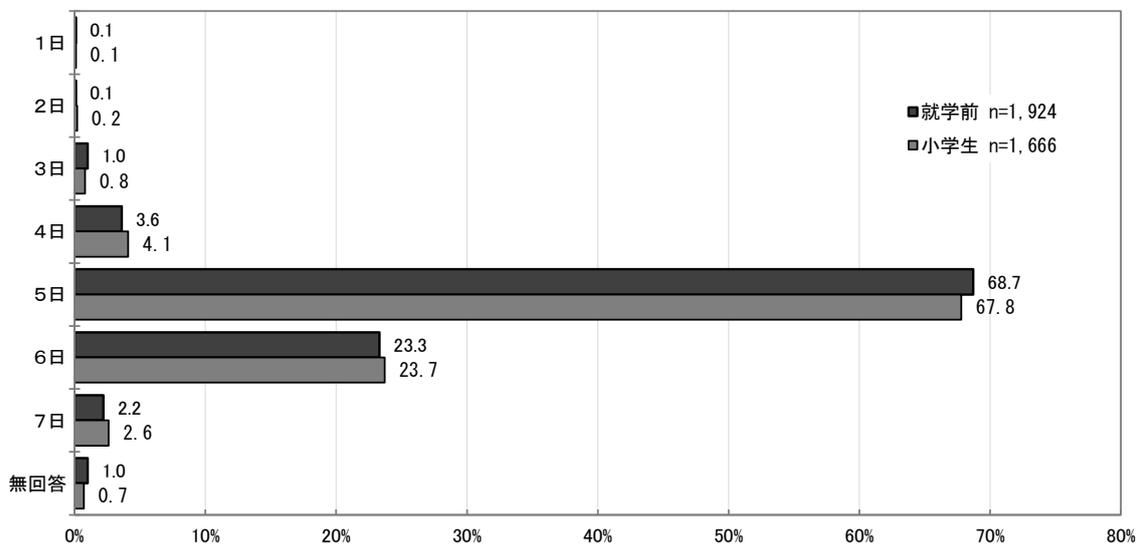
就学前と小学生では同様の傾向となっています。



④で「1」から「4」と回答した人

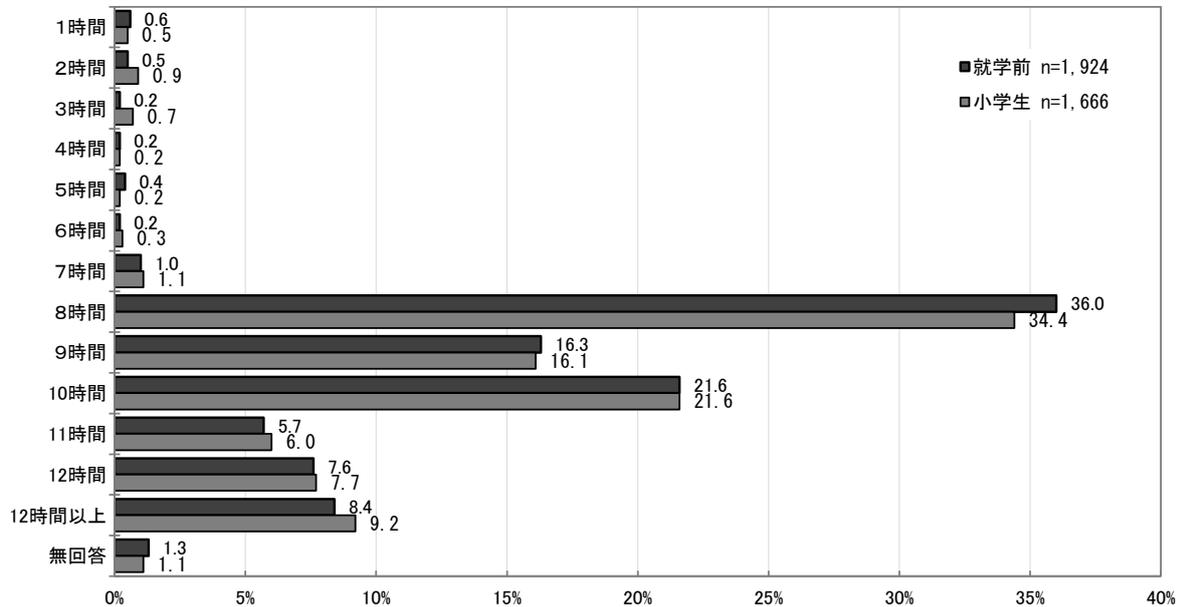
④-1 父親の1週当たりの「就労日数」を回答してください。

就学前と小学生では同様の傾向となっています。就学前、小学生ともに「6日」が23%程度となっています。



④-2 母親の1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を回答してください。

就学前、小学生ともに「12時間」「12時間以上」を合わせて16%程度となっています。

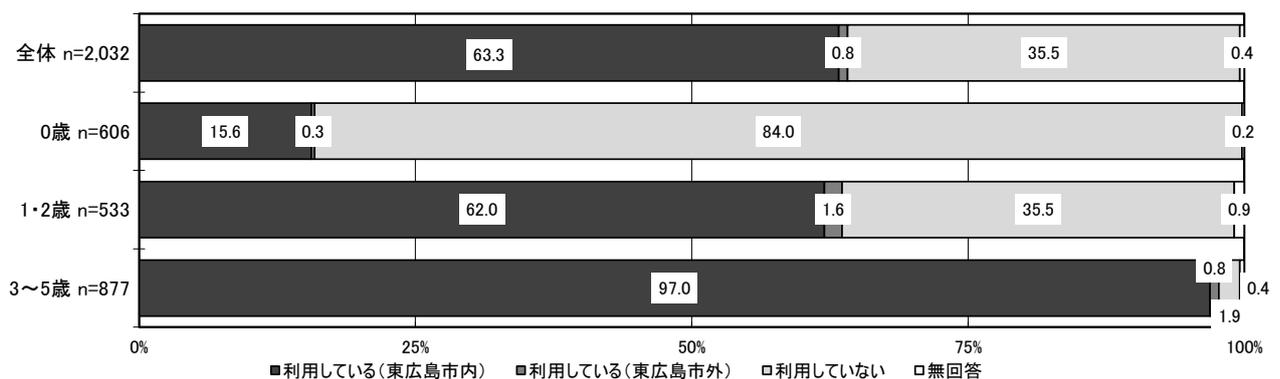


3. 教育・保育事業の状況

(1) 教育・保育事業の利用状況

⑤ あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所(園)などの定期的な教育・保育事業を利用していますか。

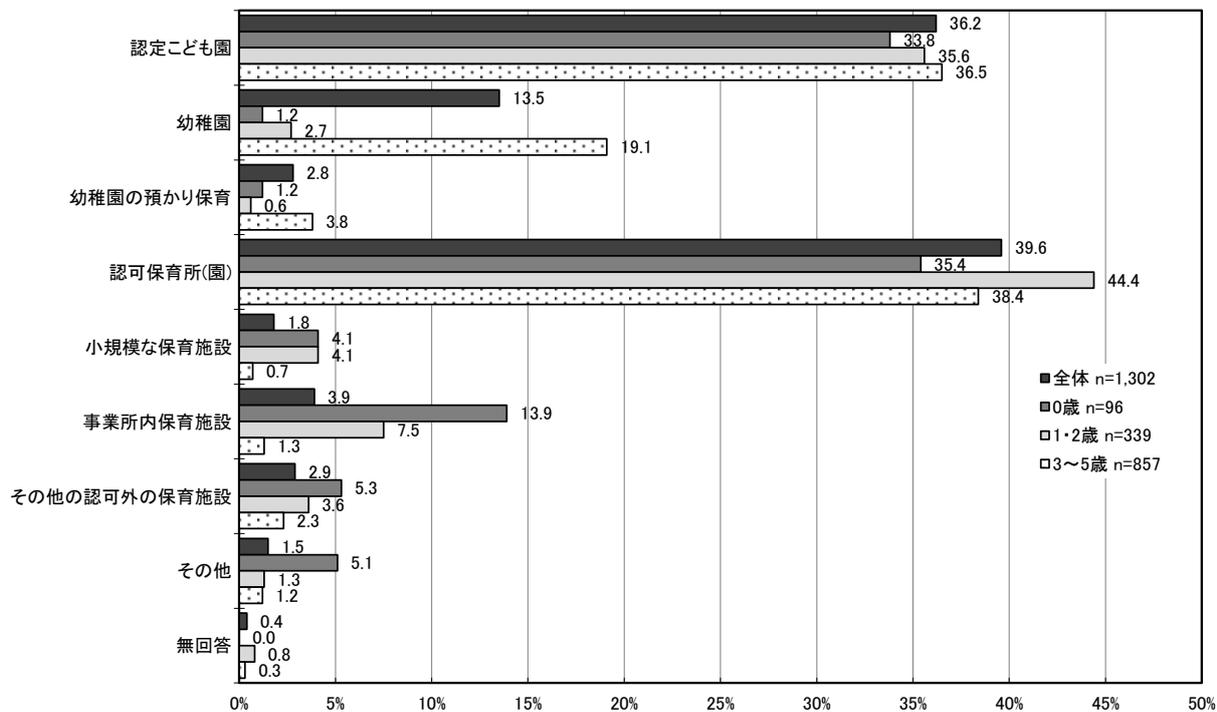
年齢が高くなるほど、定期的な教育・保育事業の利用率は高くなっており、「3～5歳」では「利用している(東広島市内)+(東広島市外)」が97.8%を占めています。



⑤で「1」または「2」(利用している)と回答した人

⑤-1 あて名のお子さんが、平日にどのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業を回答してください。

“0歳”では「事業所内保育施設」、「1・2歳」では「認可保育所(園)」、「3～5歳」では「幼稚園」が比較的高くなっています。

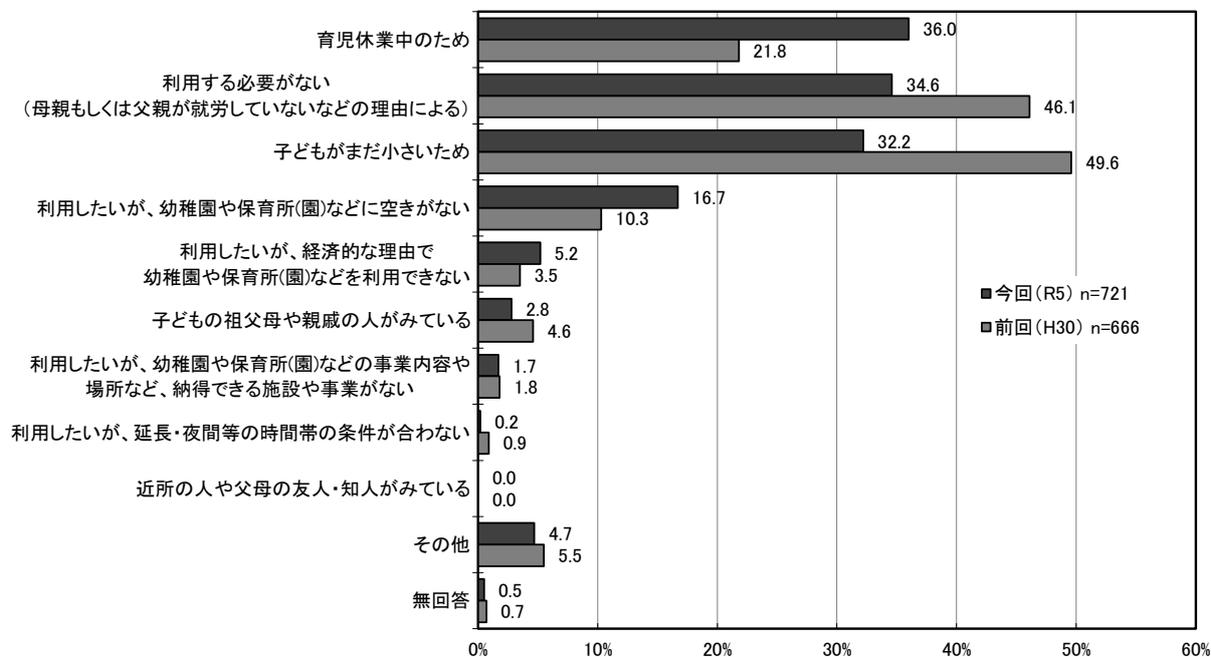


⑤で「3」(利用していない)と回答した人

⑤-2 現在、幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を利用していない理由を回答してください。

「育児休業中のため」が36.0%で最も高くなっています。

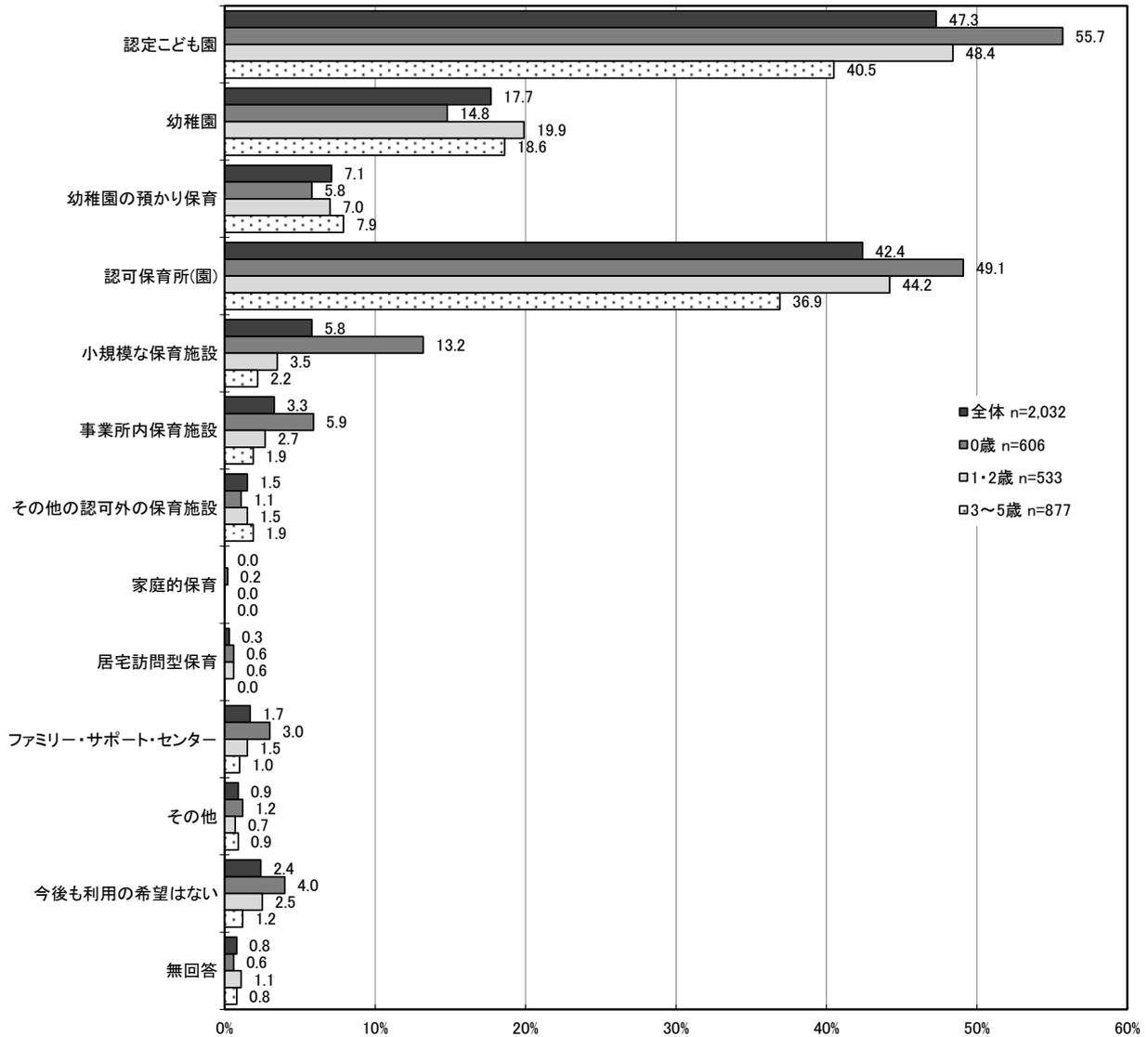
前回調査と比較して「子どもがまだ小さいため」「利用する必要がない」が大きく減少しています。



(2) 教育・保育事業の利用希望

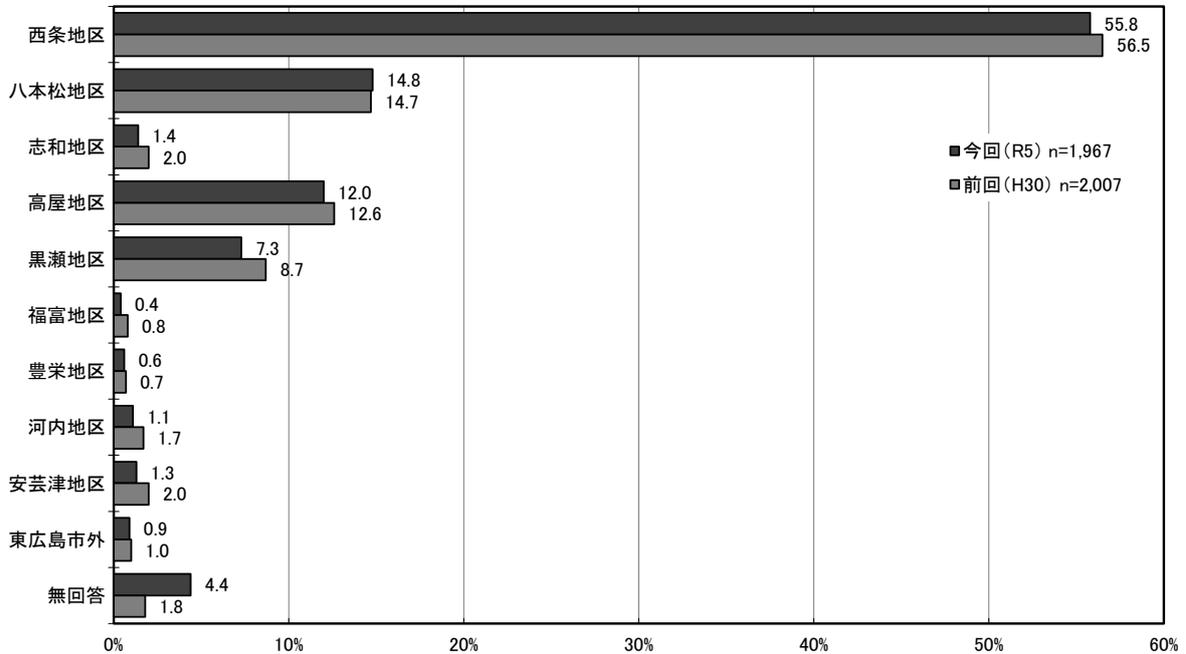
⑥ あて名のお子さんについて、平日、定期的にどのような施設や事業を利用したいと思いますか。現在、利用している、利用していないにかかわらず回答してください。

“0歳”では比較的「認定こども園」「認可保育所(園)」「小規模な保育施設」が高くなっています。



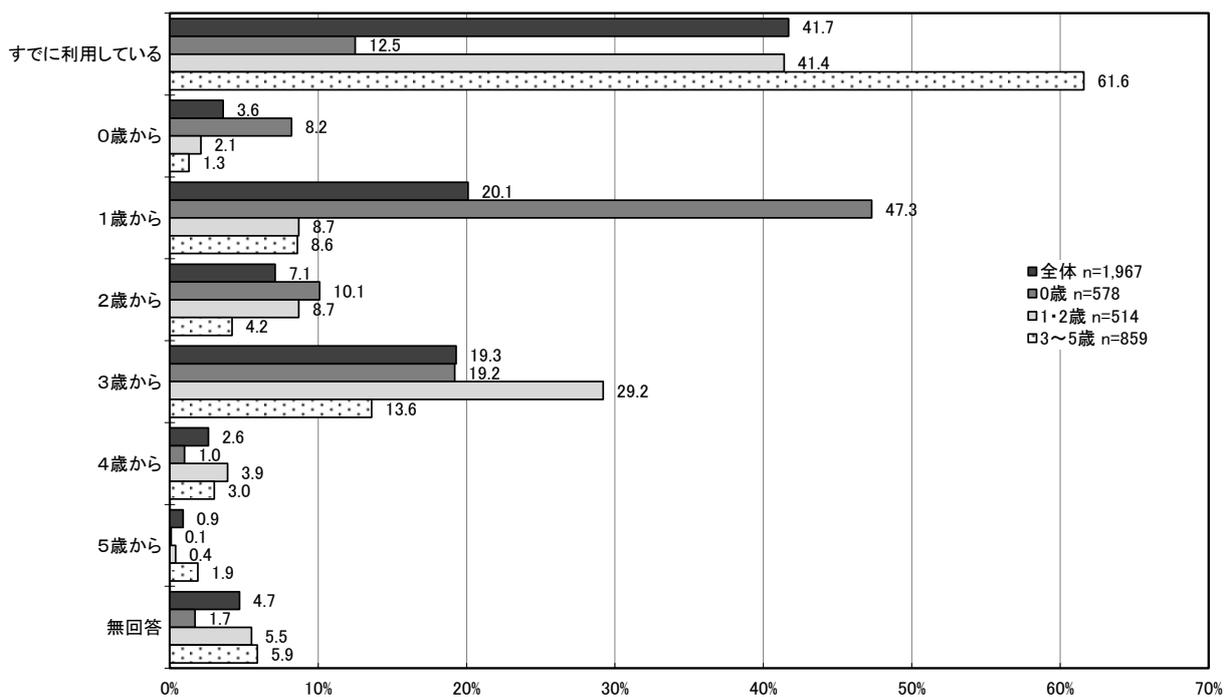
⑥-1 どの地区の教育・保育施設を利用したいですか。

「西条地区」が55.8%で突出しています。「八本松地区」が14.8%、「高屋地区」が12.0%が続いています。前回調査と比較して同様の傾向となっています。



⑥-2 お子さんが何歳のときから利用したいと思いますか。

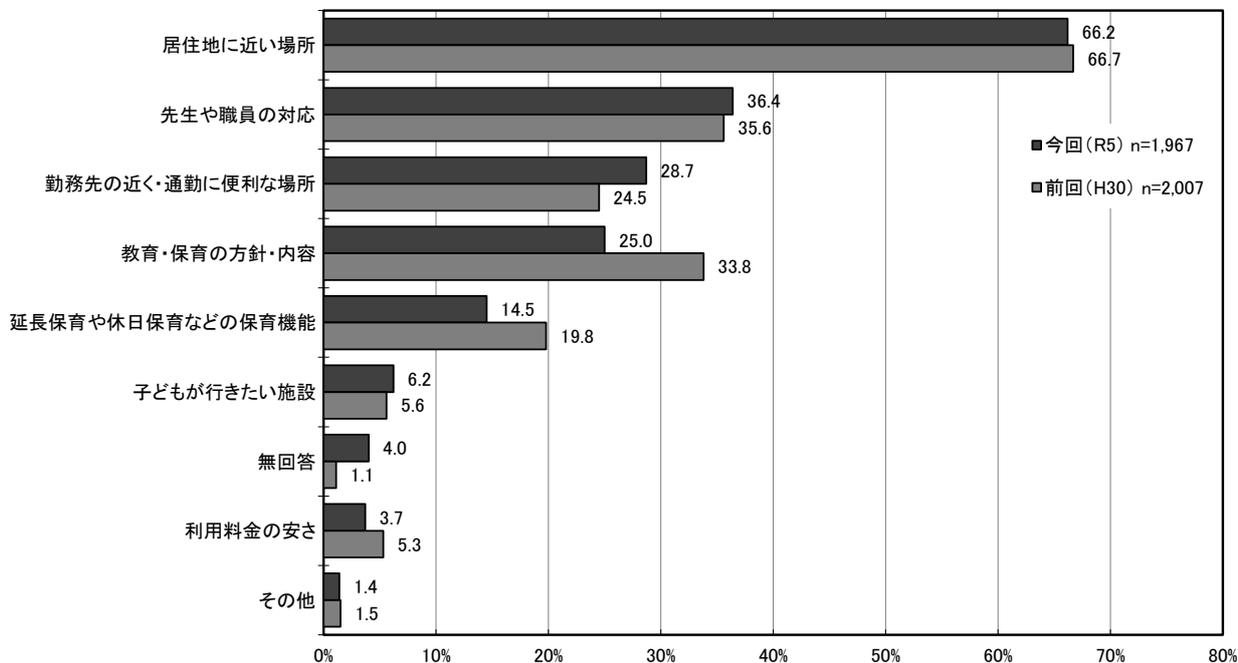
“0歳”では「1歳から」が突出しています。“1・2歳”では「すでに利用している」に次いで「3歳から」が高くなっています。



⑥-3 幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を選ぶときに特に重視することを回答してください。

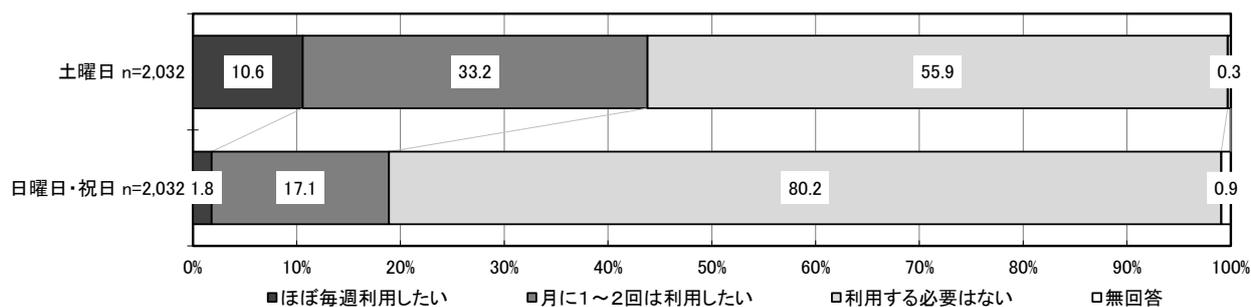
「居住地に近い場所」が66.2%で突出しています。

前回調査時と比較して「教育・保育の方針・内容」が減少しています。



⑦ 土、日、祝日に幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を利用したいですか。

“土曜日”は「ほぼ毎週利用したい」が10.6%となっています。



4. 育児休業

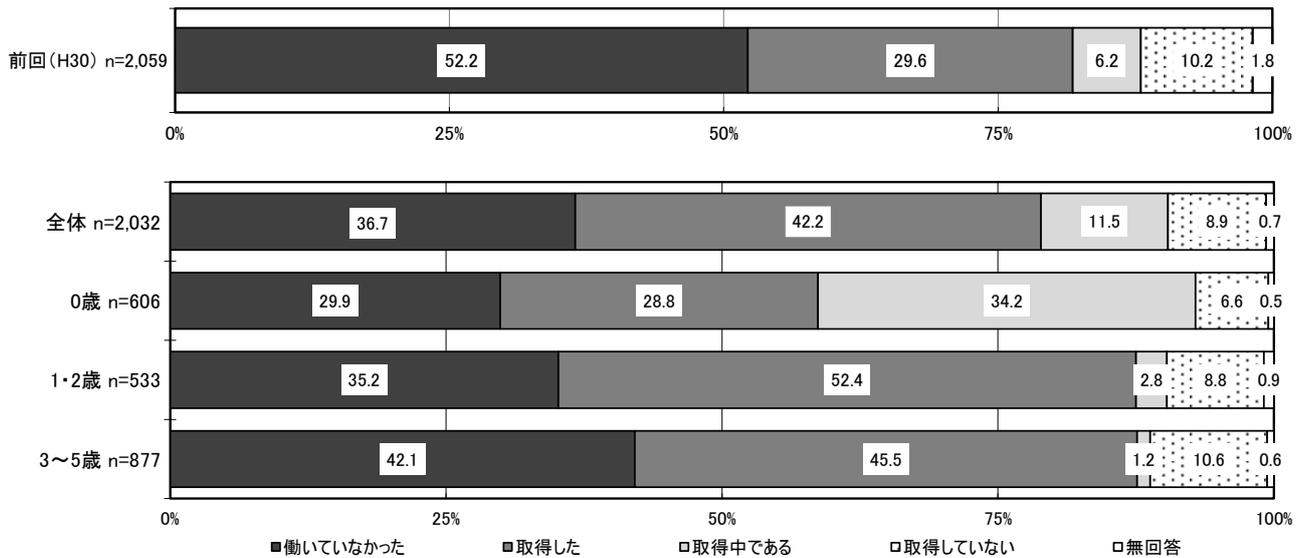
(1) 育児休業取得状況

⑧ あて名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。

■ 母親

前回調査と比較して「働いていなかった」が大きく減少しています。

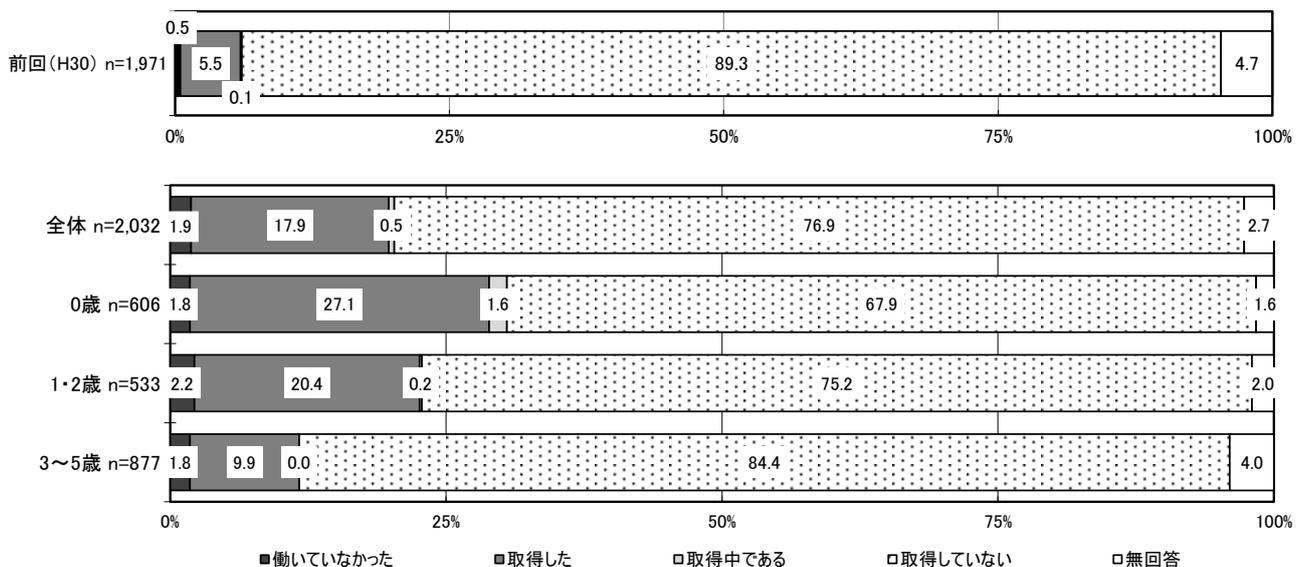
年齢別にみると年齢が高いほど「働いていなかった」が高くなる傾向がみられます。



■ 父親

前回調査と比較して「取得した」が増加しています。

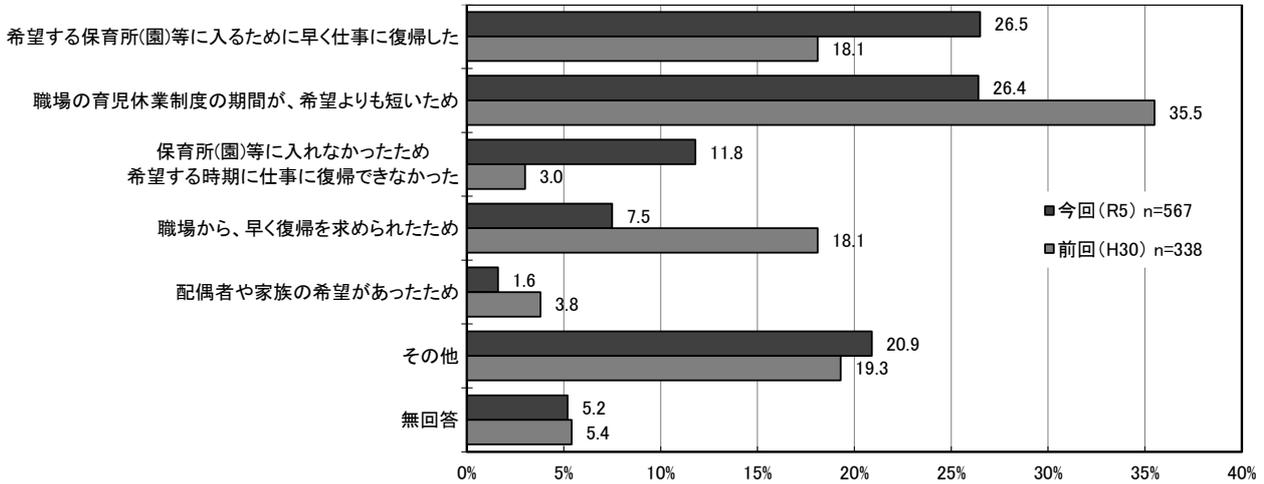
年齢別にみると年齢が低いほど「取得した」が高くなる傾向がみられます。



⑧-1 希望した期間の取得ではなかった場合、どのような理由ですか。

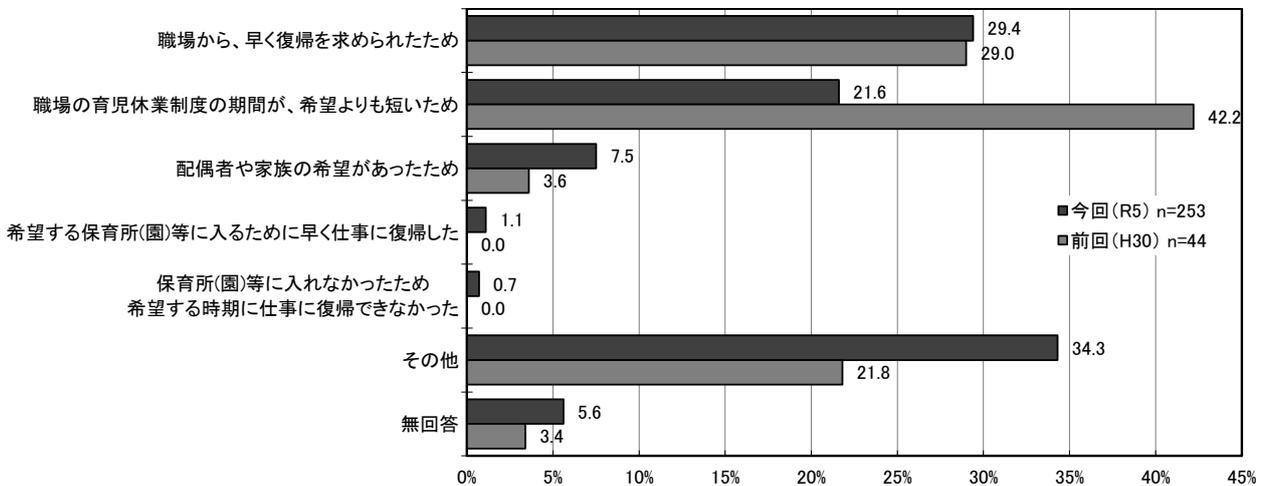
■ 母親

前回調査と比較して「希望する保育所(園)等にはいるために早く仕事に復帰した」「保育所(園)等に入れなかったため希望する時期に仕事に復帰できなかった」が増加し、「職場の育児休業制度の期間が、希望よりも短いため」「職場から、早く復帰を求められたため」が大きく減少しています。



前回調査と比較して「職場の育児休業制度の期間が、希望よりも短いため」が大きく減少しています。

■ 父親



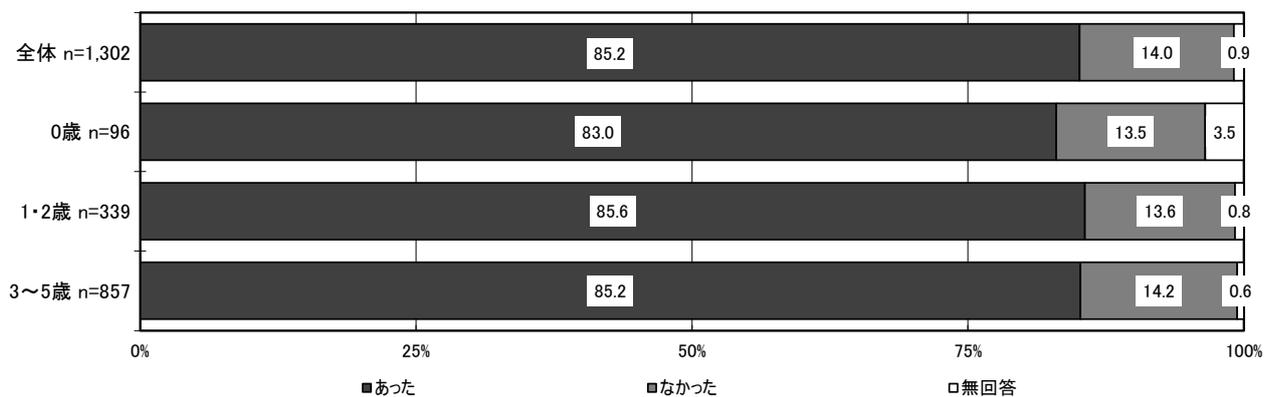
5. 病気の際の対応

(1) 病気等により幼稚園・保育所・学校等を利用できなかった経験

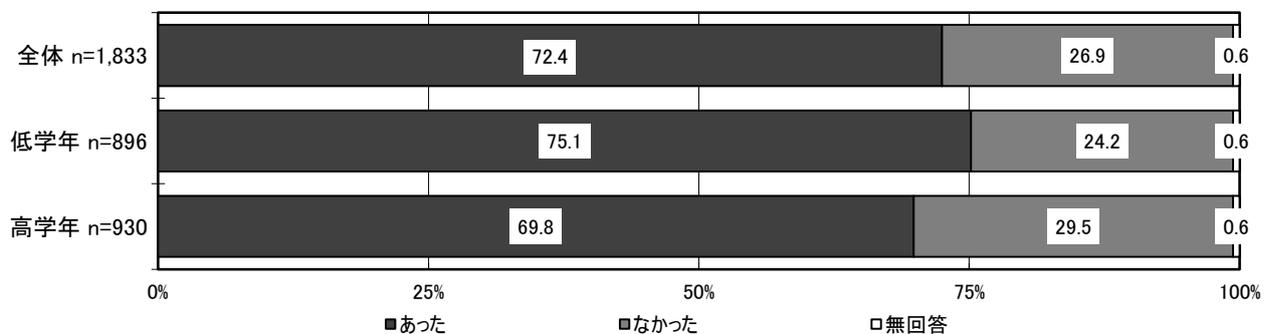
⑨ この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園や保育所(園)などを利用できなかった、学校に行けなかったことはありましたか。

“就学前”では年齢を問わず8割以上「あった」となっていますが、“低学年”、“高学年”になるにつれて「あった」が少なくなっています。

■ 就学前



■ 小学生



⑨で「1」(あった)と回答した人

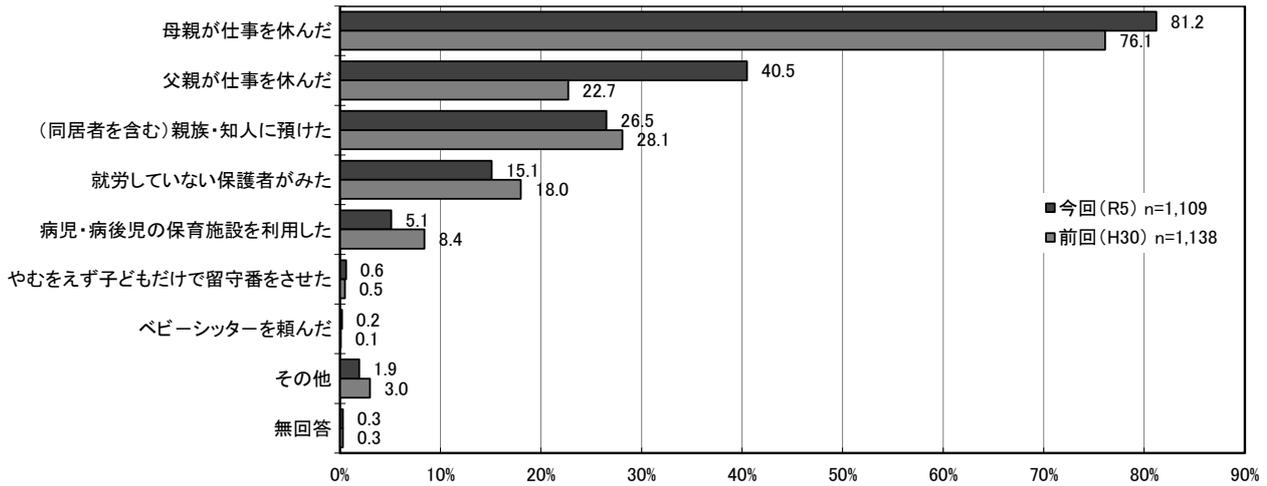
⑨-1 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼稚園や保育所(園)などを利用できなかった場合に、どのように対応しましたか。

“就学前”は前回調査と比較すると「父親が仕事を休んだ」が高くなっています。

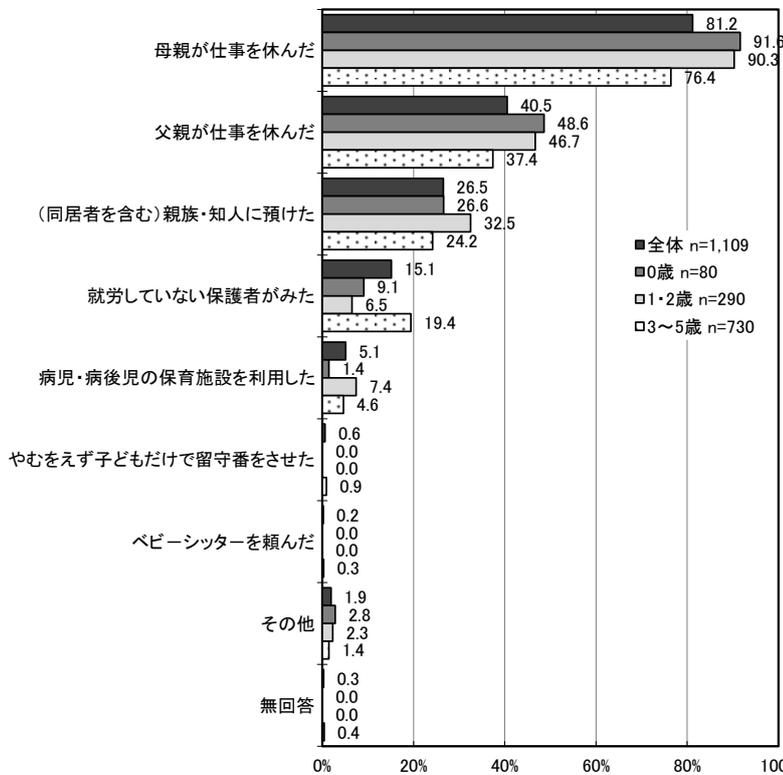
“高学年”では「やむをえず子どもだけで留守番をさせた」が高くなっています。

(“小学生”は前回の調査票に設問がありません。)

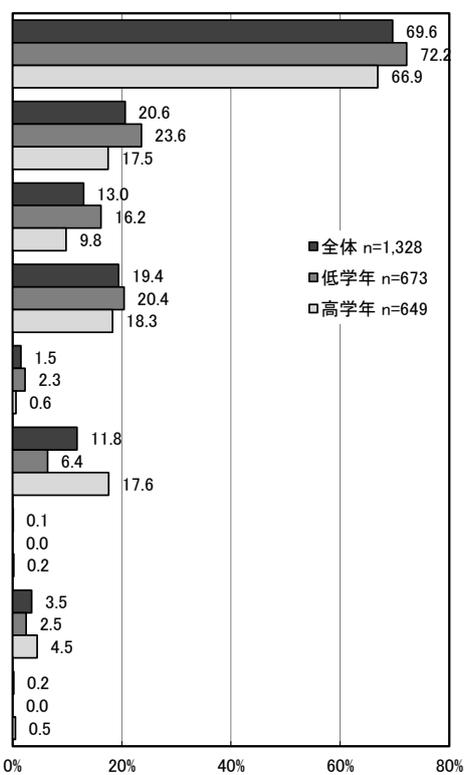
■就学前



■就学前



■小学生



(2) 病児・病後児保育施設の利用希望

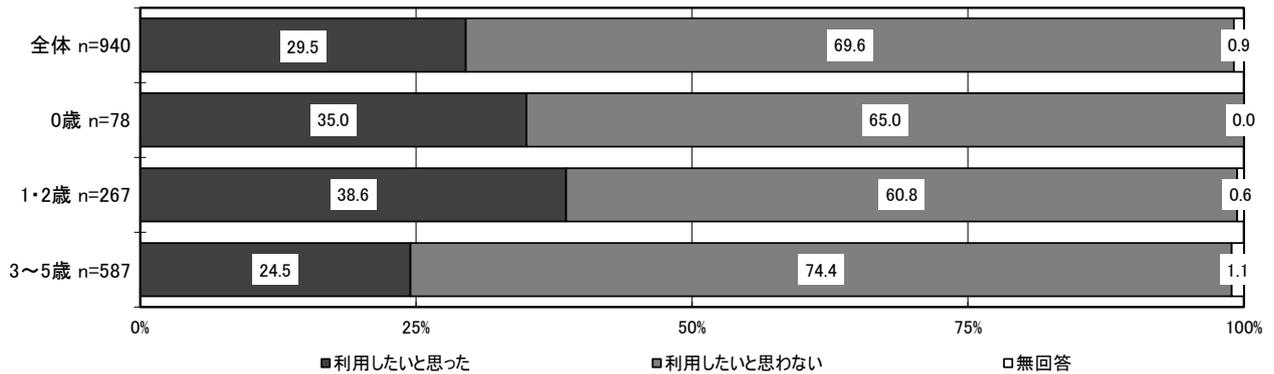
⑨-1で「1」または「2」(両親が休んだ)と回答した人

⑨-2 その際、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。

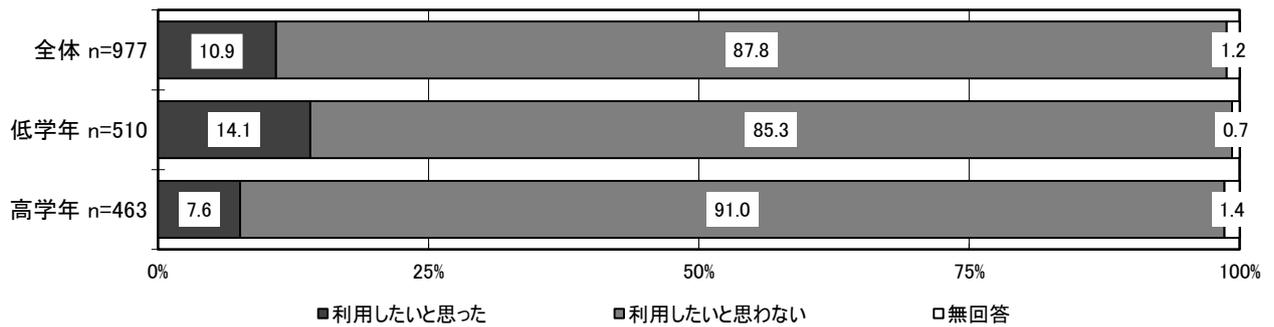
“1・2歳”では「利用したいと思った」が比較的高くなっています。

“高学年”では「利用したいと思った」が7.6%となっています。

■ 就学前



■ 小学生



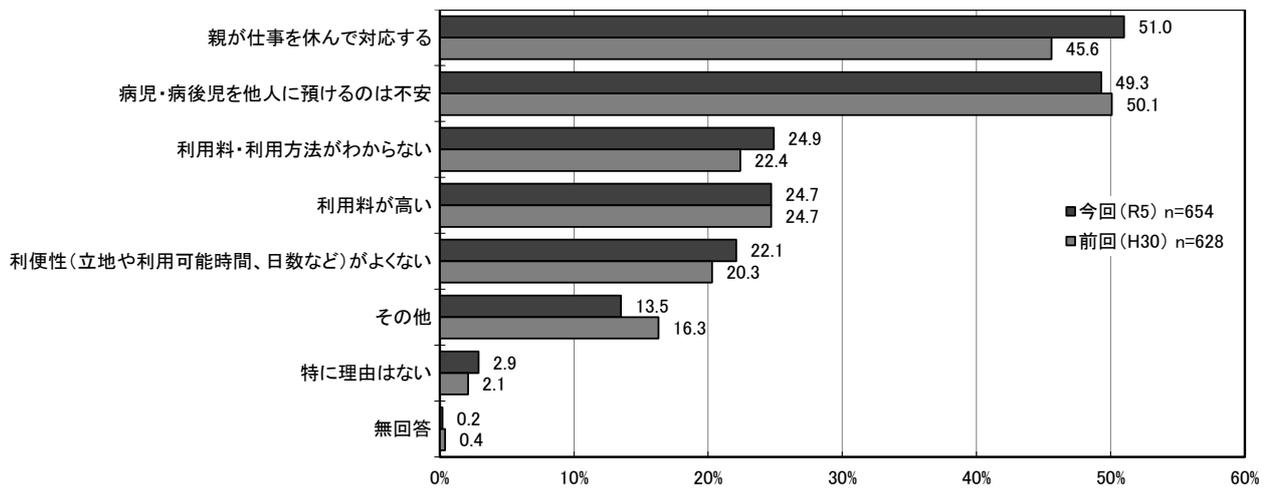
⑨-2で「2」(利用したいと思わない)と回答した人

⑨-3 利用したくないと思う理由を回答してください。

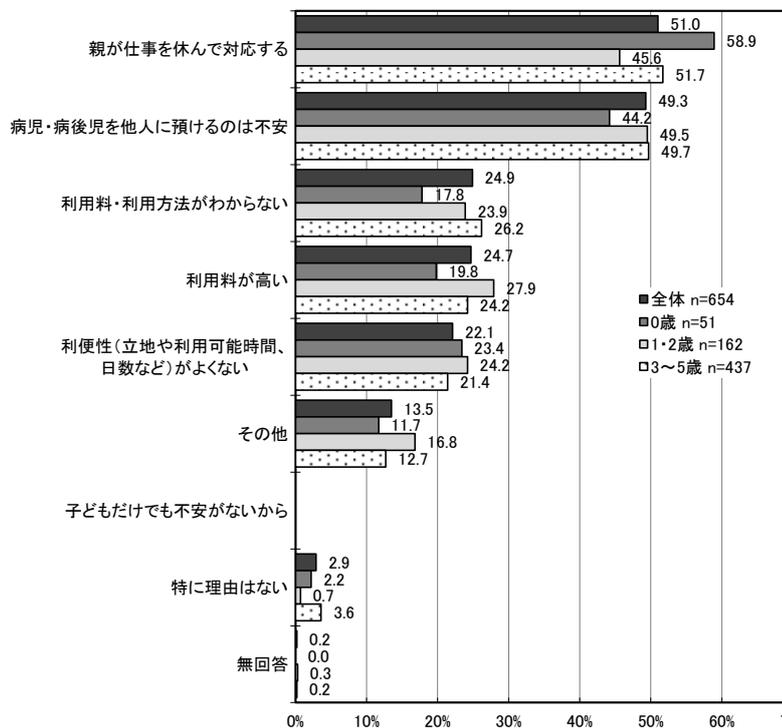
前回調査と比較すると、「親が仕事を休んで対応する」が増加しています。

“低学年”では「利用料・利用方法がわからない」が、“高学年”では「利便性(立地や利用可能時間、日数など)がよくない」が比較的高くなっています。

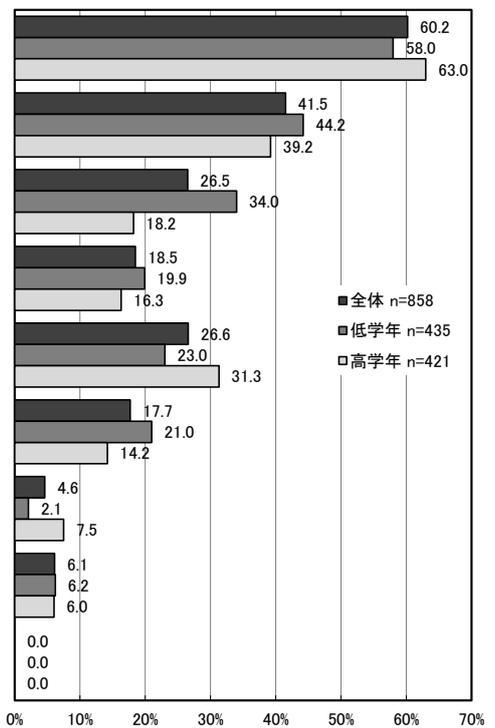
■ 就学前



■ 就学前



■ 小学生

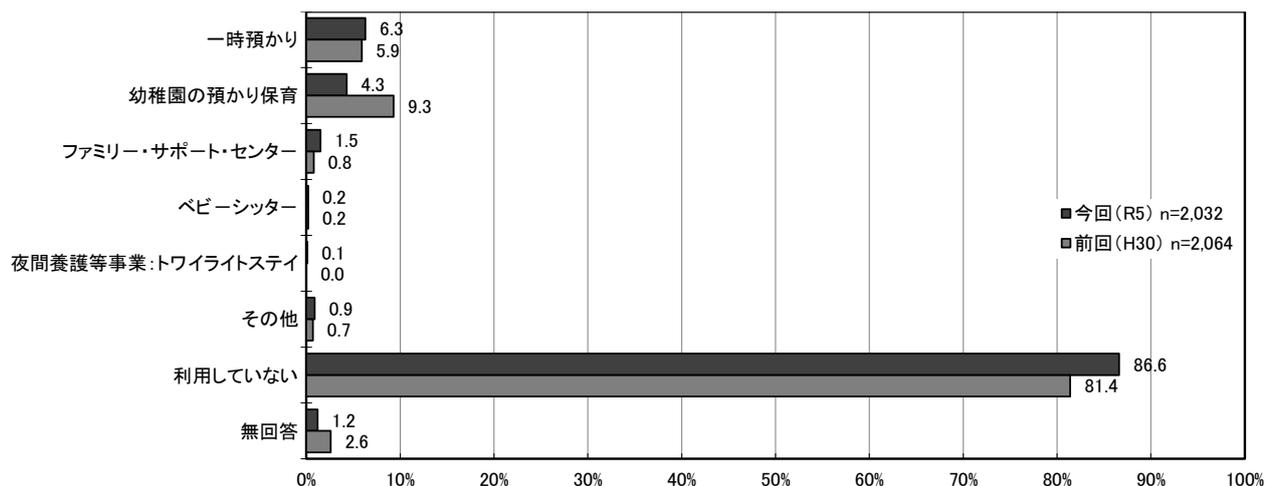


6. 不定期の保育事業

(1) 不定期に利用したサービス

⑩ あて名のお子さんについて、この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用したサービスはありますか。

前回調査と比較すると「幼稚園の預かり保育」が減少しています。

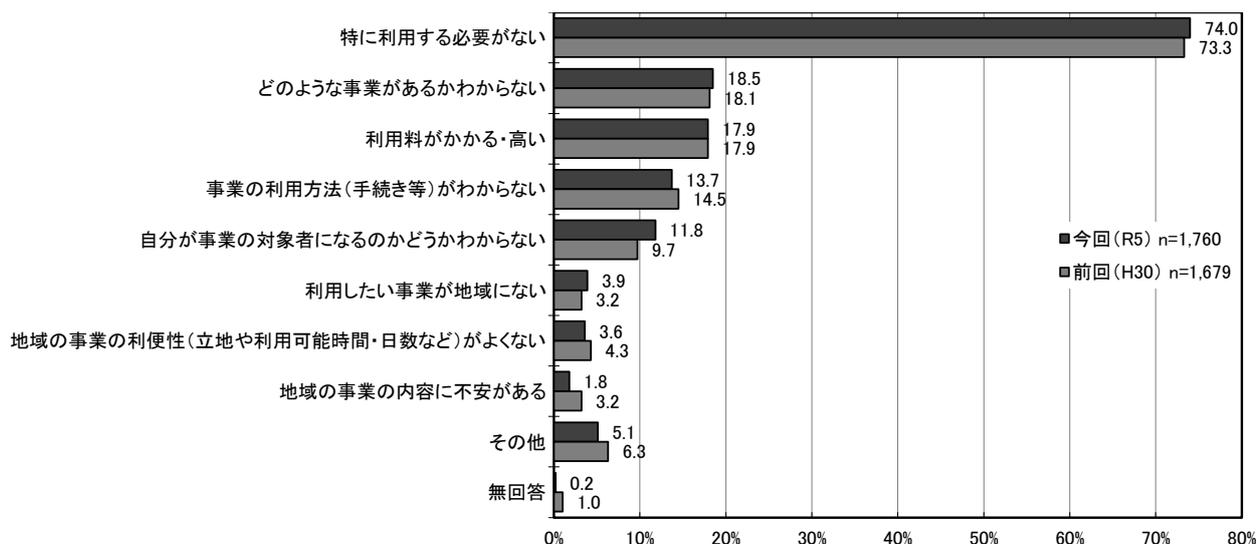


⑩で「7」(利用していない)と回答した人

⑩-1 現在、利用していない理由を回答してください。

「特に利用する必要がない」が 74.0%で突出しています。「どのような事業があるかわからない」が 18.5%、「利用料がかかる・高い」が 17.9%で続いています。

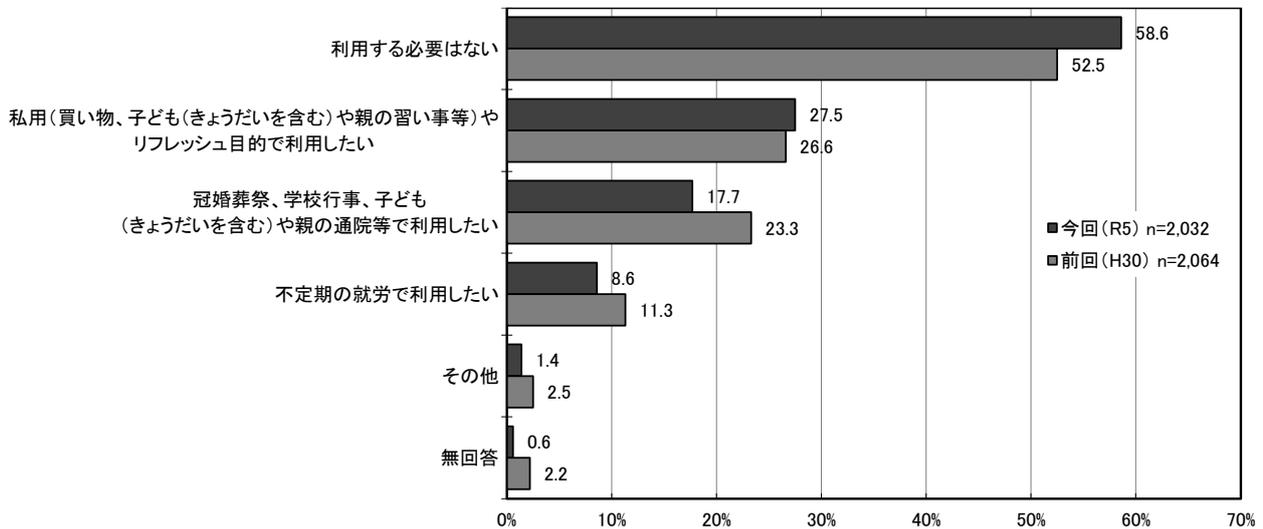
前回調査と同様の傾向です。



(2) 不定期に子どもを預ける事業の利用希望

⑪ あて名のお子さんについて、今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、子どもを預ける事業を利用したいと思いますか。

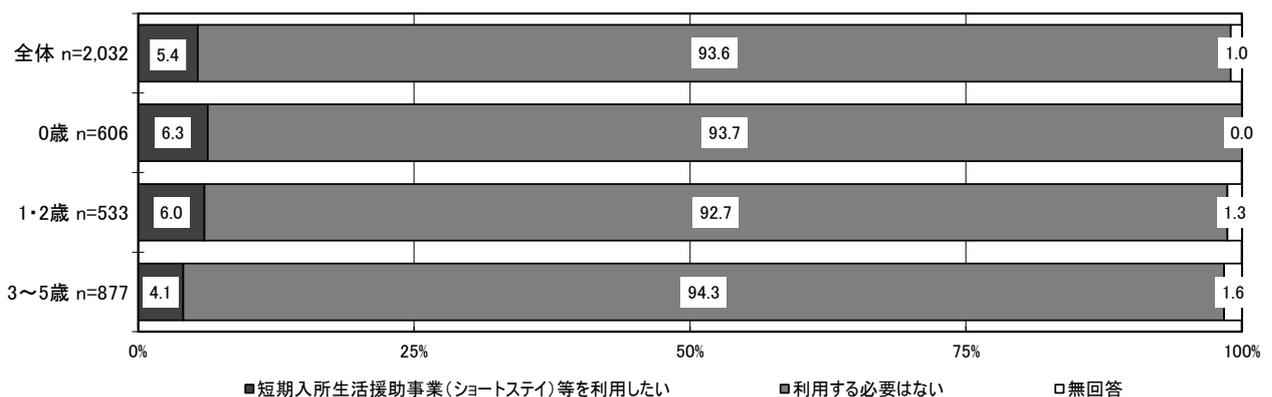
前回調査と比較すると「利用する必要はない」がやや増加しています。



(3) 泊りがけで子どもを預ける必要性

⑫ あて名のお子さんについて、親の用事(冠婚葬祭、親・家族の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

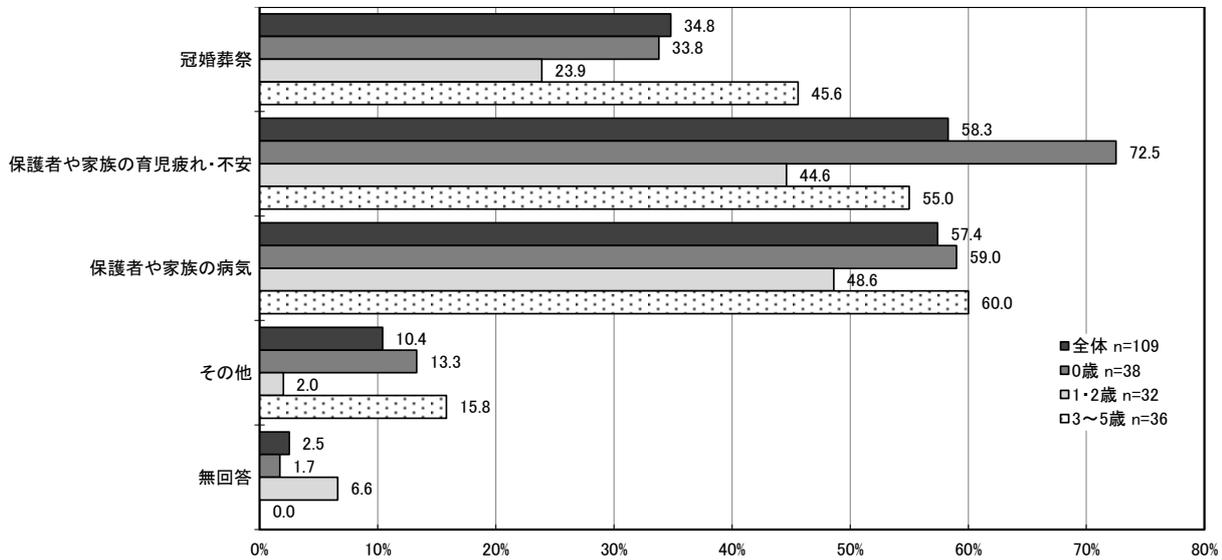
“0歳”“1～2歳”では「短期入所生活援助事業(ショートステイ)等を利用したい」が6%程度となっています。



⑫で「1」(利用したい)と回答した人

⑫-1 短期入所生活援助事業(ショートステイ)の利用動機。

“0歳”で「保護者や家族の育児疲れ・不安」が高くなっています。

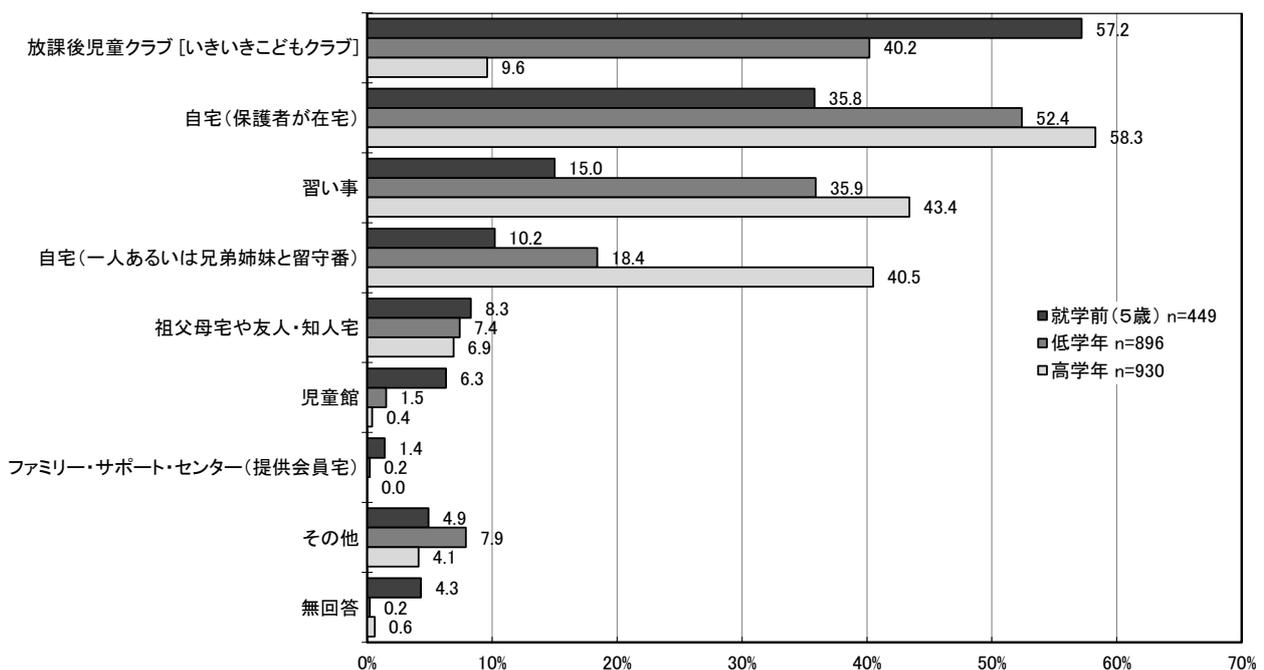


7. 放課後の過ごし方

(1) 放課後の過ごし方

⑬ 放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(過ごさせていますか。)

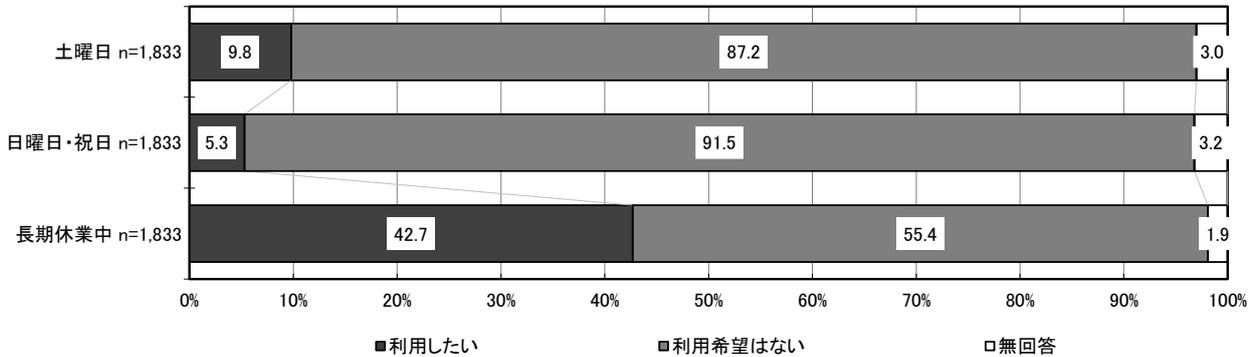
“就学前”では「放課後児童クラブ」が比較的高くなっていますが、“低学年”以降では「自宅(保護者が在宅)」が高くなっています。また「習い事」も高くなっています。



(2) 放課後子ども教室の利用希望

⑭ 土曜日、日曜日・祝日、長期休業中(夏休み・秋休み・冬休み・春休み)に放課後児童クラブを利用したいと思いますか。

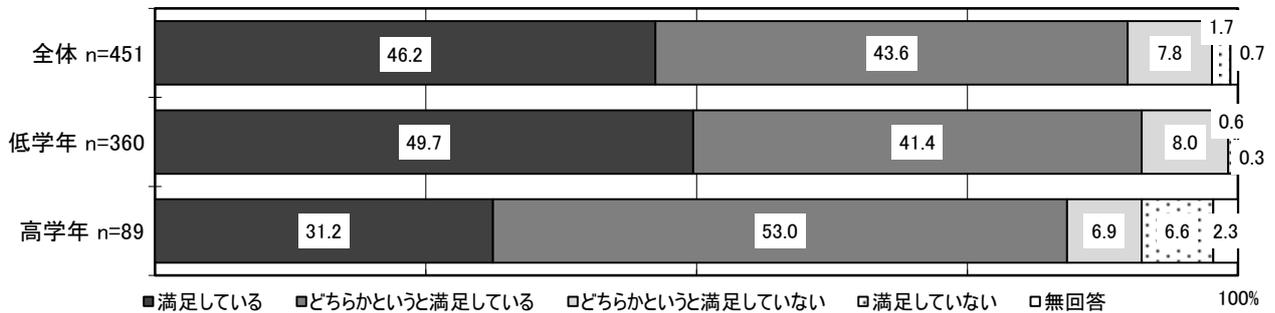
“長期休業中”では「利用したい」が42.7%となっています。



お子さんが放課後児童クラブを利用している人

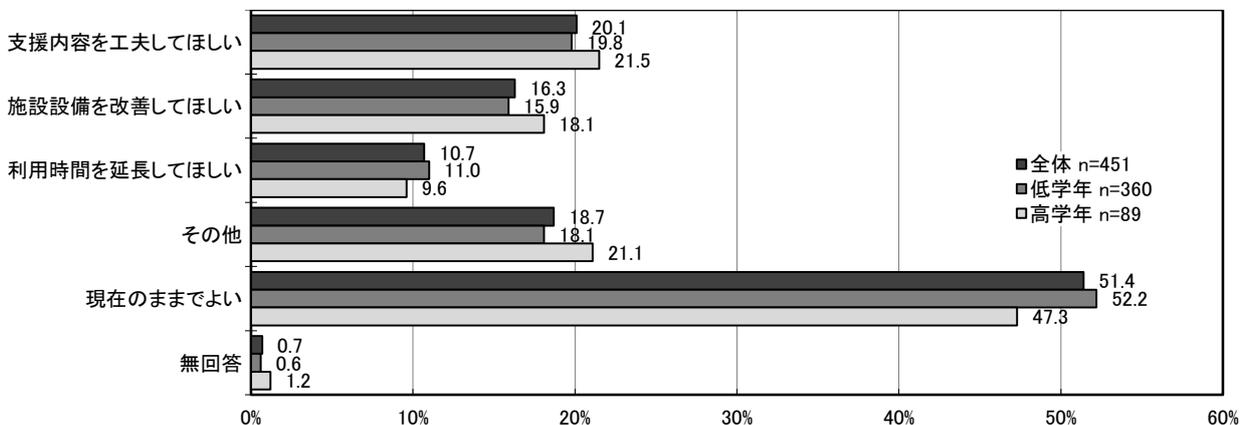
⑭-1 放課後児童クラブ(いきいきこどもクラブ)に満足していますか。

“高学年”では“低学年”に比べて満足度が低くなっています。



⑭-2 放課後児童クラブ(いきいきこどもクラブ)に対してどのようなことを希望しますか。

“高学年”の方が希望(要望)が高い傾向がみられます。

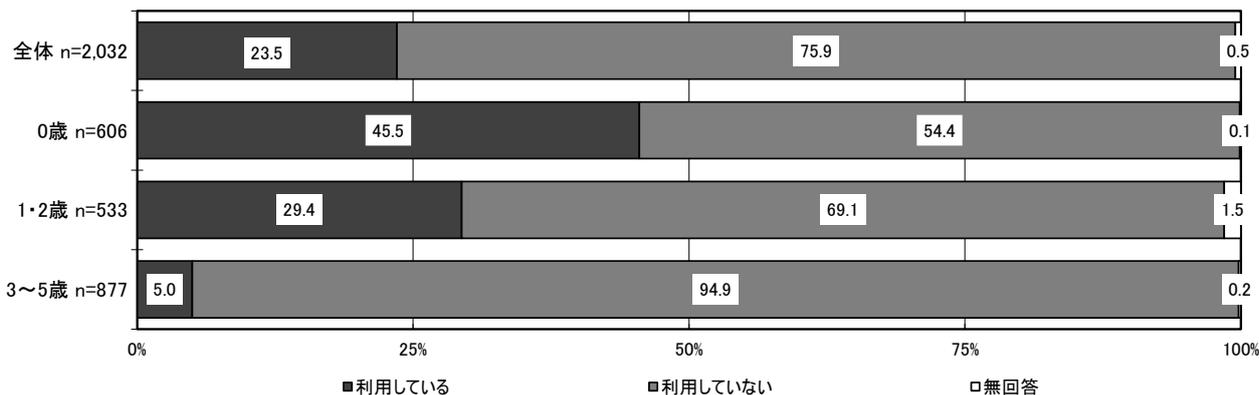


8. 子育て支援センター、出産・育児サポートセンター

(1) 子育て支援センターの利用状況

⑮ あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)を利用していますか。

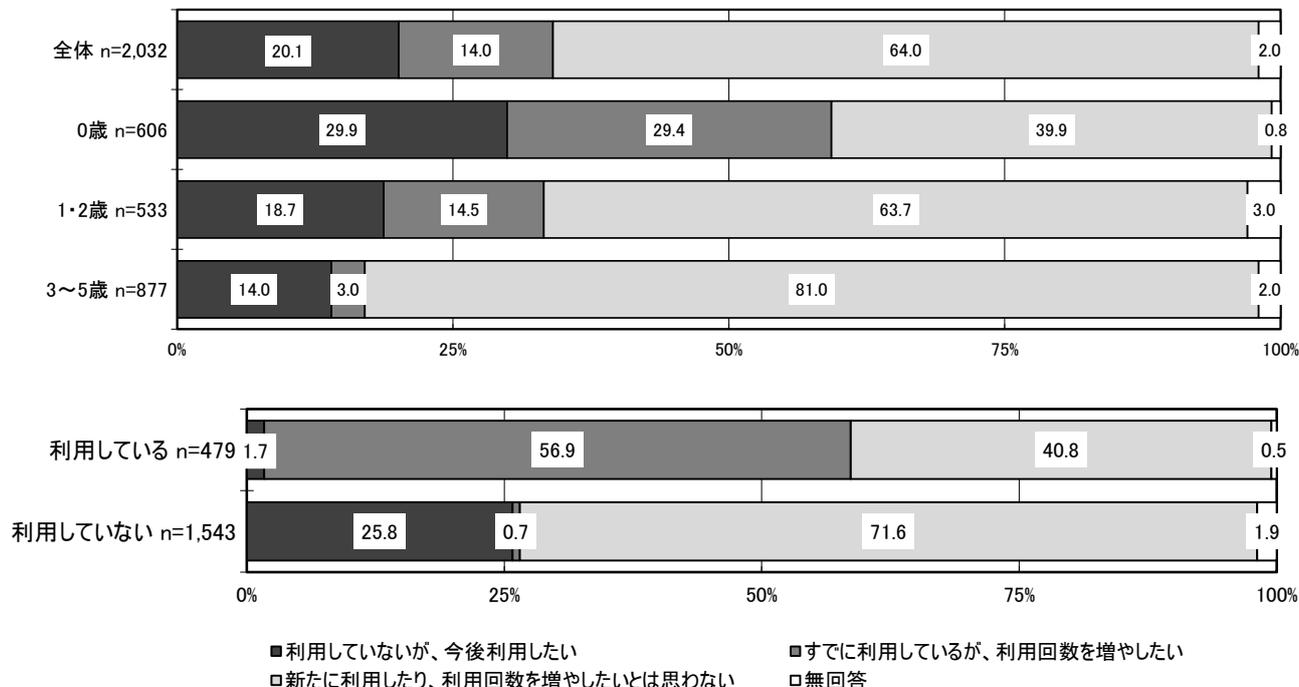
“0歳”では「利用している」が45.5%と比較的高くなっています。



⑮-1 地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)を、今後利用したり、利用回数を増やしたいと思いますか。

“0歳”で比較的「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、利用回数を増やしたい」が高くなっています。

すでに“利用している”人の「すでに利用しているが、利用回数を増やしたい」は半数以上となっています。



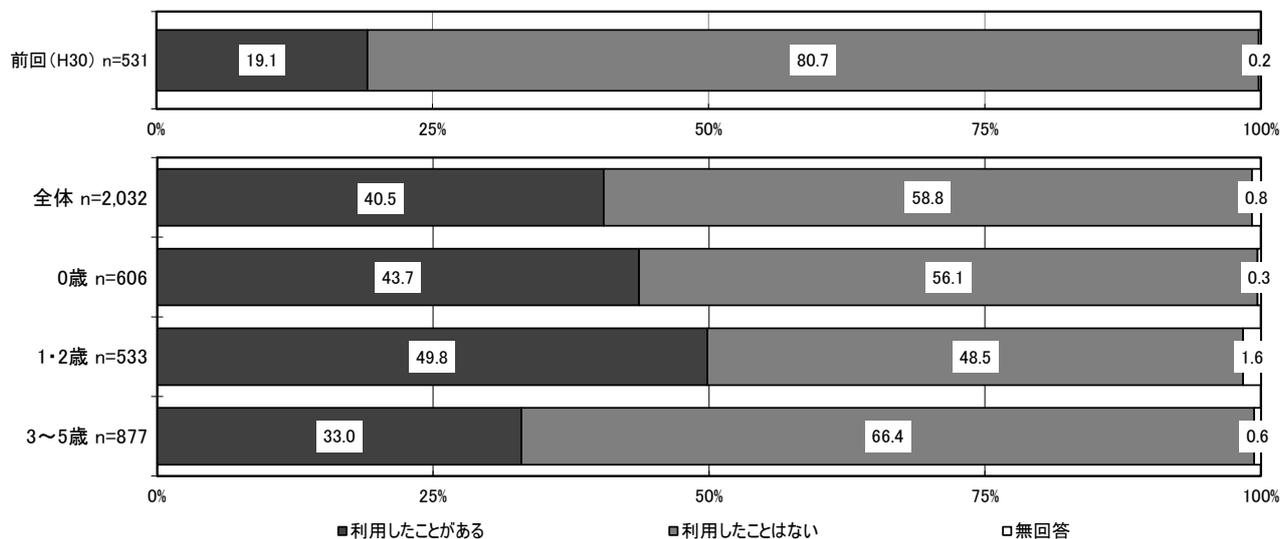
(2) 出産・育児サポートセンターすくすくの利用状況

⑩ 「出産・育児サポートセンターすくすく」を利用したことがありますか。

前回調査と比較して利用率が伸びています。(前回調査時は知っている人のみの設問)

“1・2歳”では「利用したことがある」が約半数と比較的高くなっています。

“1・2歳”以上で「利用したことがある」が子育て支援センターを上回っています。

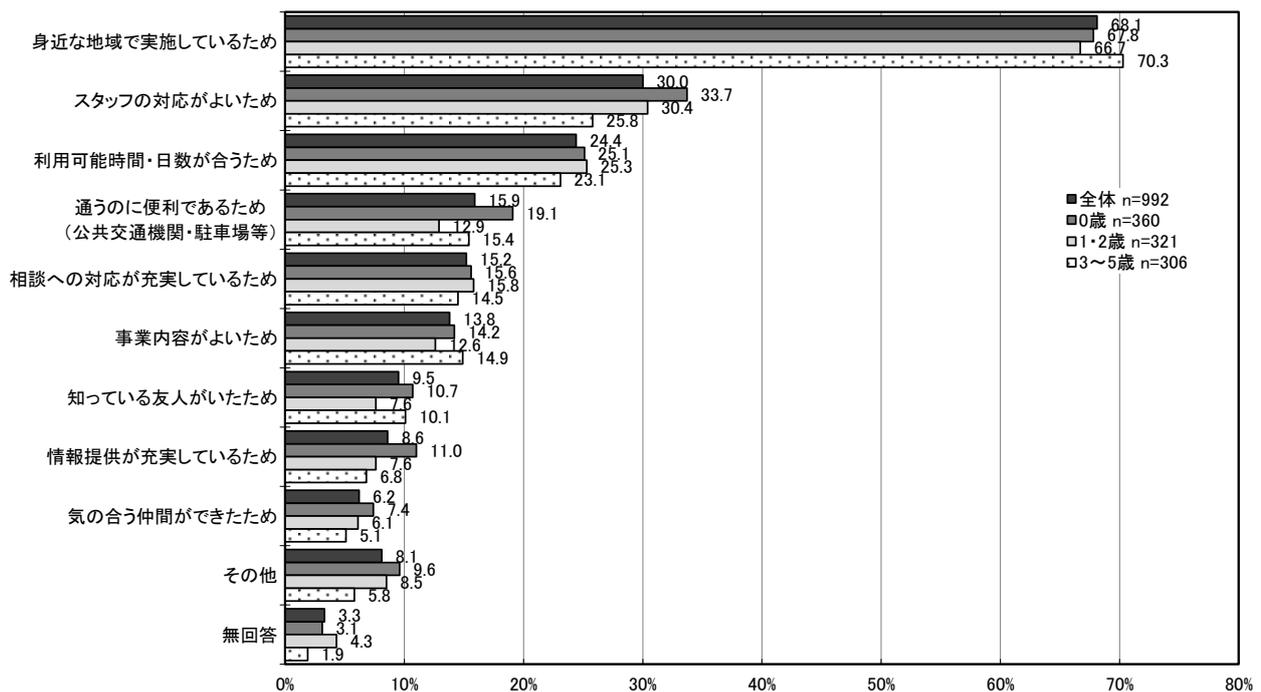


(3) 子育て支援センター及び出産・育児サポートセンターの利用理由

⑮または⑯で「1」(利用している)と回答した人

⑰ 「地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)」及び「出産・育児サポートセンターすくすく」を利用している理由を回答してください。

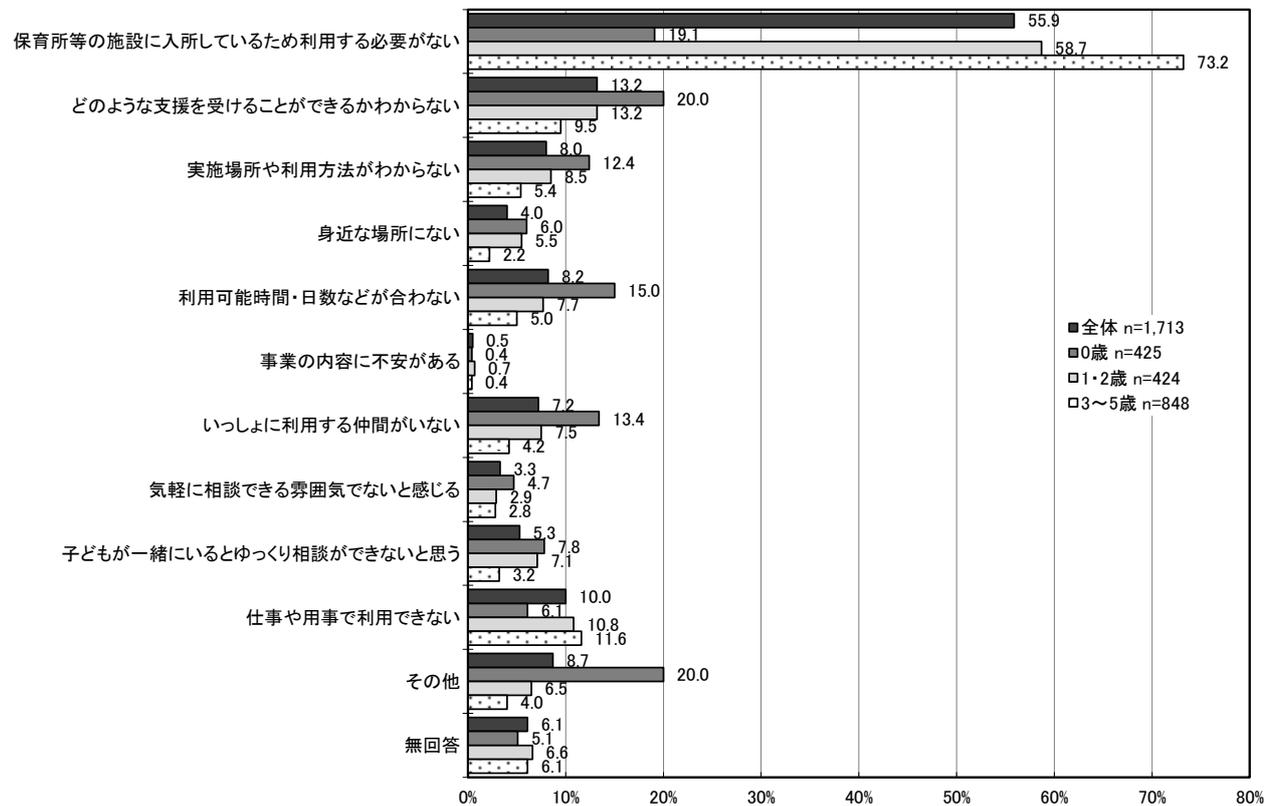
年齢が若いほど「スタッフの対応がよいため」が高い傾向がみられます。



⑮または⑯で「2」(利用していない)と回答した人

⑰-1 現在、利用していない理由を回答してください。

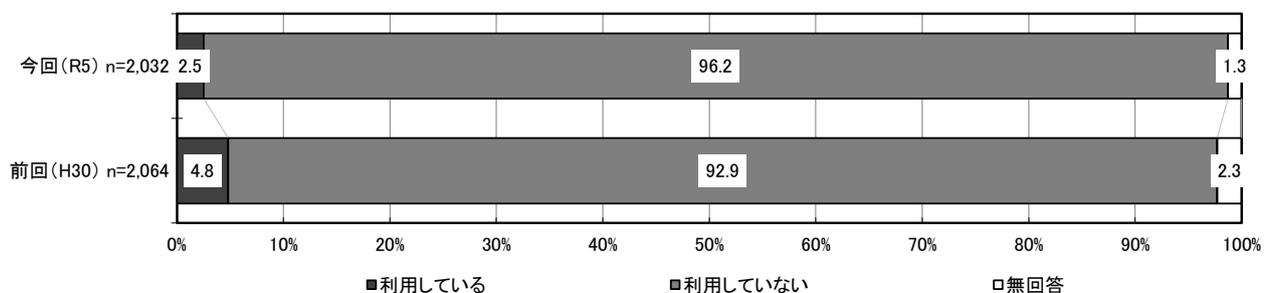
“0歳”を除いて「保育所等の施設に入所しているため利用する必要がない」が高くなっています。
 “0歳”は「どのような支援を受けることができるかわからない」や「利用可能時間・日数が合わない」が比較的
 高くなっています。



(4) それ以外の子育て支援事業の利用状況

⑱ あて名のお子さんは、現在、問22の子育て支援センター以外の地域の子育て団体やグループによる子育てサークルやサロン(SNS等も含む)を利用していますか。

前回調査と比較して「利用している」が微減しています。

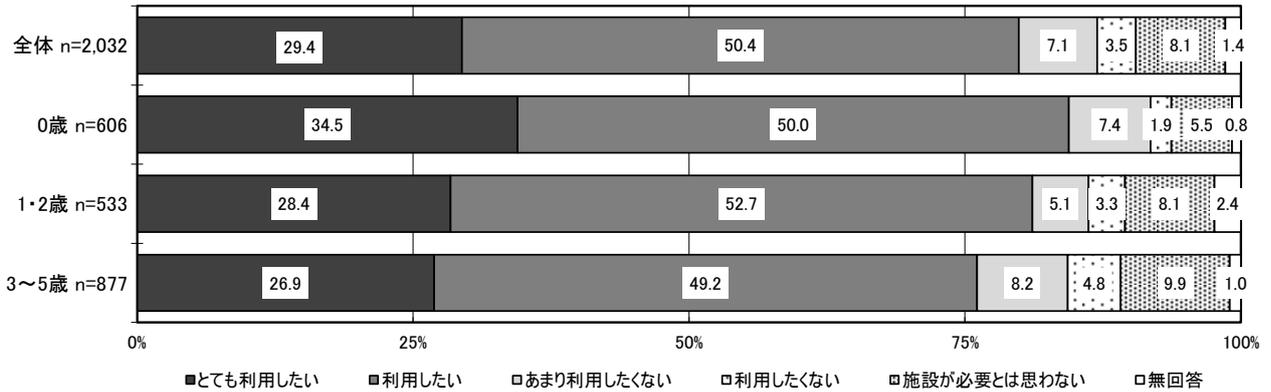


(5) 1か所でまとめて行う施設

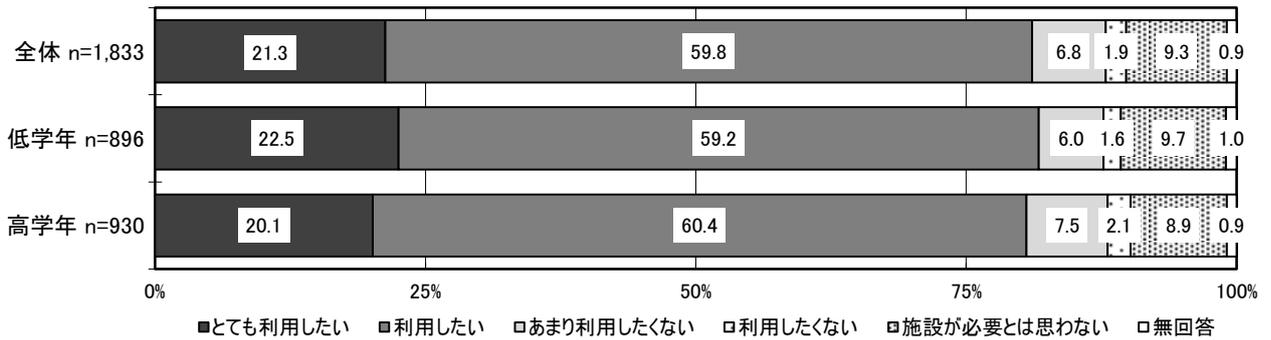
⑱ 東広島市内に、子どもに関する複数の行政手続きや子育て相談等を1か所でまとめて行うことができる施設があったら利用したいと思いますか。

“就学前”では年齢が低いほど「とても利用したい」+「利用したい」が高くなる傾向がみられます。

■ 就学前



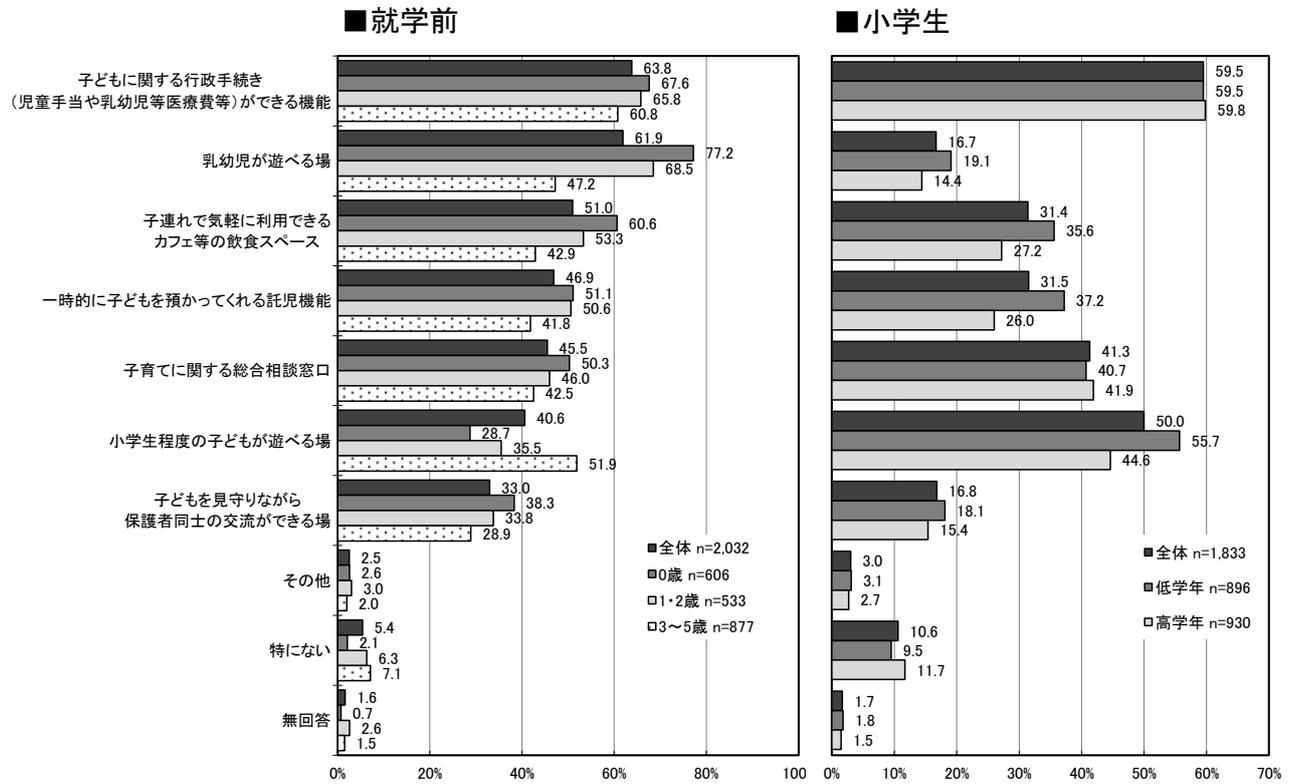
■ 小学生



⑱-1 ⑱の施設にどのような機能があれば利用したいと思いますか。

年齢の違いによって、要望する機能にも違いが表れています。

“小学生”では「子どもに関する行政手続きができる機能」が特に高くなっています。



9. 子育て全般

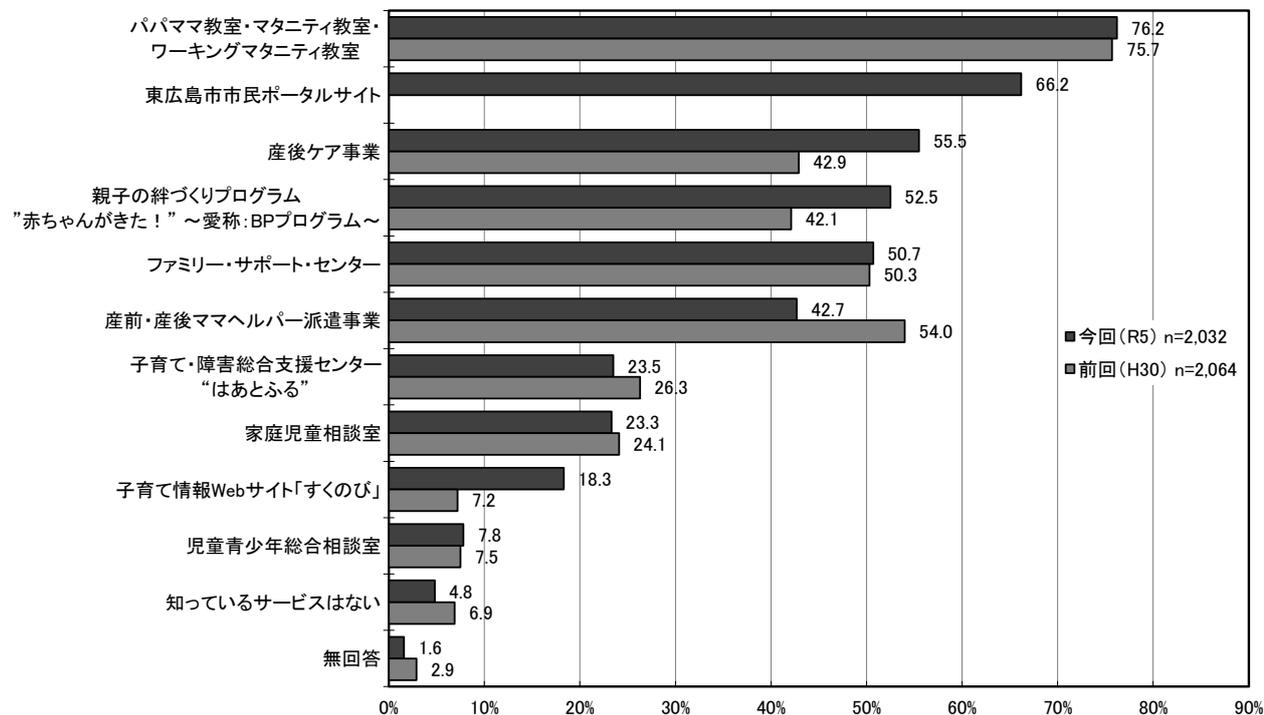
(1) 子育て支援サービスの認知度

⑩ 子育て支援サービスで知っているものを回答してください。

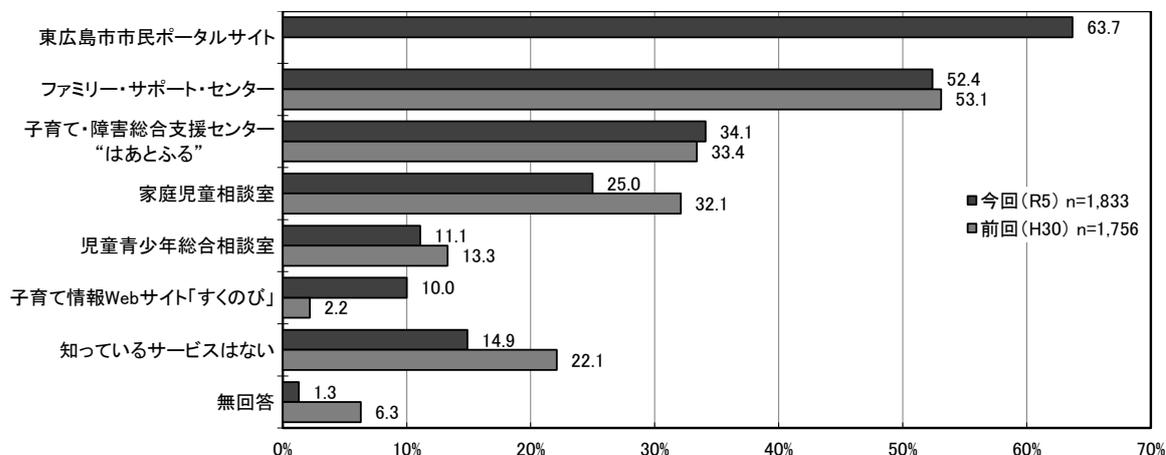
前回調査と比較して、“就学前”では「産後ケア事業」「親子の絆づくりプログラム”赤ちゃんがきた！”～愛称:BPプログラム～」が高くなっています。また“就学前”“小学生”ともに「子育て情報 web サイト「すくのび」」が高くなっています。

「広島市市民ポータルサイト」は前回調査の選択肢にはありませんでした。

■ 就学前



■ 小学生

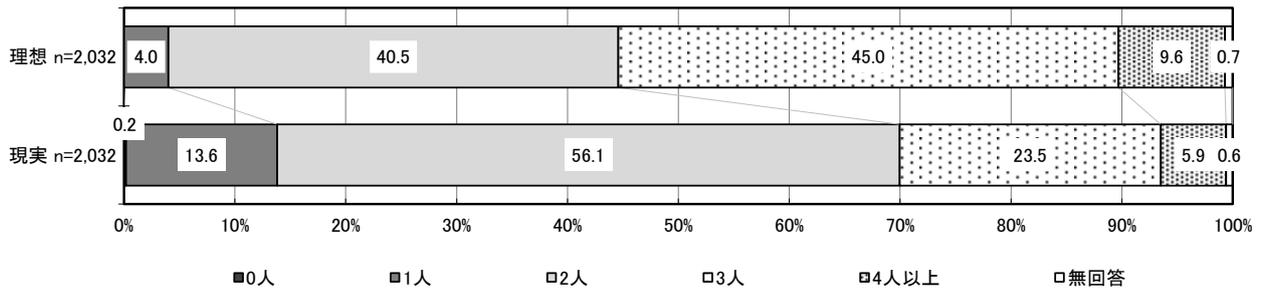


(2) 理想と現実の子どもの人数

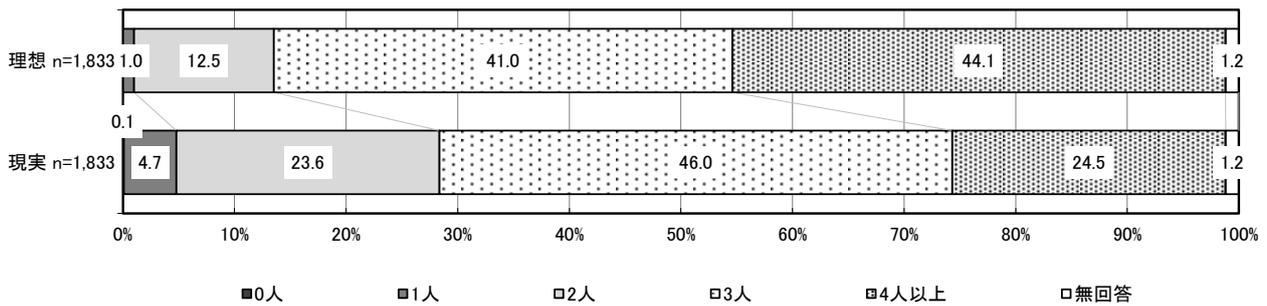
⑳ あなたの家庭では、子どもの人数は何人が理想だと考えますか。また、現実的に育てられる子どもの人数は何人だと考えますか。

『就学前』では“理想”は「3人」、『小学生』では“理想”は「4人以上」が高くなっています。
少数ですが“現実的に育てられる”子どもの数が「0人」という回答も存在しています。

■就学前



■小学生

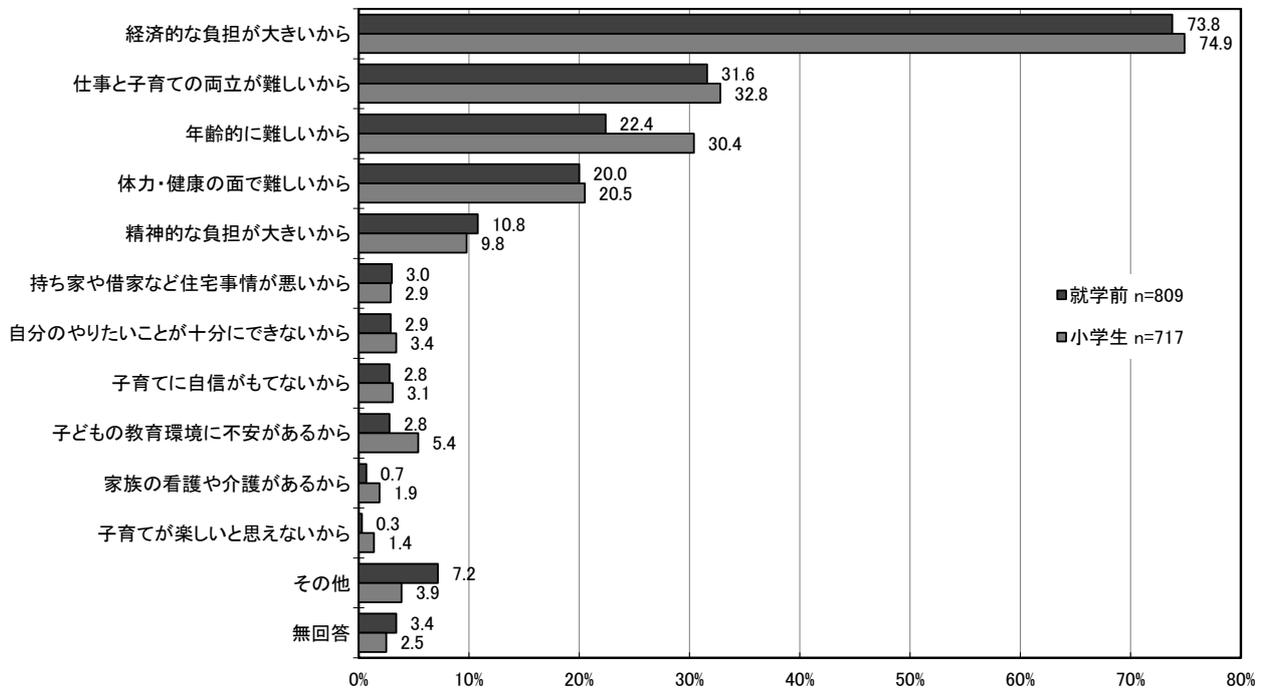


㉑で現実的な子どもの人数が理想の子ども的人数より少ない人

㉑-1 現実的な子ども的人数が、理想の子ども的人数より少ないのはどのような理由からですか。

“就学前”、“小学生”ともに「経済的な負担が大きいから」が突出しています。

“小学生”では「年齢的に難しいから」が比較的高くなっています。

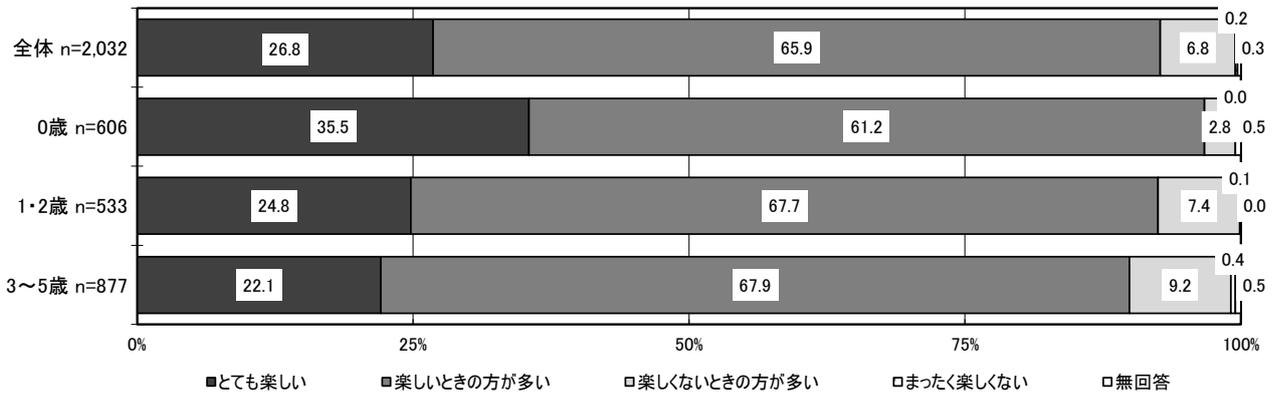


(3) 子育ての楽しさや悩み

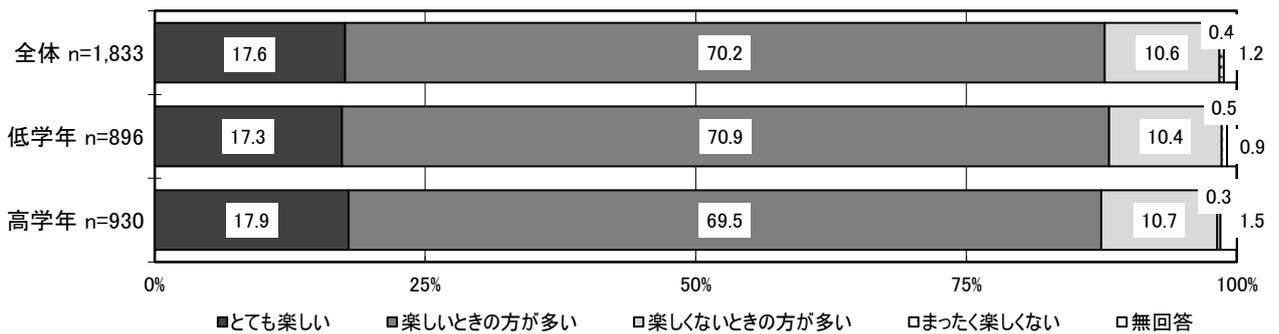
② 子育ては楽しいですか。

年齢が上がるにつれて徐々に「楽しくないときの方が多い」が増えはじめ、『小学生』では 10%程度が「楽しくないときの方が多い」となっています。

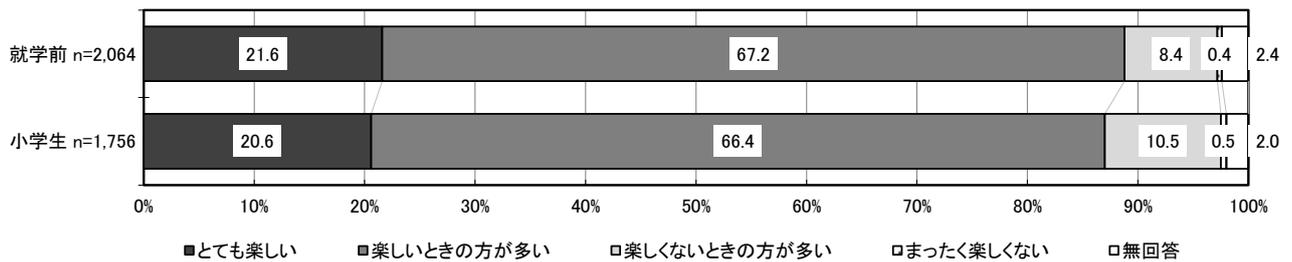
■ 就学前



■ 小学生



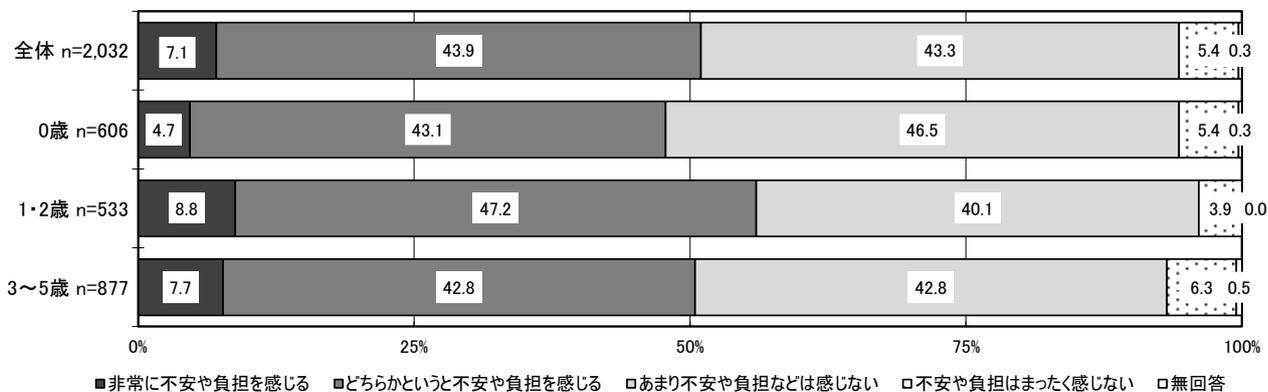
■ 前回(参考)



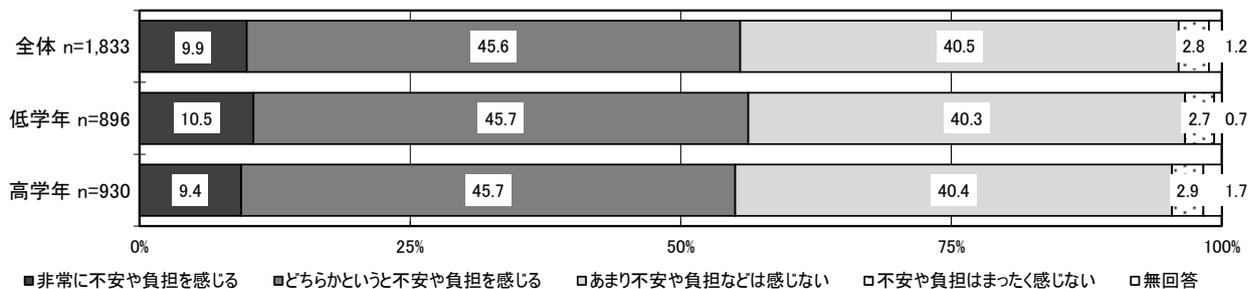
⑳ 子育てに関して不安や負担を感じることがありますか。

“1・2歳”や“低学年”で不安や負担が高い傾向がみられます。

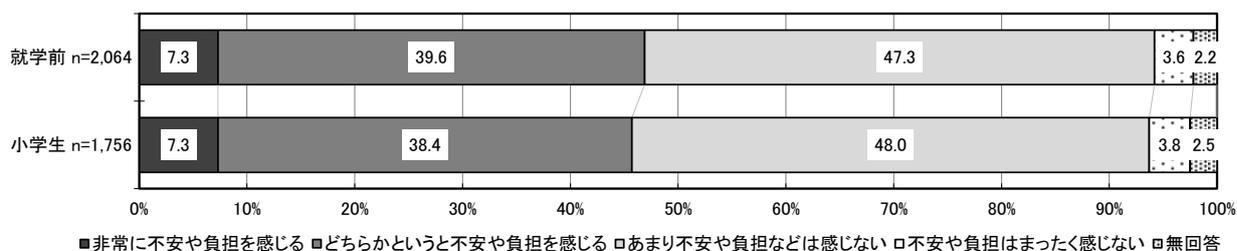
■ 就学前



■ 小学生



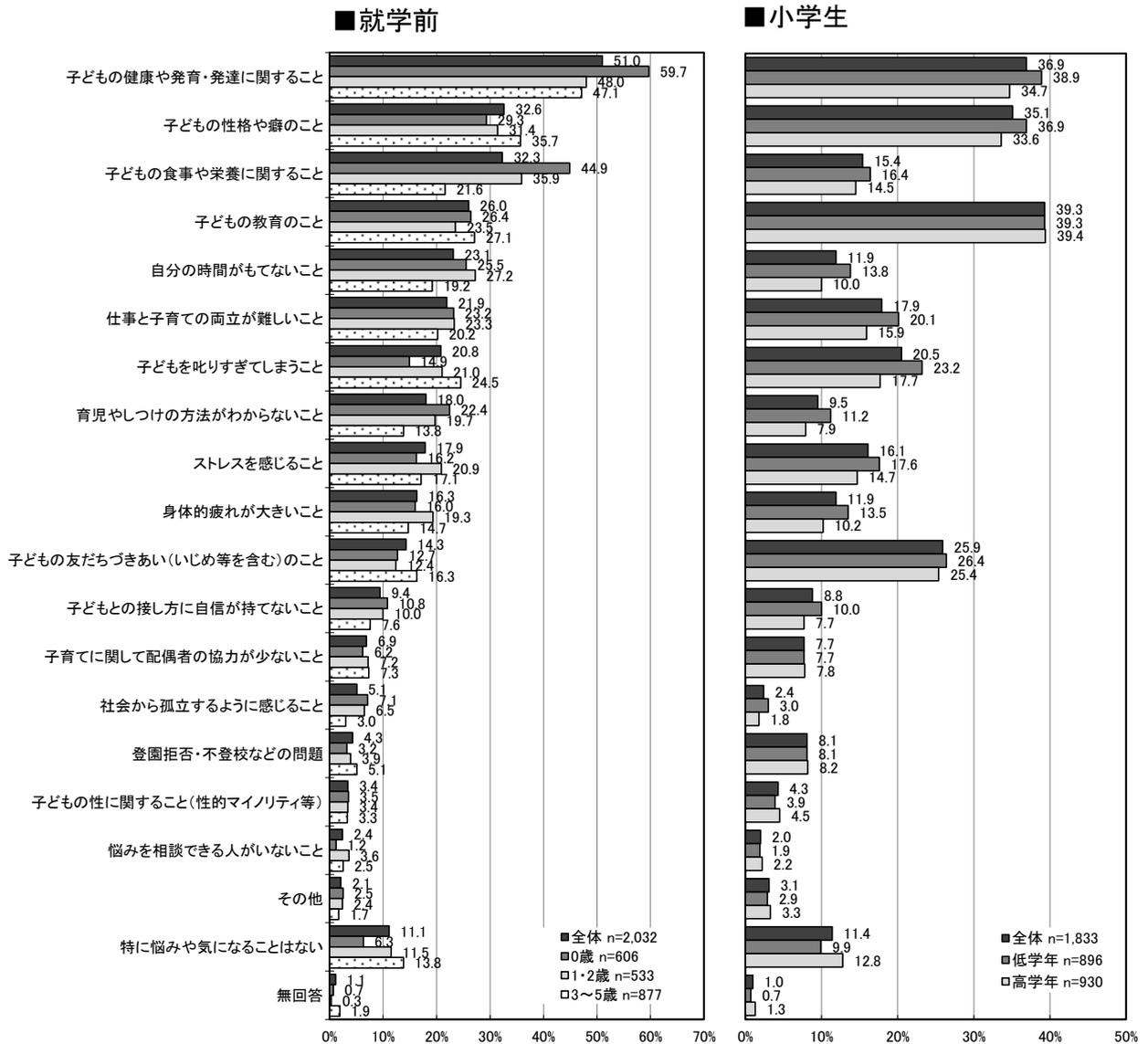
■ 前回(参考)



⑭ 子育ての悩み、気になることはどのようなことですか。

“0歳では比較的「子どもの健康や発育・発達に関すること」や「子どもの食事や栄養に関すること」が高くなっています。

『小学生』になると比較的「子どもの性格や癖のこと」「子どもの教育のこと」「子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)のこと」が高くなっています。

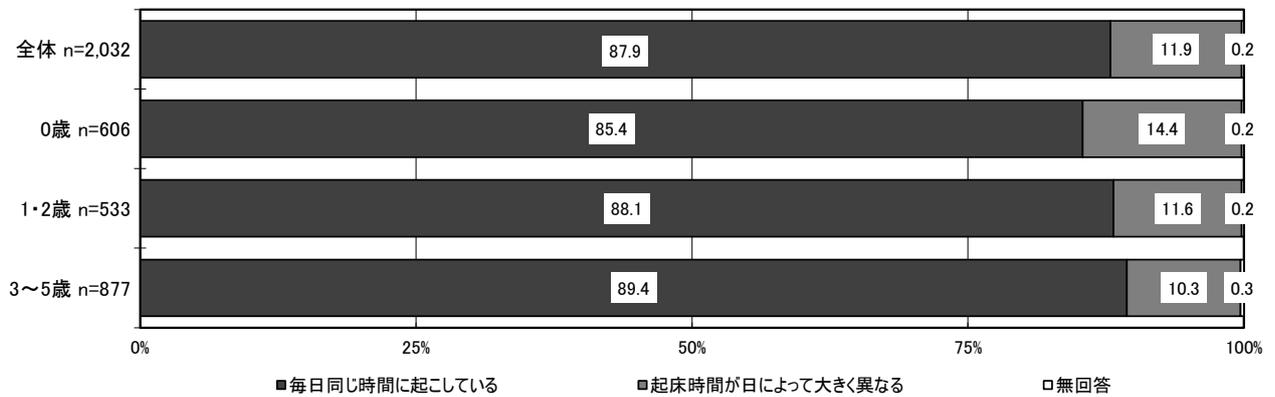


(4) 子どもの家庭での生活

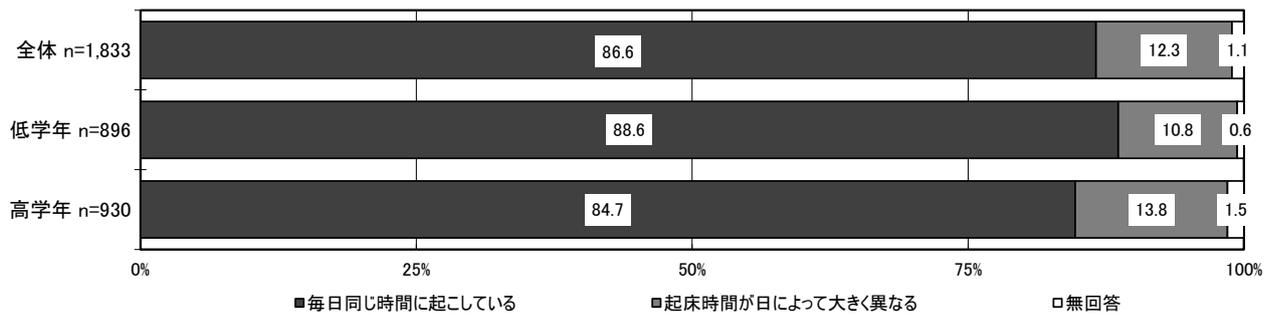
⑤A 起床の様子。

“1・2歳”から“低学年”までが比較的「毎日同じ時間に起こしている」が高くなっています。

■ 就学前



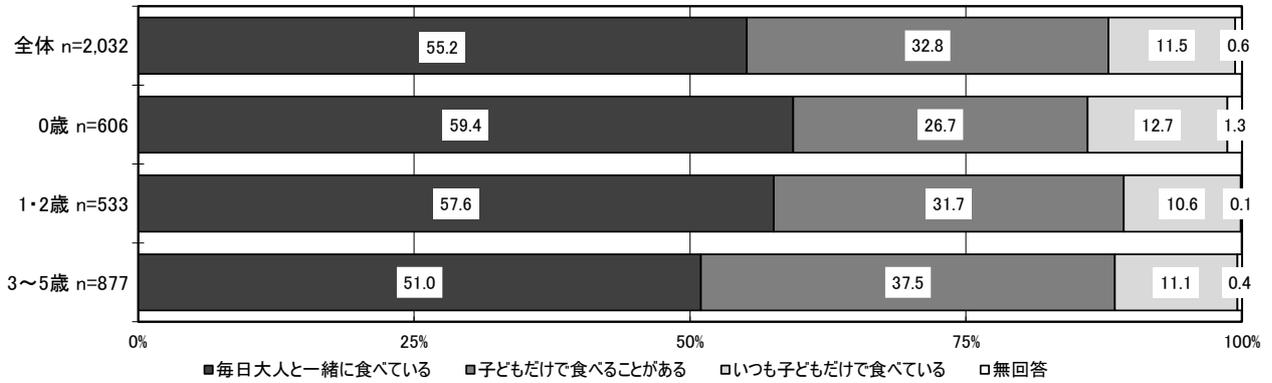
■ 小学生



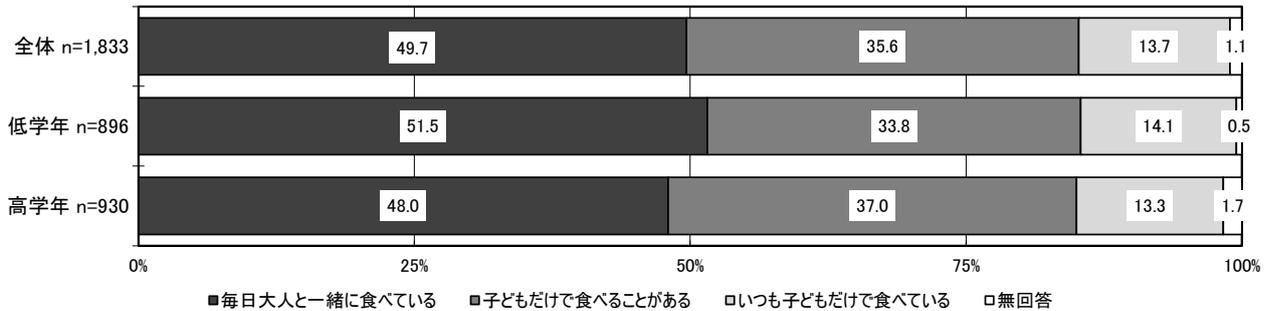
②B 朝食(共食)の様子。

“0歳”であっても子どもだけで食べさせている状況が約4割程度となっています。

■就学前



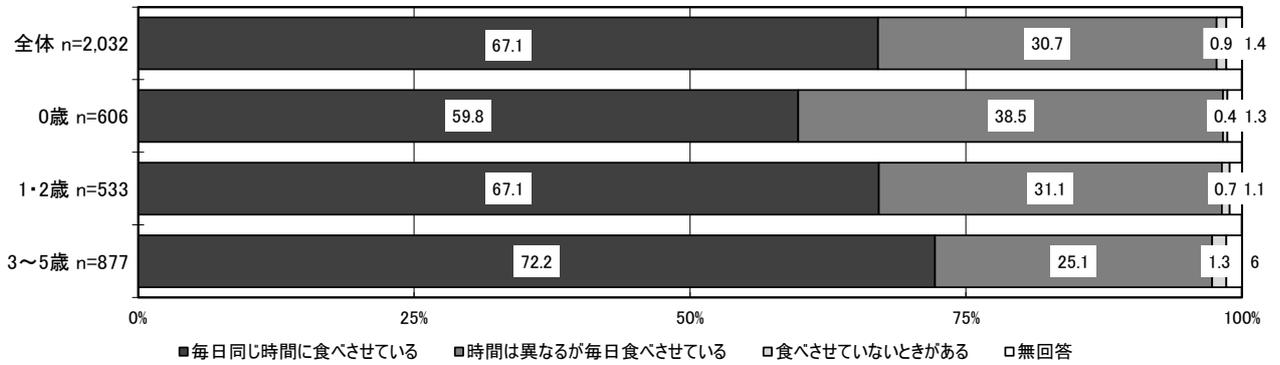
■小学生



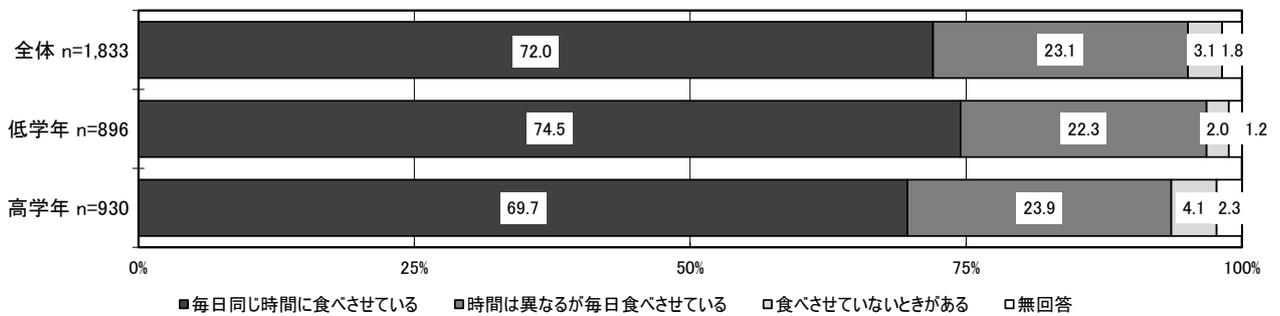
②C 朝食(時間)の様子。

「食べさせていないときがある」が“3～5歳”においては1.3%、“高学年”においては4.1%となっています。

■就学前



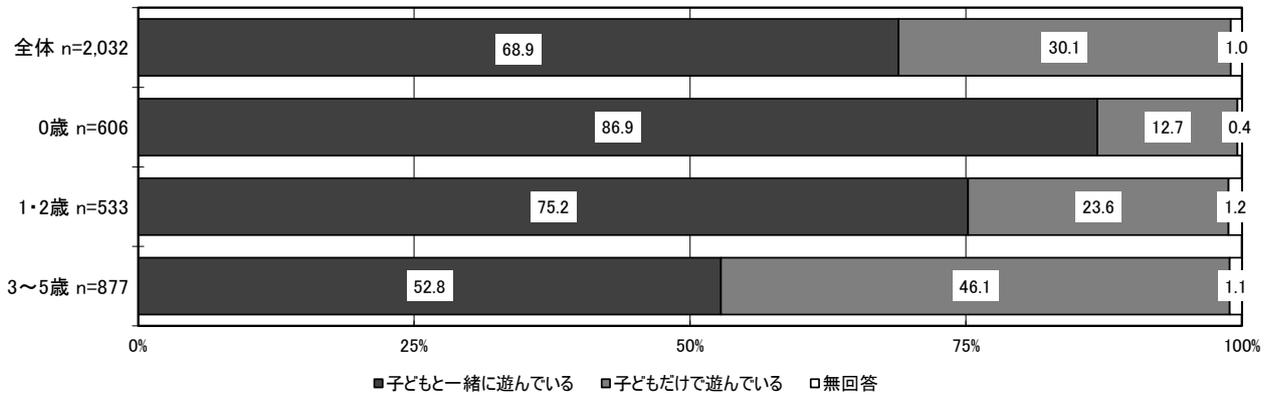
■小学生



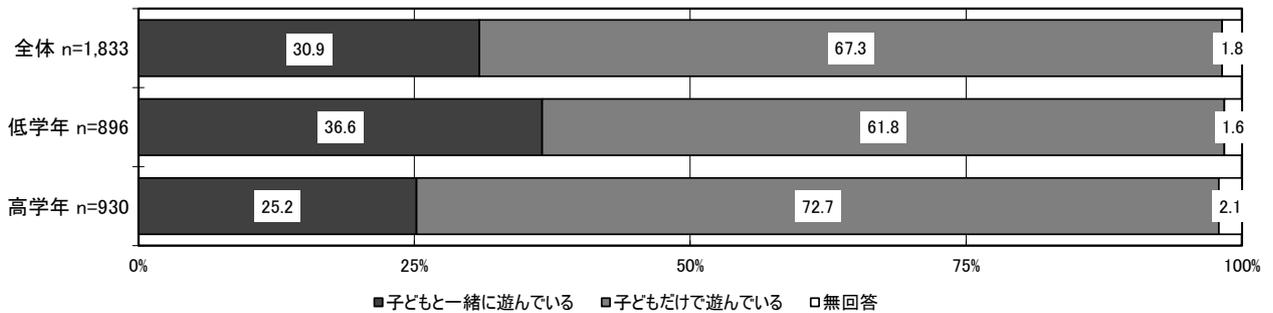
②D 遊びの様子。

年齢が高いほど「子どもと一緒に遊んでいる」が低くなっており、「3～5歳」で半数程度となっています。

■就学前



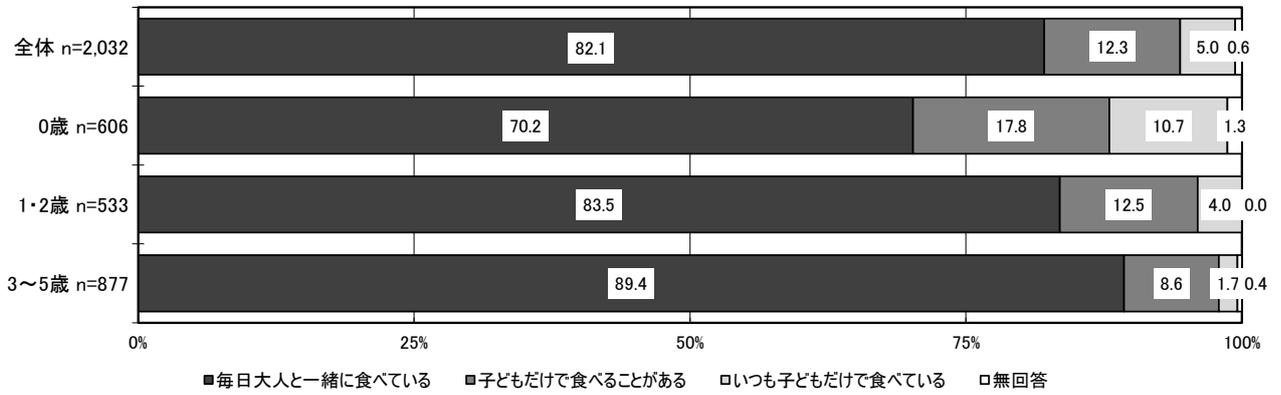
■小学生



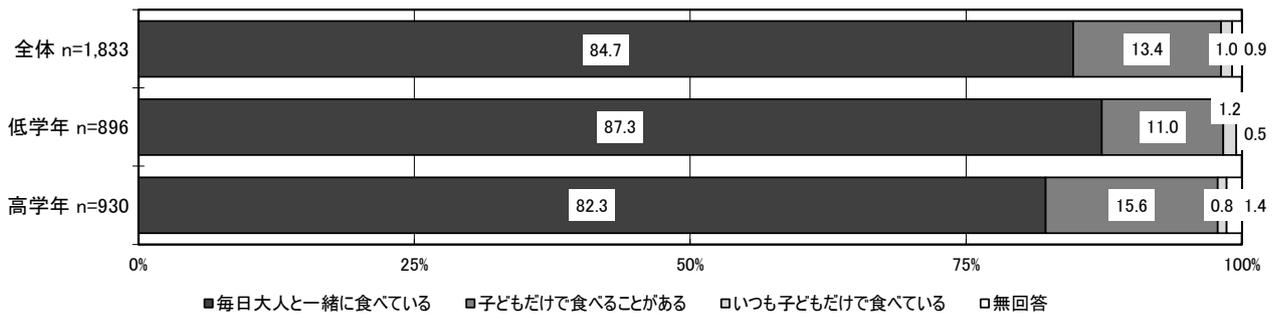
②E 夕食(共食)の様子。

“3～5 歳”までは年齢が高いほど「毎日大人と一緒に食べている」が高くなっていますが、“小学生”以降減少しています。

■ 就学前



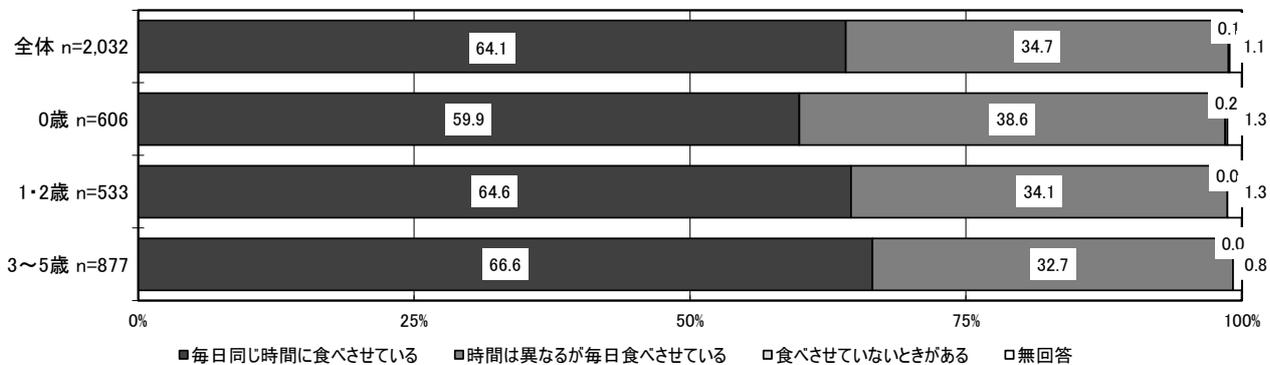
■ 小学生



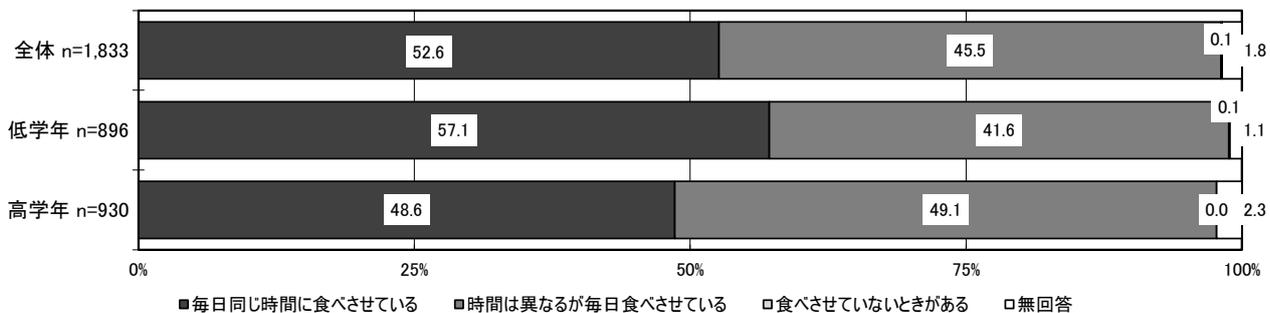
②F 夕食(時間)の様子。

“3～5歳”においても「毎日同じ時間にたべさせている」は全体の3分の2程度となっています。
 「食べさせていないときがある」の回答はほとんどありません。

■就学前



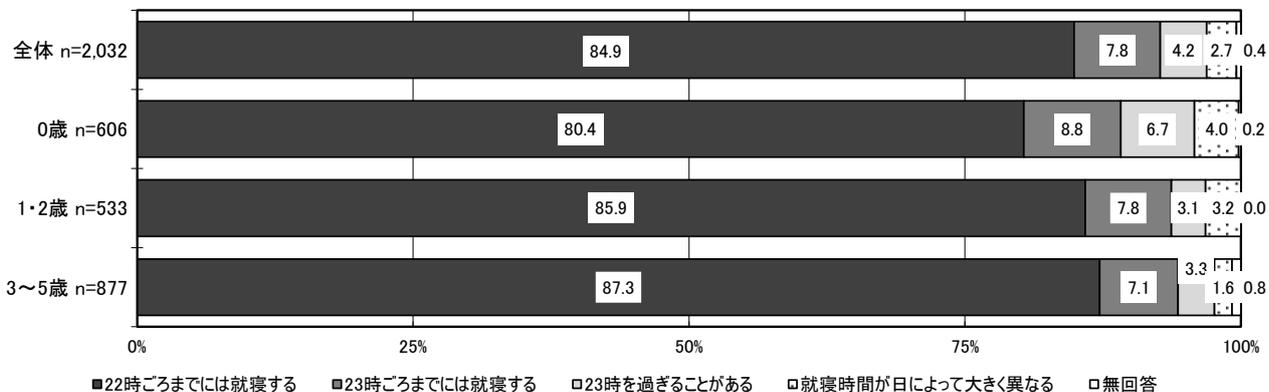
■小学生



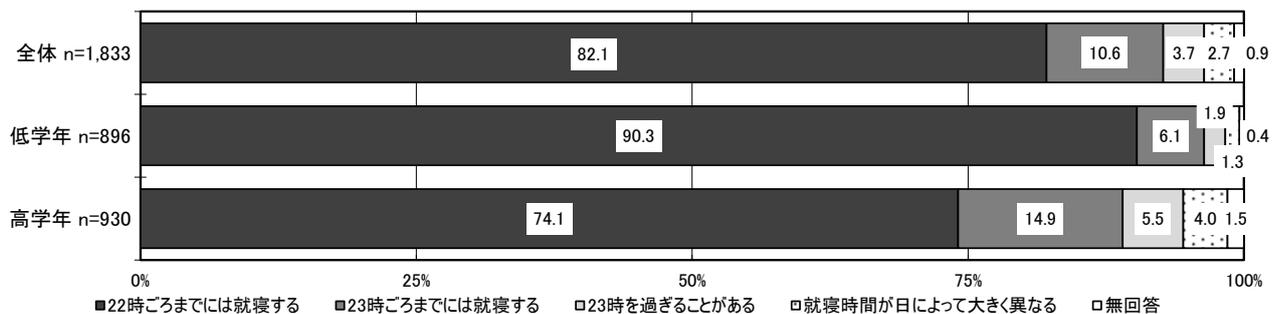
②5G 就寝の様子。

“1・2歳”“3～5歳”においても23時またはそれ以降の就寝が1割程度となっています。
 “高学年”ではさらに多く、2割程度となっています。

■就学前



■小学生

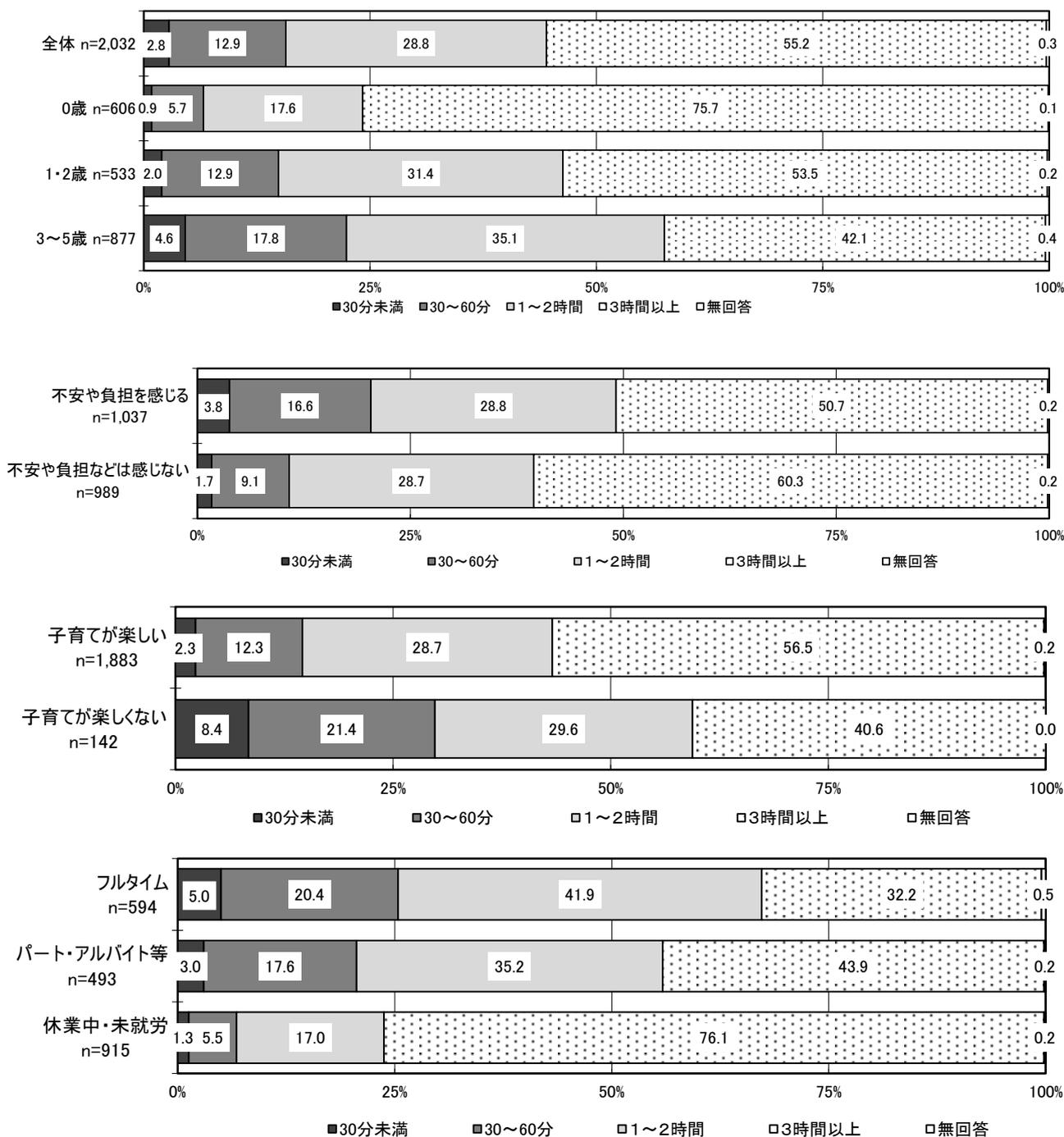


⑳ 平日に子どもと対話したり触れ合ったりできる時間は1日平均どの程度ありますか。

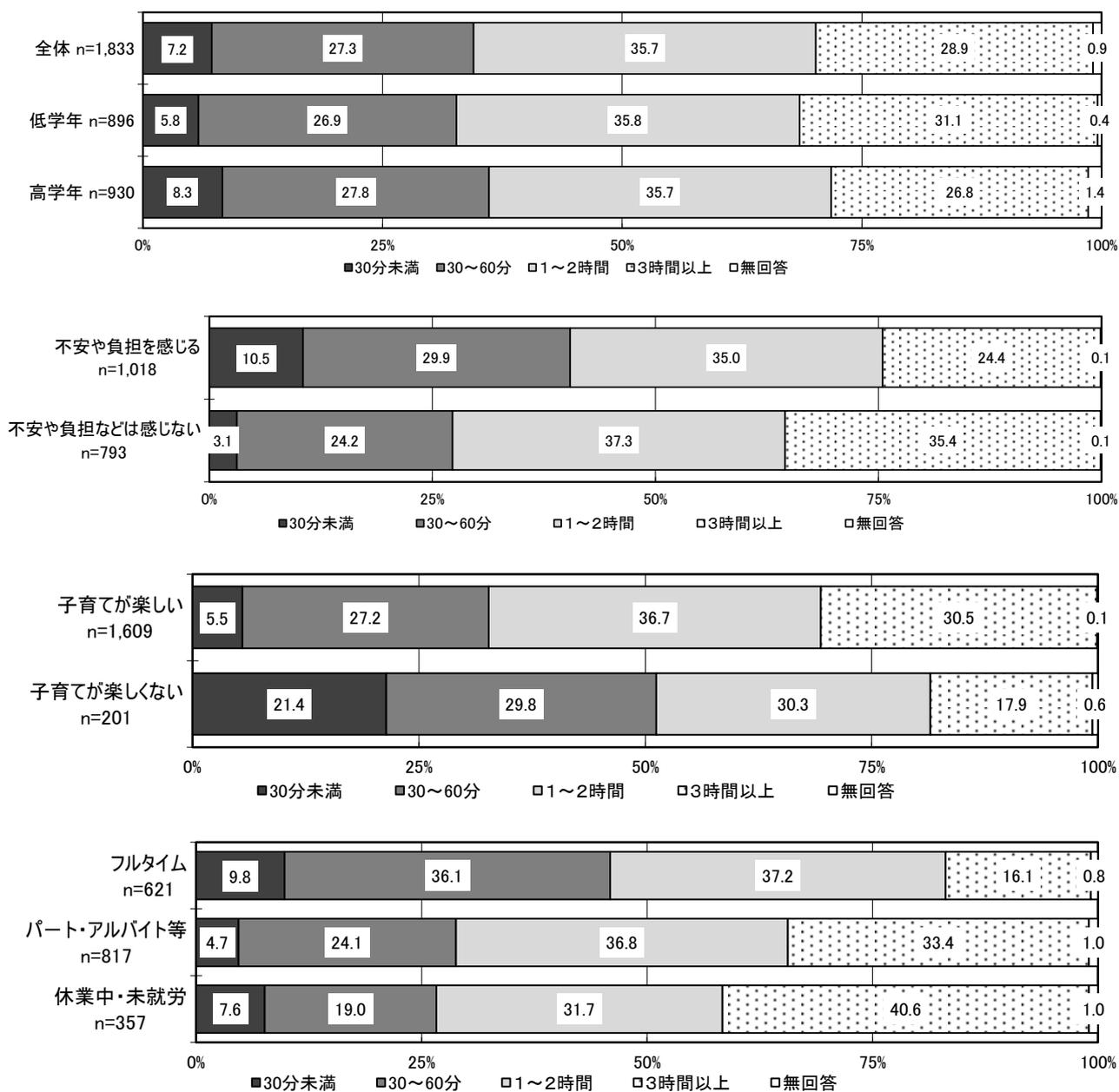
年齢が高いほど、対話したり触れ合ったりできる時間が減少していきます。

“就学前”“小学生”ともに、基本的には“子育て不安や負担を感じていない”“子育てが楽しいと感じる”“現在仕事をしていない”“パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労形態)”で比較的勤務時間が短い方が触れ合ったりできる時間が長い傾向がみられます。

■ 就学前



■小学生



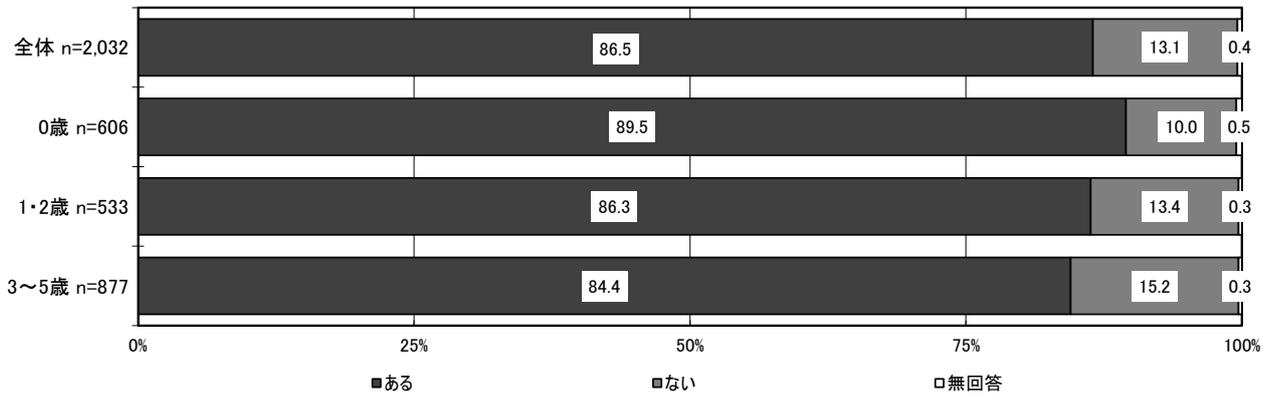
(5) 相談先の有無

㊦ 子育て(教育を含む)について、気軽に相談できる先(人・場所)はありますか。

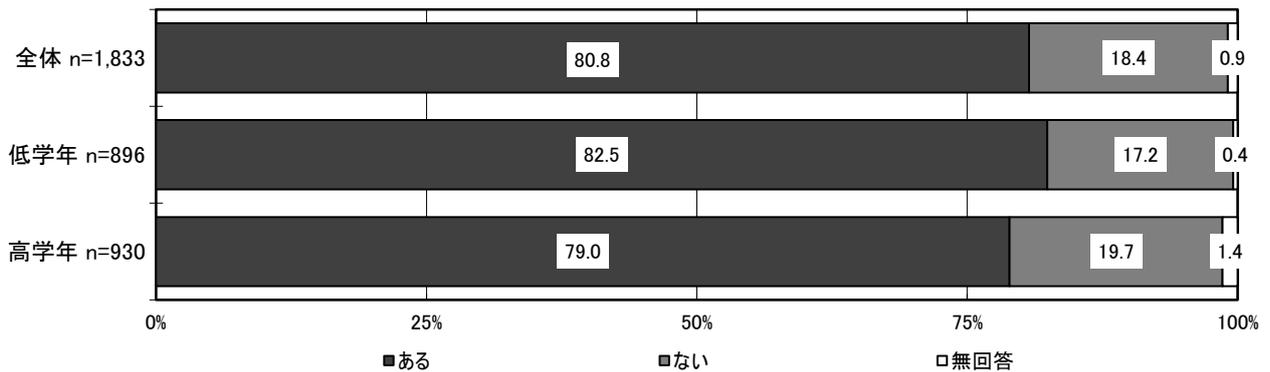
年齢が高いほど、「ある」が少なくなっています。

前回調査と比較して、“就学前”“小学生”ともに「ある」が減少しています。

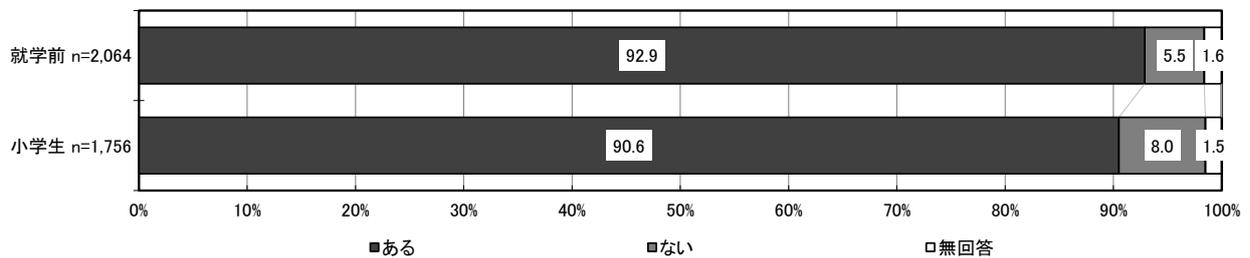
■ 就学前



■ 小学生



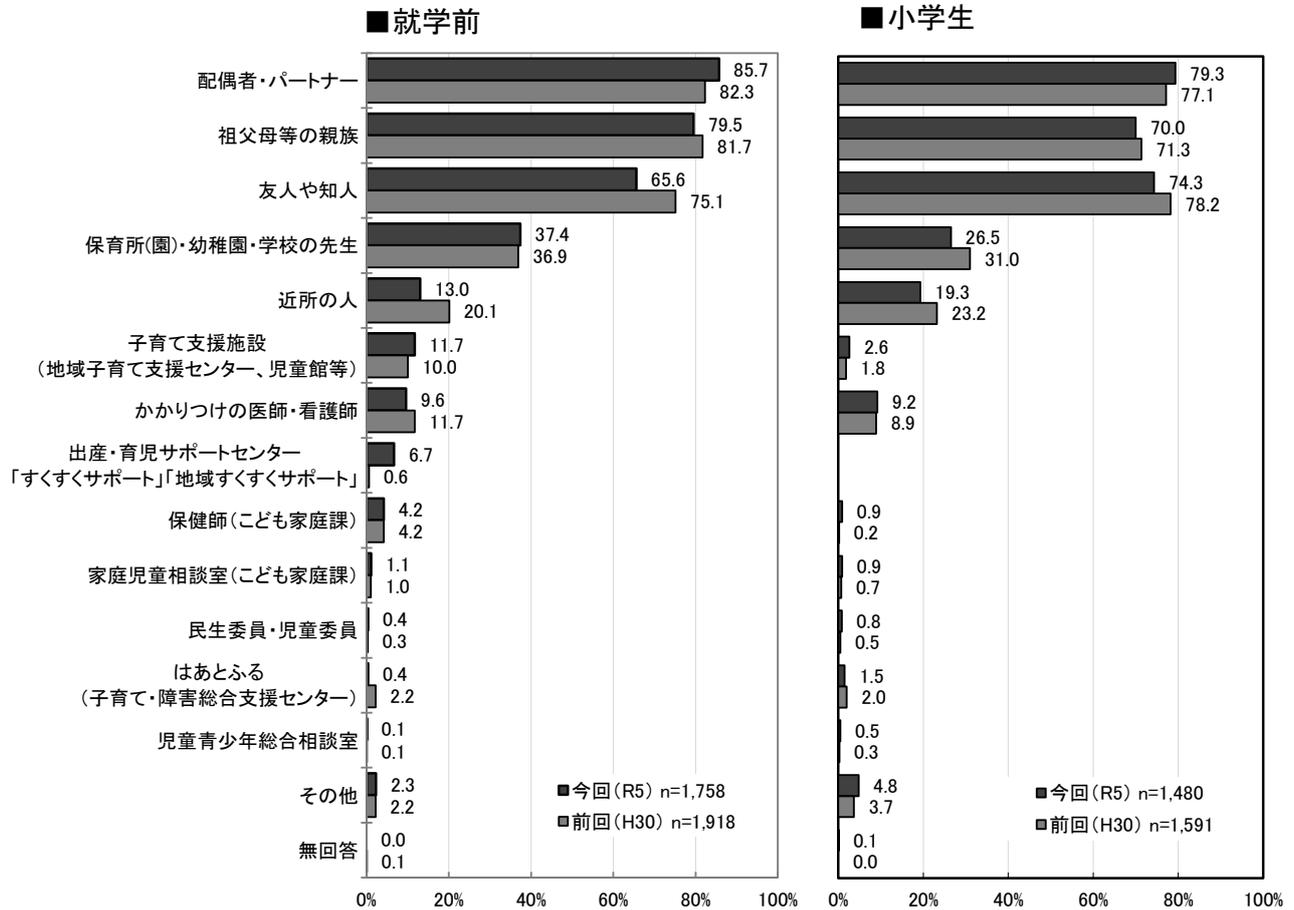
■ 前回(参考)



⑳で「1」(相談先がある)と回答した人

㉑-1 気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。

“就学前”では前回調査と比較して「友人や知人」「近所の人」が少なくなっています。



(6) 公的な相談窓口の利用について

㊸ 市などの公的な相談窓口を利用しやすいと思いますか。

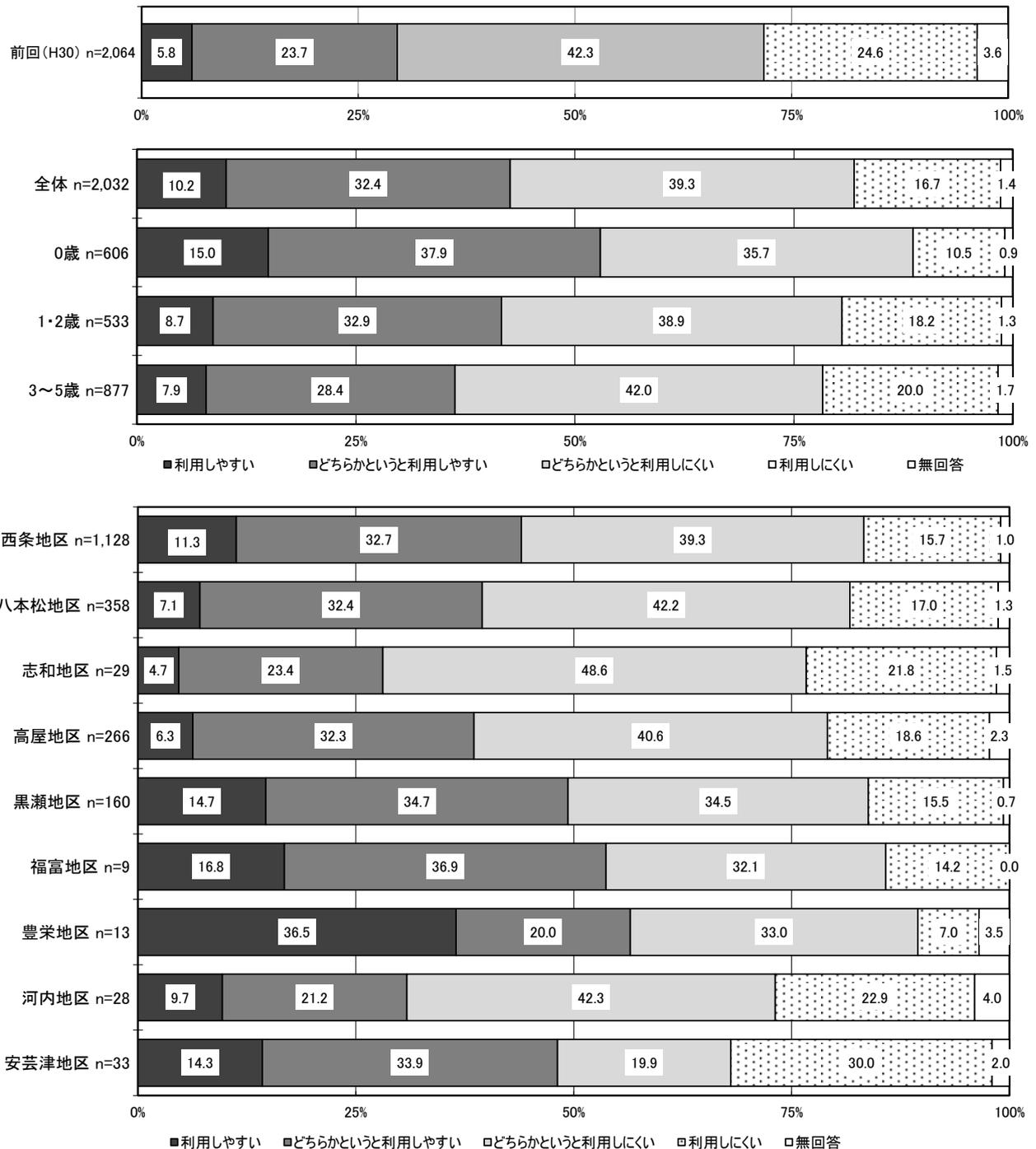
“0歳”では「利用しやすい+どちらかという利用しやすい」が半数以上となっていますが、年齢が高いほど「利用しやすい」が減少しています。

“八本松地区”“高屋地区”では比較的に利用しにくいが高くなっています。

(“地区別”ではサンプル数(n)が30未満の場合は参考値とし、分析に含めていません。)

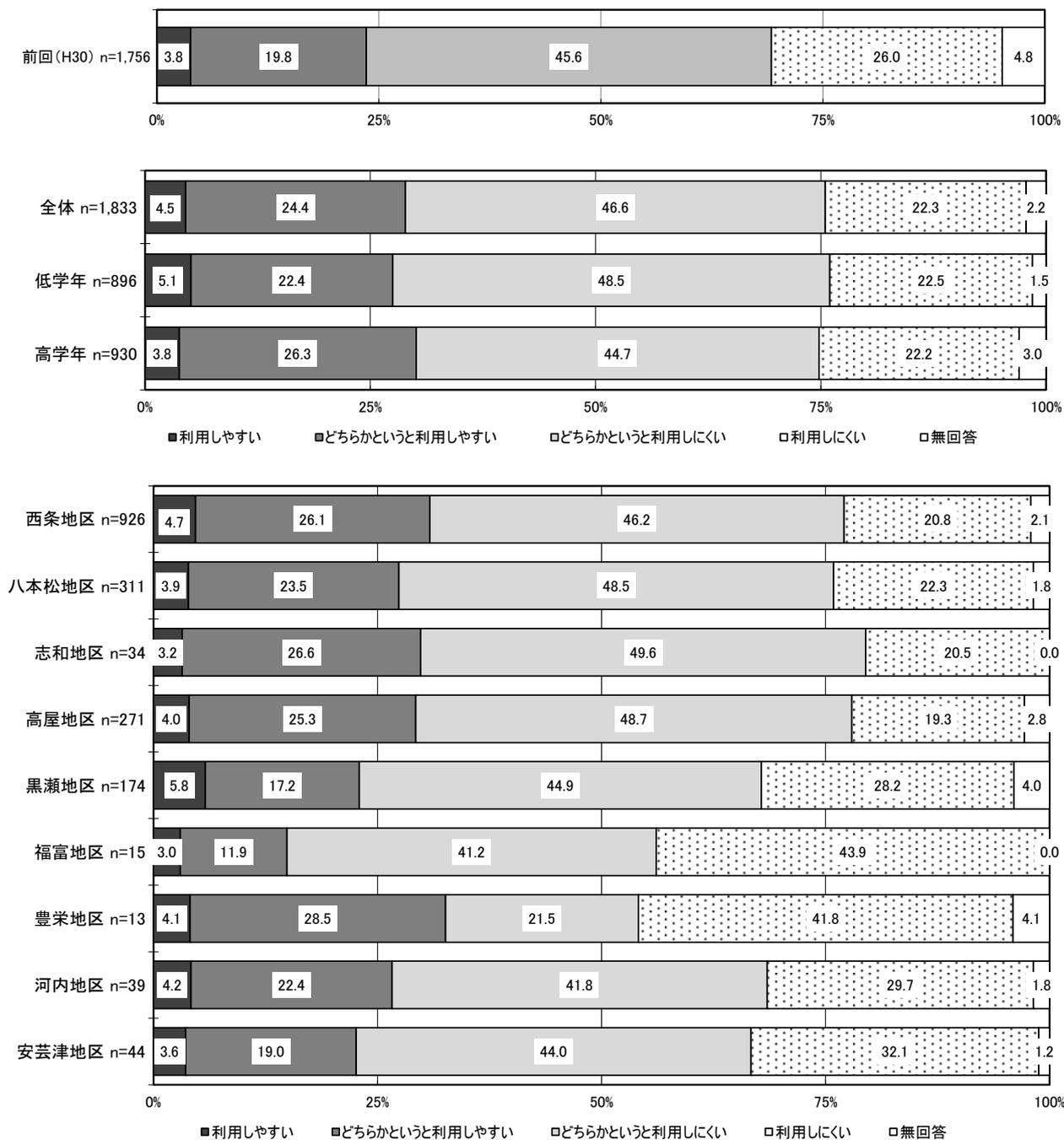
前回調査と比較して、利用しやすいという意見が増加しています。

■ 就学前



“黒瀬地区”では比較的に利用しにくいが高くなっています。
 (“地区別”ではサンプル数(n)が30未満の場合は参考値とし、分析に含めていません。)
 前回調査と比較して、利用しやすいという意見が増加しています。

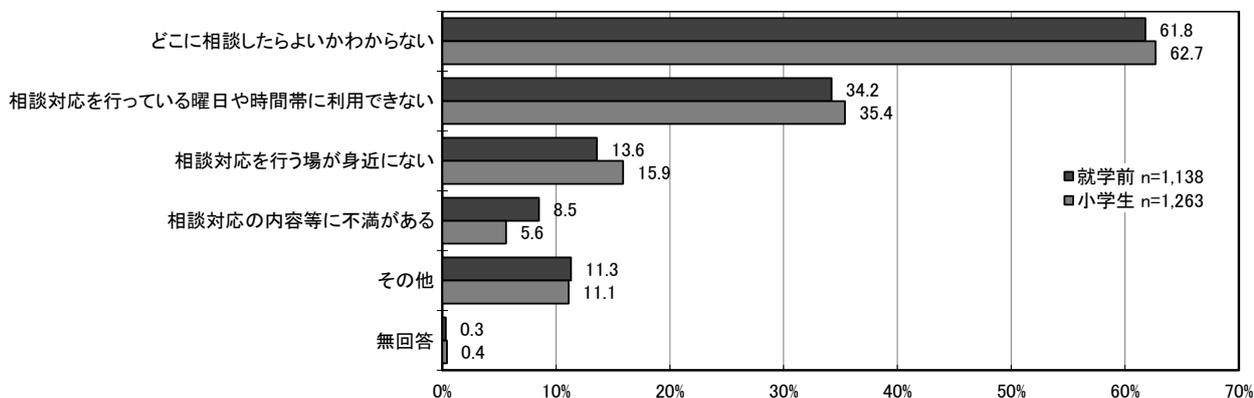
■小学生



⑳で「3」、「4」(利用しにくい)と回答した人

㉑-1 利用しにくいと思う理由は何ですか。

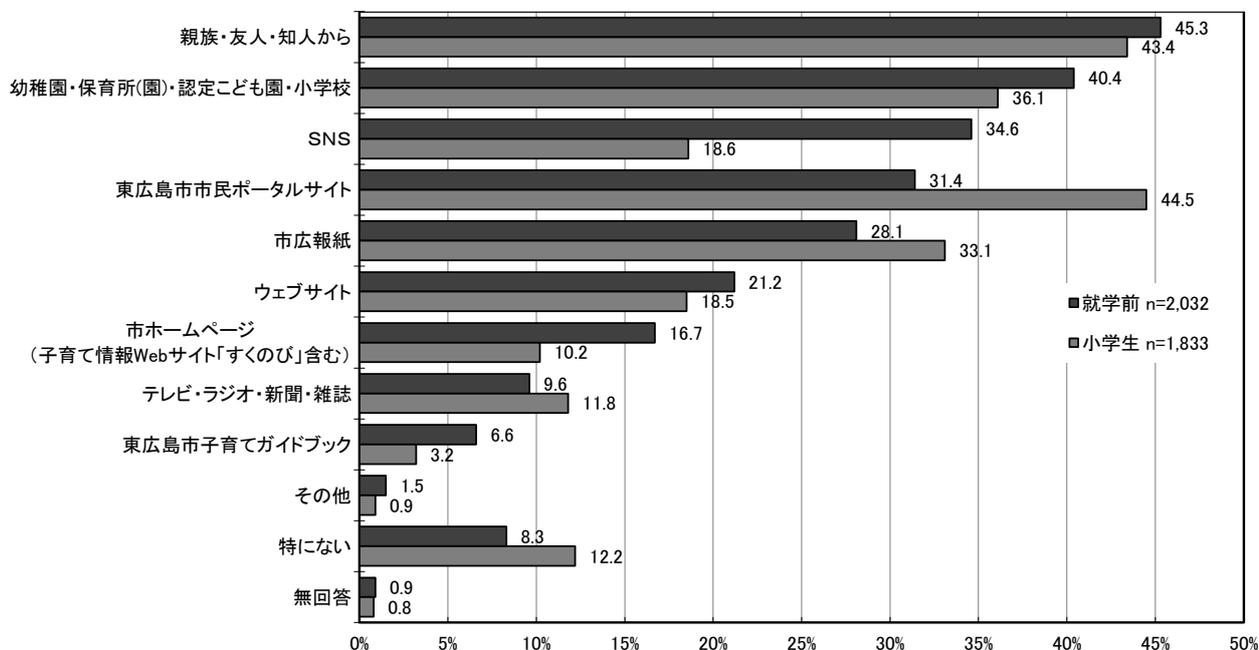
“就学前”“小学生”ともに「どこに相談したらよいかわからない」が最も高くなっています。
 “就学前”“小学生”では似た傾向となっています。



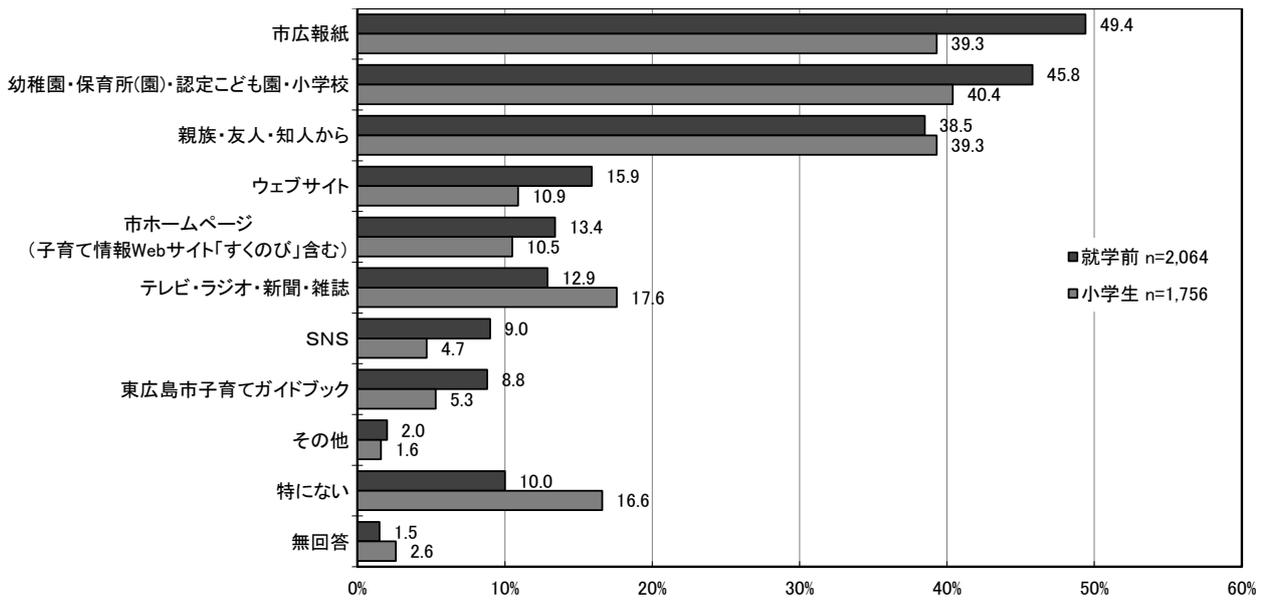
(7) 子育てに関する情報取得について

㉒ どのようにして子育て支援に関する情報を入手していますか。

“小学生”に比べて“就学前”の方が「SNS」「市ホームページ」が高くなっています。
 “就学前”に比べて“小学生”の方が「東広島市市民ポータルサイト」「市広報紙」が高くなっています。
 前回調査と比較して「親族・友人・知人から」「SNS」等が大きく増加しています。

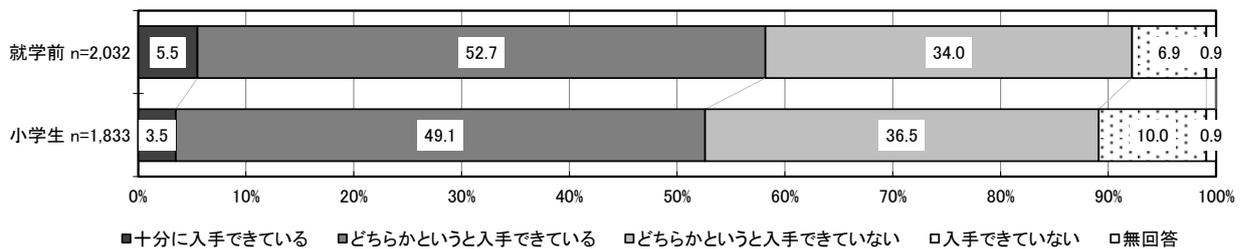


■ 前回(参考)

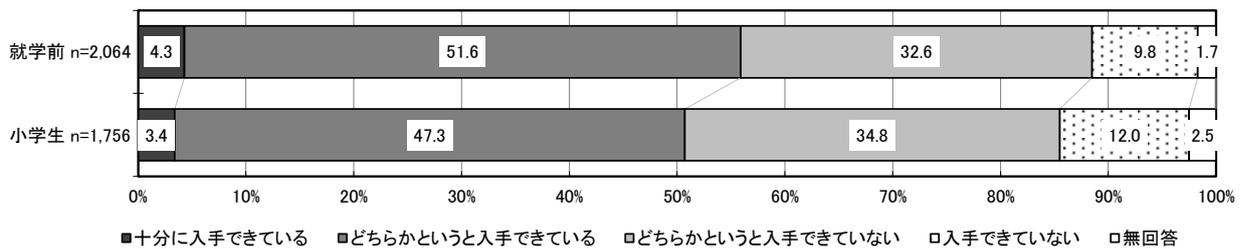


⑩ 子育て支援に関する情報を十分に入手できていると思いますか。

“小学生”に比べて“就学前”の方が入手出来ているという回答が高くなっています。
 前回調査とは同じ傾向です。



■ 前回(参考)

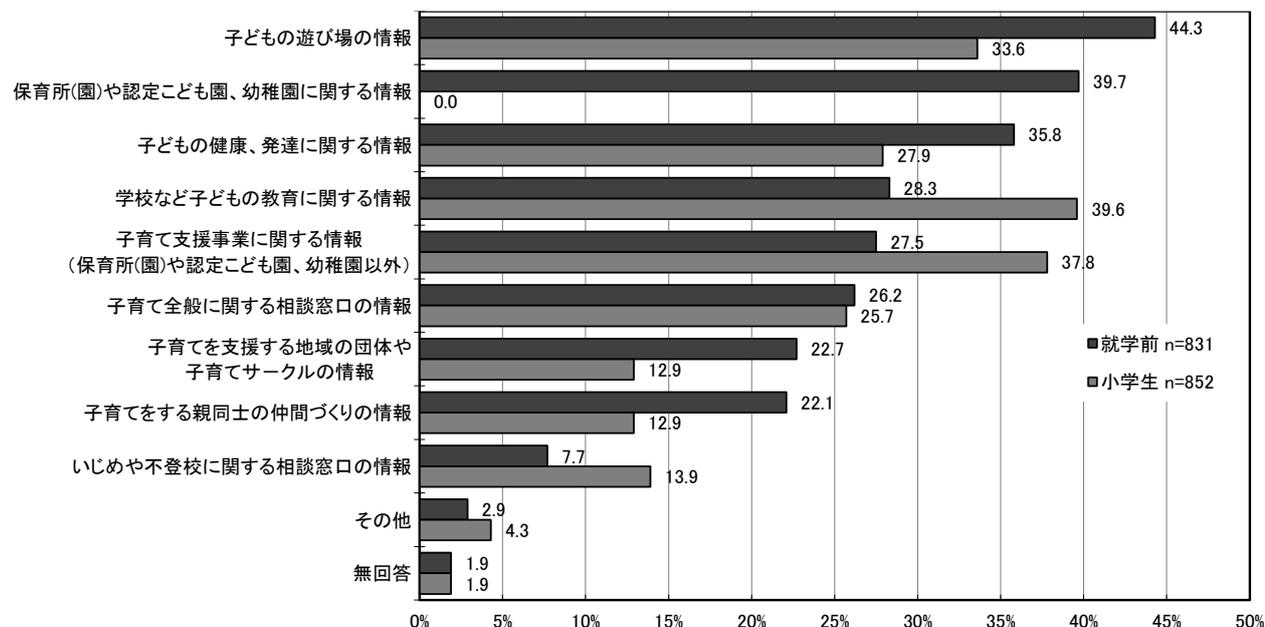


⑩で「3」、「4」(入手できていない)と回答した人

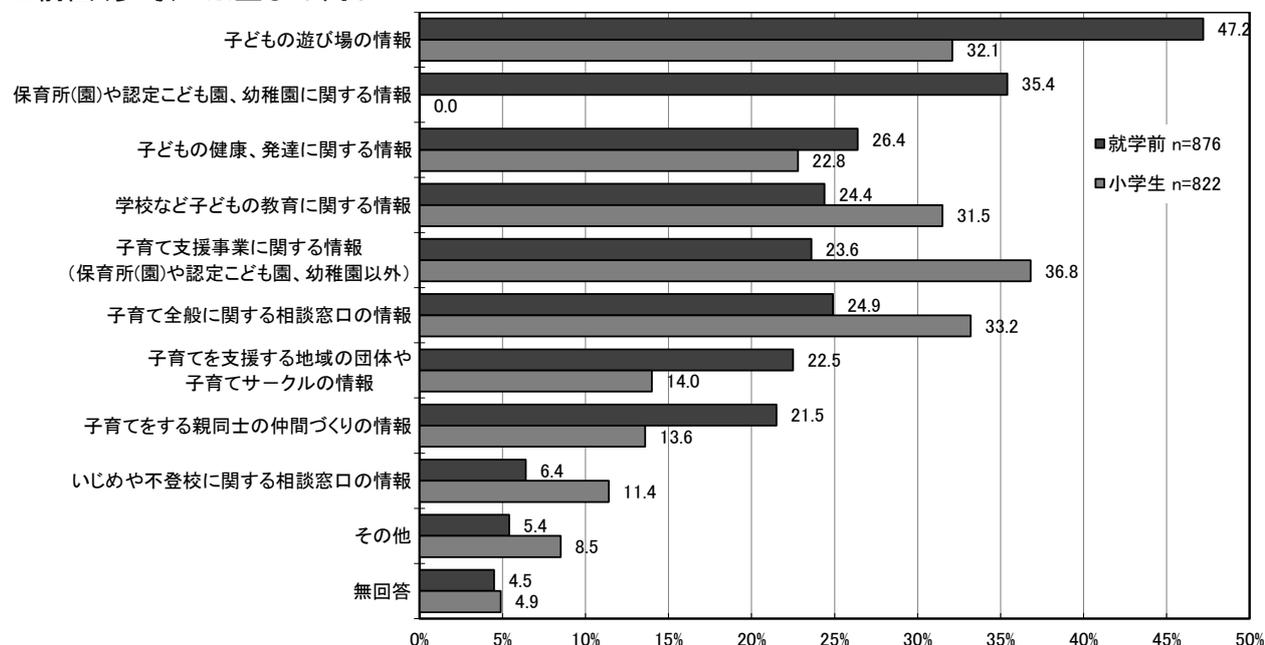
⑩-1 どのような情報が不足していると思いますか。

“就学前”では、「子どもの遊び場の情報」「保育所(園)や認定こども園、幼稚園に関する情報」が高くなっています。

“小学生”では「学校など子どもの教育に関する情報」「子育て支援事業に関する情報(保育所(園)や認定こども園、幼稚園以外)」が高くなっています。



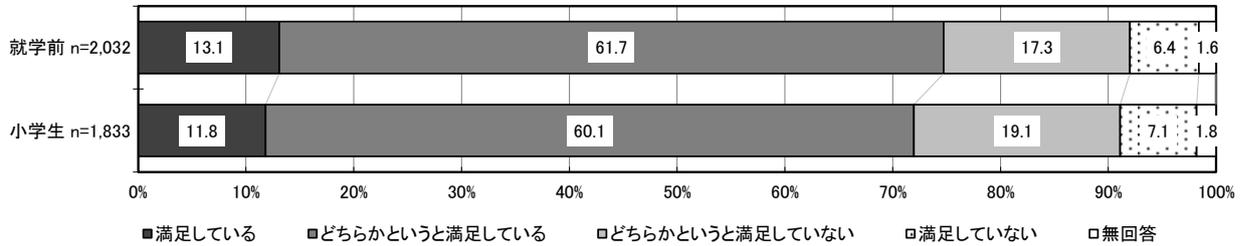
■ 前回(参考) ※並びは同じ



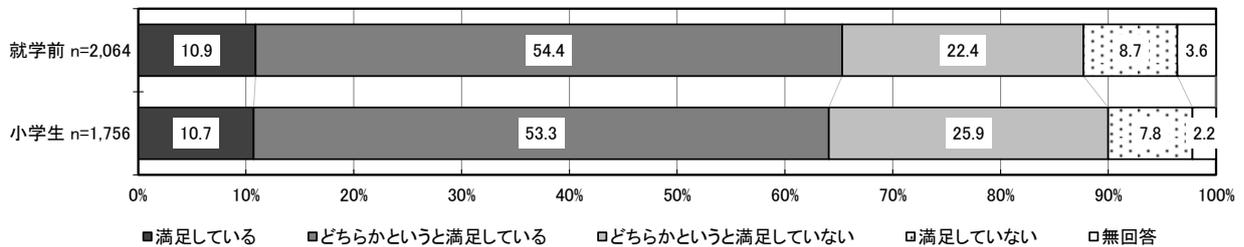
(8) 健康づくり支援について

③1A あて名のお子さんへの健康づくりの支援に満足していますか。

前回調査と比較して「満足している+どちらかという満足している」は増加傾向がみられます。

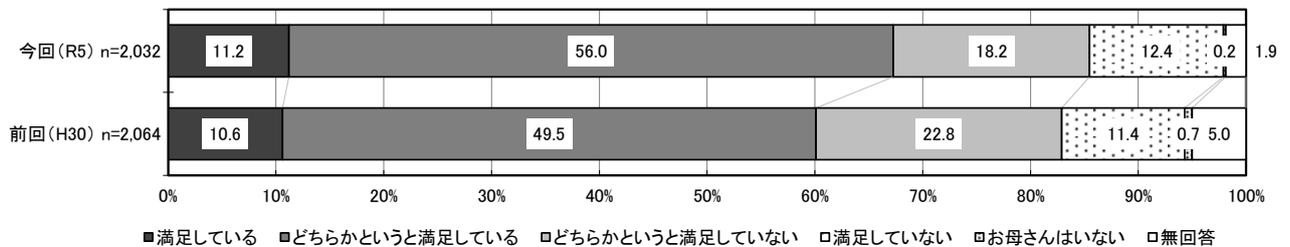


■ 前回(参考)



③1B 産前・産後のお母さんへの健康づくりの支援に満足していますか。

前回調査と比較して「満足している+どちらかという満足している」は増加傾向がみられます。

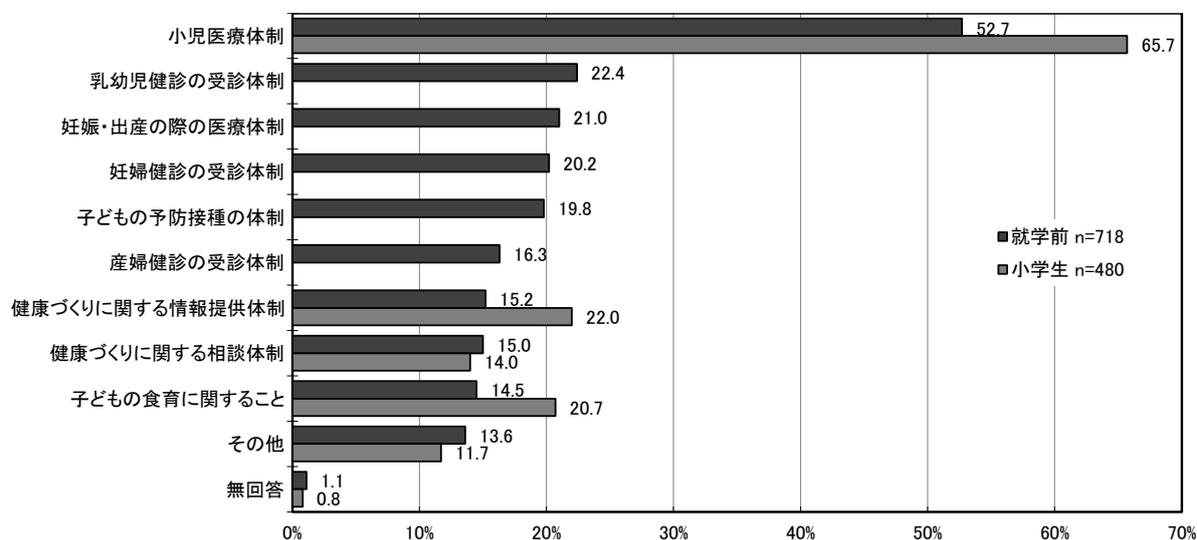


③1で「3」、「4」(満足していない)と回答した人

③1-1 満足していないのは、どのようなことですか。

“就学前”“小学生”ともに「小児医療体制」が高くなっています。

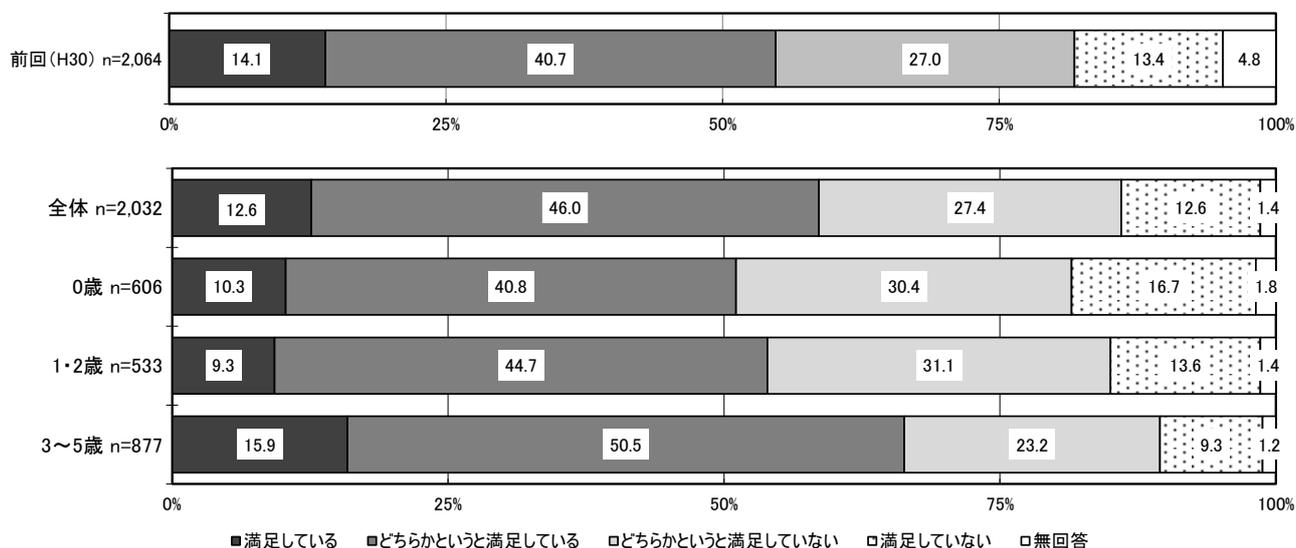
“就学前”では「乳幼児健診の受診体制」「妊娠・出産の際の医療体制」が続いています。



(9) 教育・保育事業や一時的な保育を行う事業について

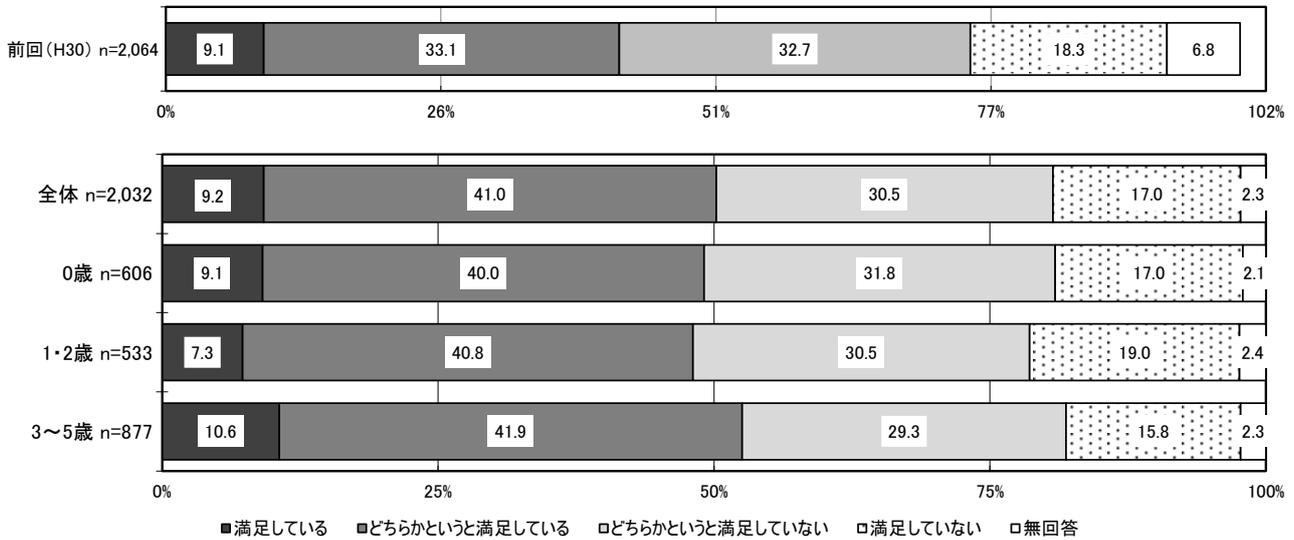
③2A 「子育てと仕事を両立するための教育・保育事業」に満足していますか。

年齢が高いほど「満足している+どちらかという満足している」は増加傾向がみられます。



③2B 「緊急時や保護者の用事の際などの一時的な保育を行う事業」に満足していますか。

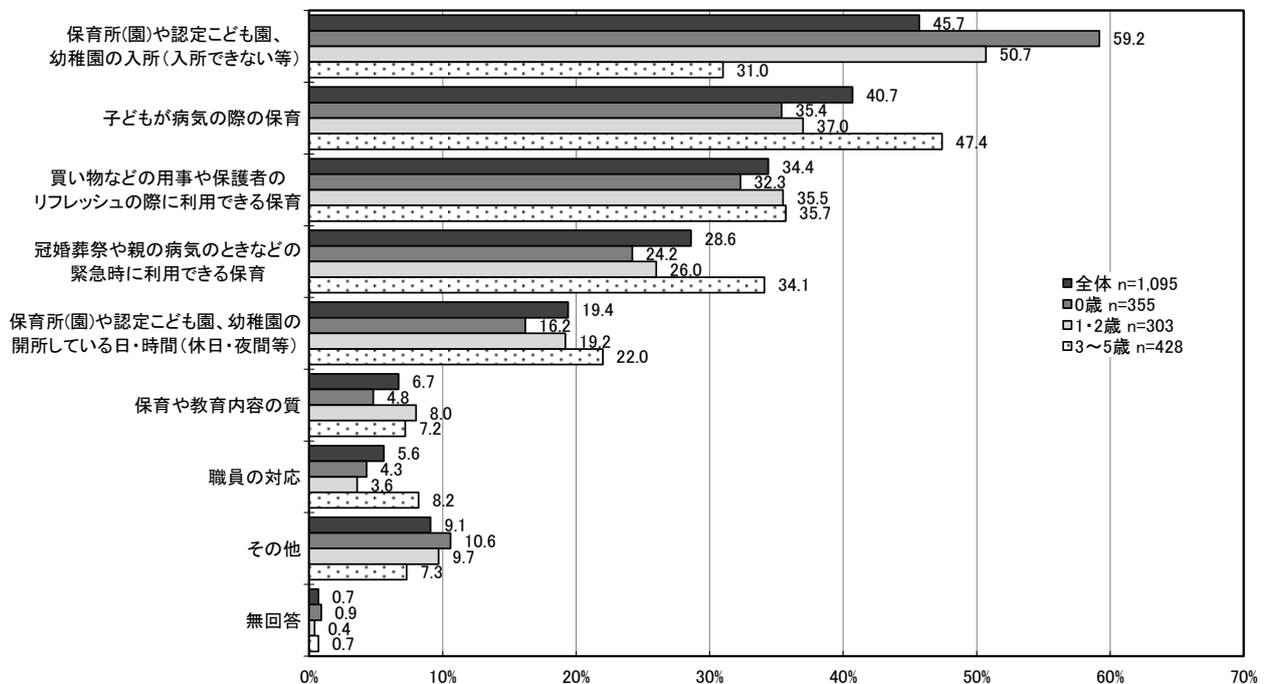
前回調査と比較して「満足している;どちらかという満足している」が増加しています。



③2で「3」、「4」(満足していない)と回答した人

③2-1 満足していないのは、どのようなことですか。

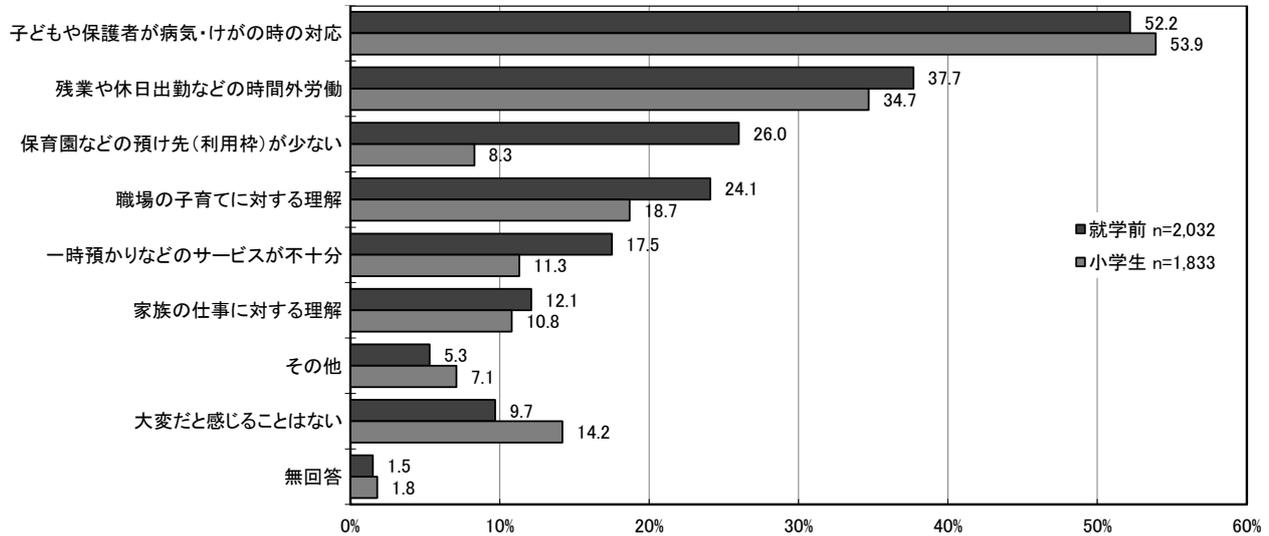
“0歳”“1・2歳”では「保育所(園)や認定こども園、幼稚園の入所(入所できない等)」が特に高くなっています。“3～5歳”では「子どもが病気の際の保育」が高くなっています。



(10) 仕事と子育ての両立

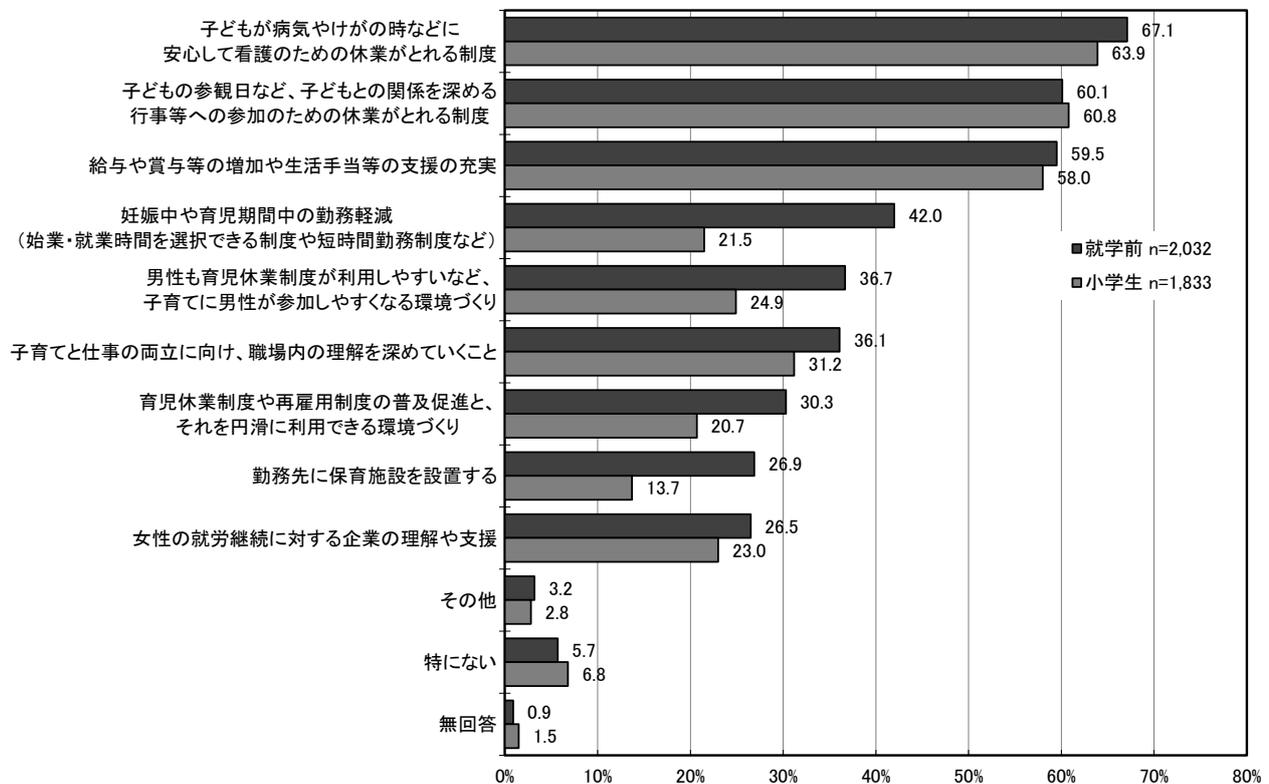
③ 仕事と子育ての両立に関して、両立させるために大変と感じることはありますか。

“就学前”“小学生”ともに「子どもや保護者が病気・けがの時の対応」が最も高くなっています。



④ 仕事と子育ての両立に向けて、企業などに取り組んでほしいことはありますか。

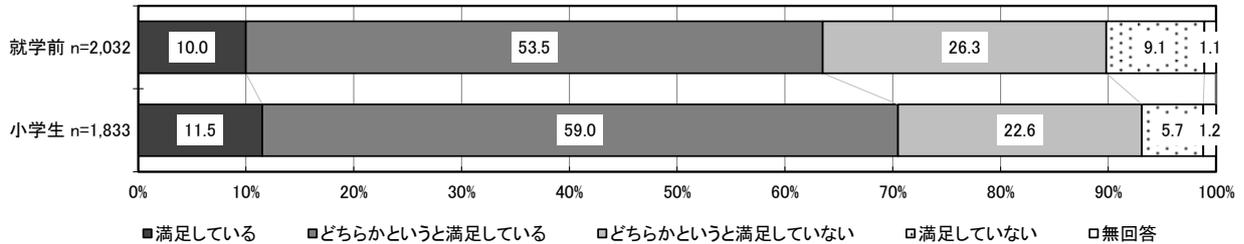
“就学前”“小学生”ともに「子どもが病気やけがの時などに安心して看護のための休業がとれる制度」が最も高くなっています。



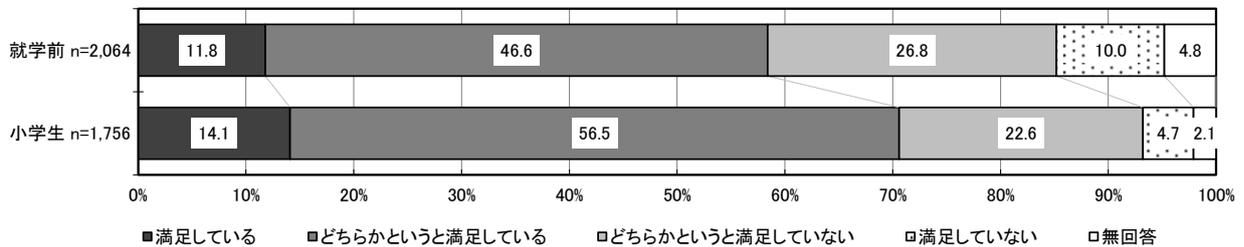
(11) 子どもの地域交流や体験について

⑳ 子どもが、地域の人と交流したり、地域の資源をいかしてさまざまな体験を行うことができる環境に満足していますか。

“就学前”では「満足している+どちらかという満足している」が6割、「小学生」では7割となっています。

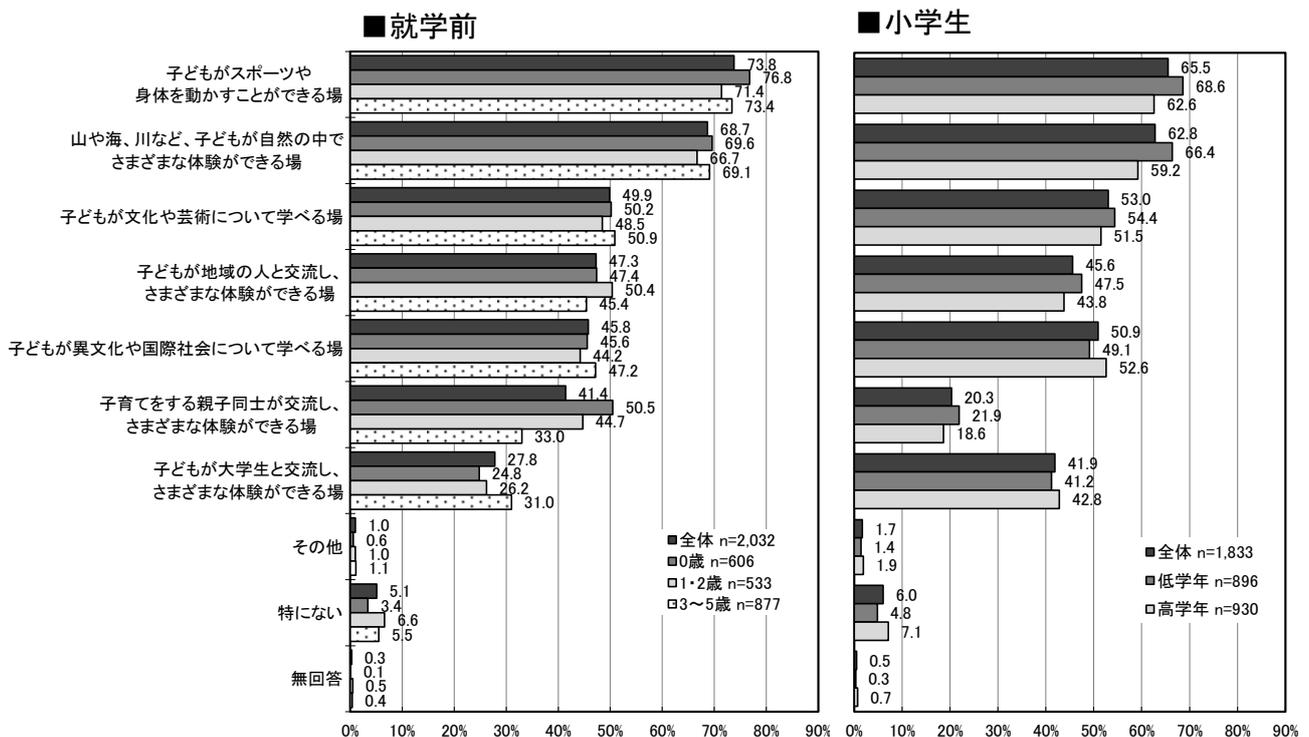


■ 前回(参考)



㉑ 次のような場があったら参加したい、あるいは子どもを参加させたいと思いますか。

“就学前”“小学生”ともに「子どもがスポーツや身体を動かすことができる場」が高くなっています。
 “小学生”では“就学前”に比べて「子どもが大学生と交流し、さまざまな体験ができる場」が高くなっています。

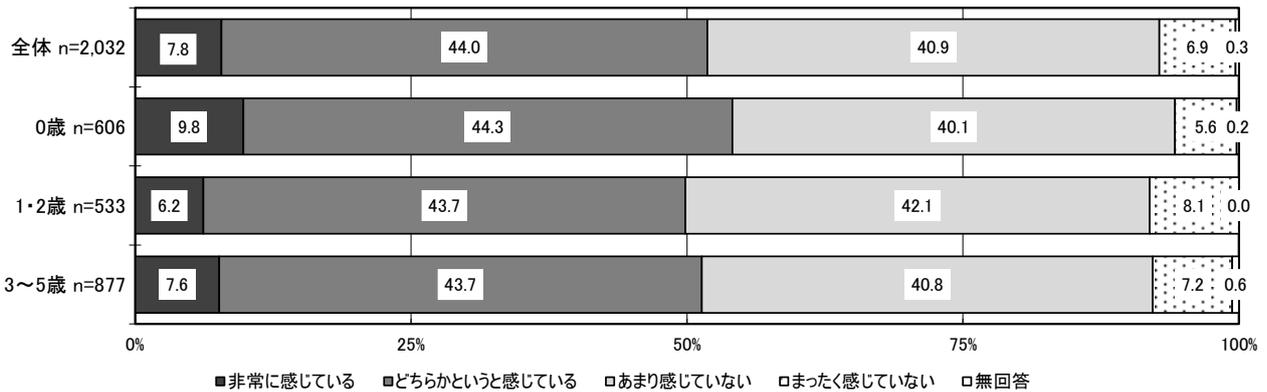


(12) 地域の人々や社会全体の支えについて

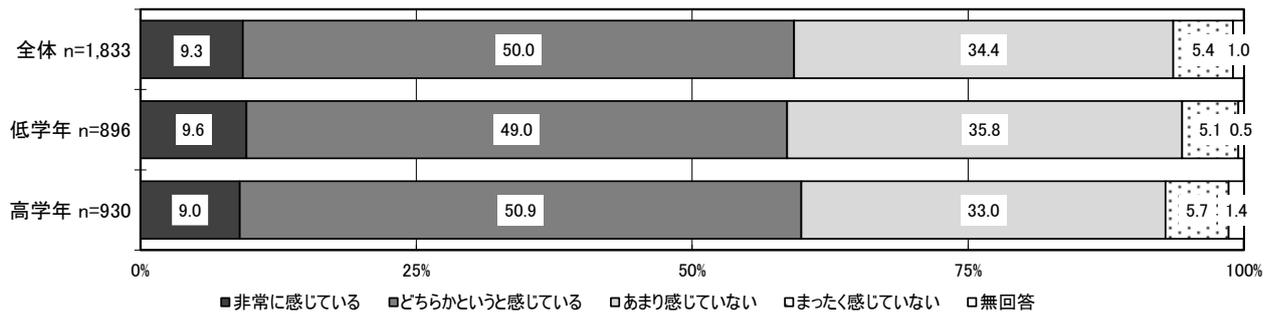
③7 子育てが地域の人々や社会全体に支えられていると感じますか。

“小学生”は“就学前”に比べて「非常に感じている+どちらかというと感じている」が高くなっています。
 前回調査とは同じ傾向です。

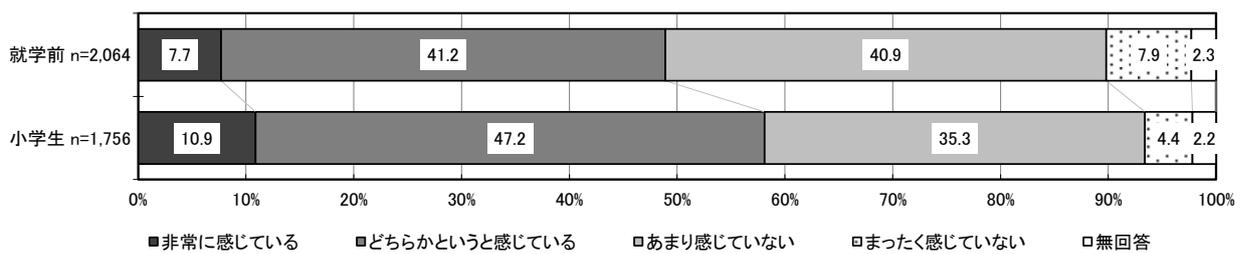
■ 就学前



■ 小学生



■ 前回(参考)

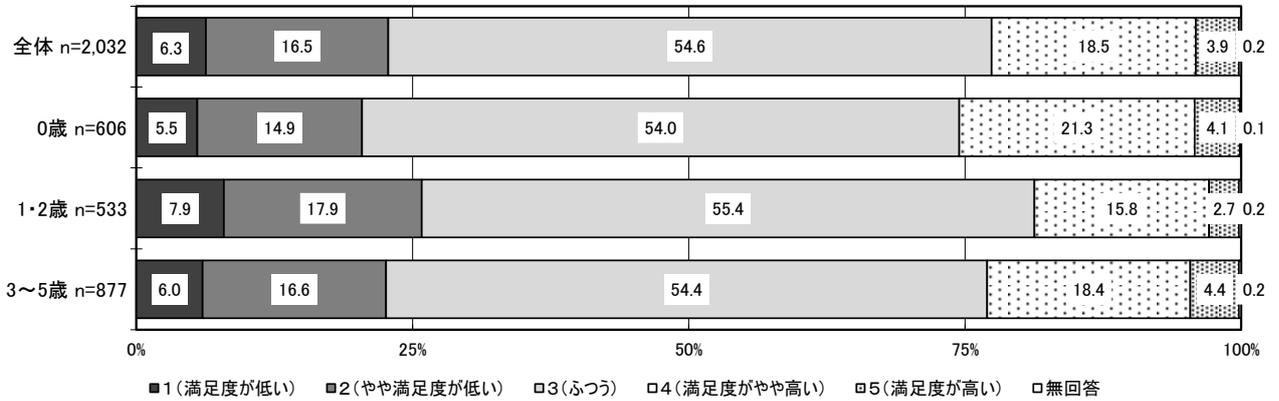


(13) 子育て環境や支援への満足度

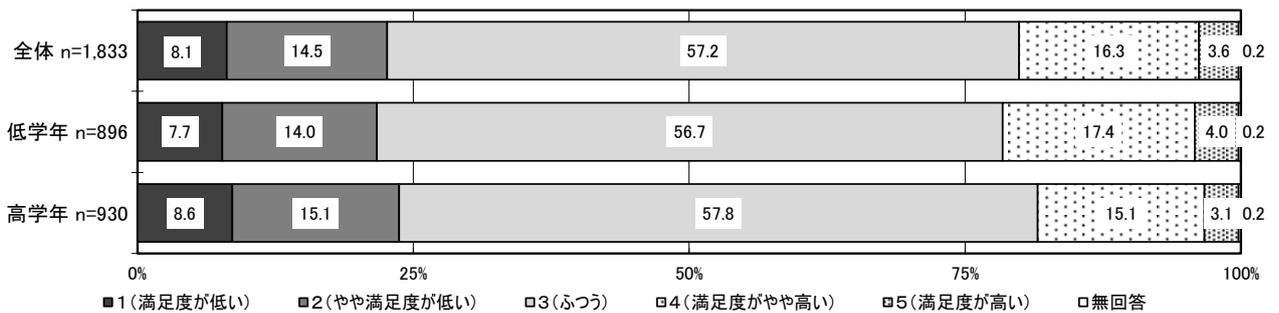
⑳ お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について教えてください。

“0歳”での満足度が比較的高くなっています。

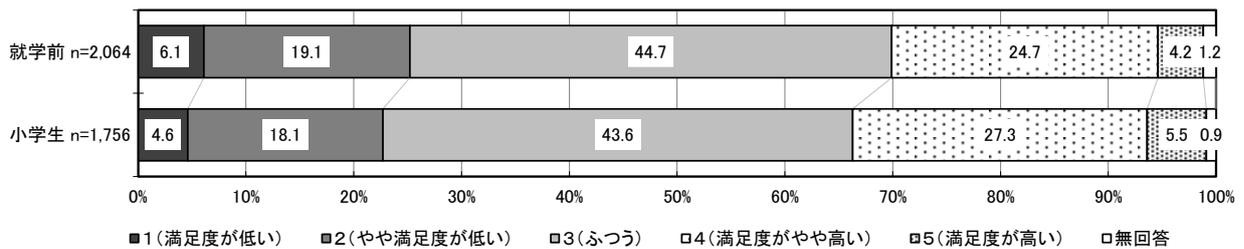
■ 就学前



■ 小学生



■ 前回(参考)

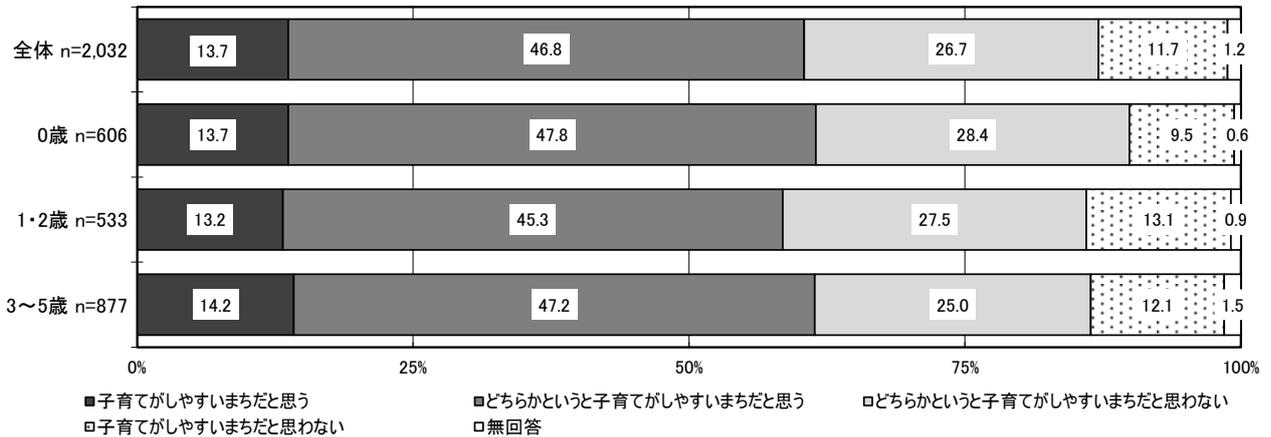


(14) 東広島市の子育てしやすさ

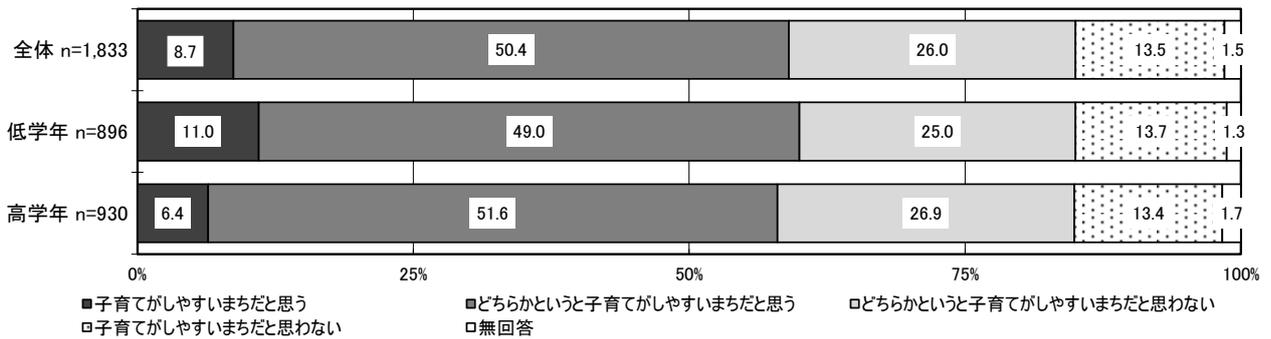
③ 東広島市は子育てがしやすいまちだと感じますか。

前回調査と比較して、「就学前」「小学生」ともに「子育てしやすいまちだと思う+どちらかという子育てがしやすいまちだと思う」が減少しています。

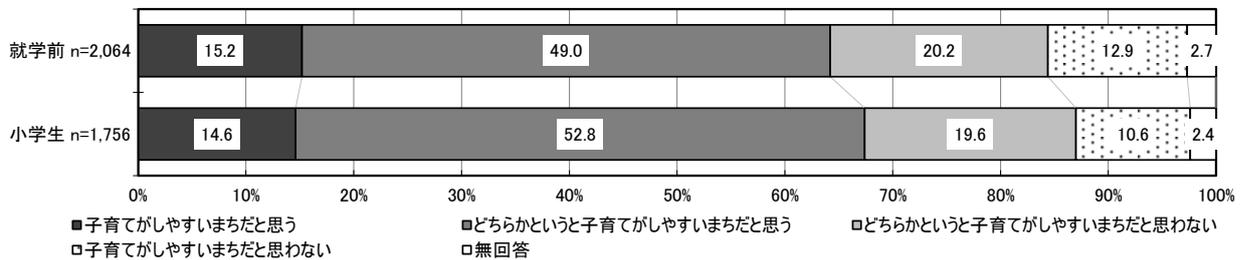
■ 就学前



■ 小学生



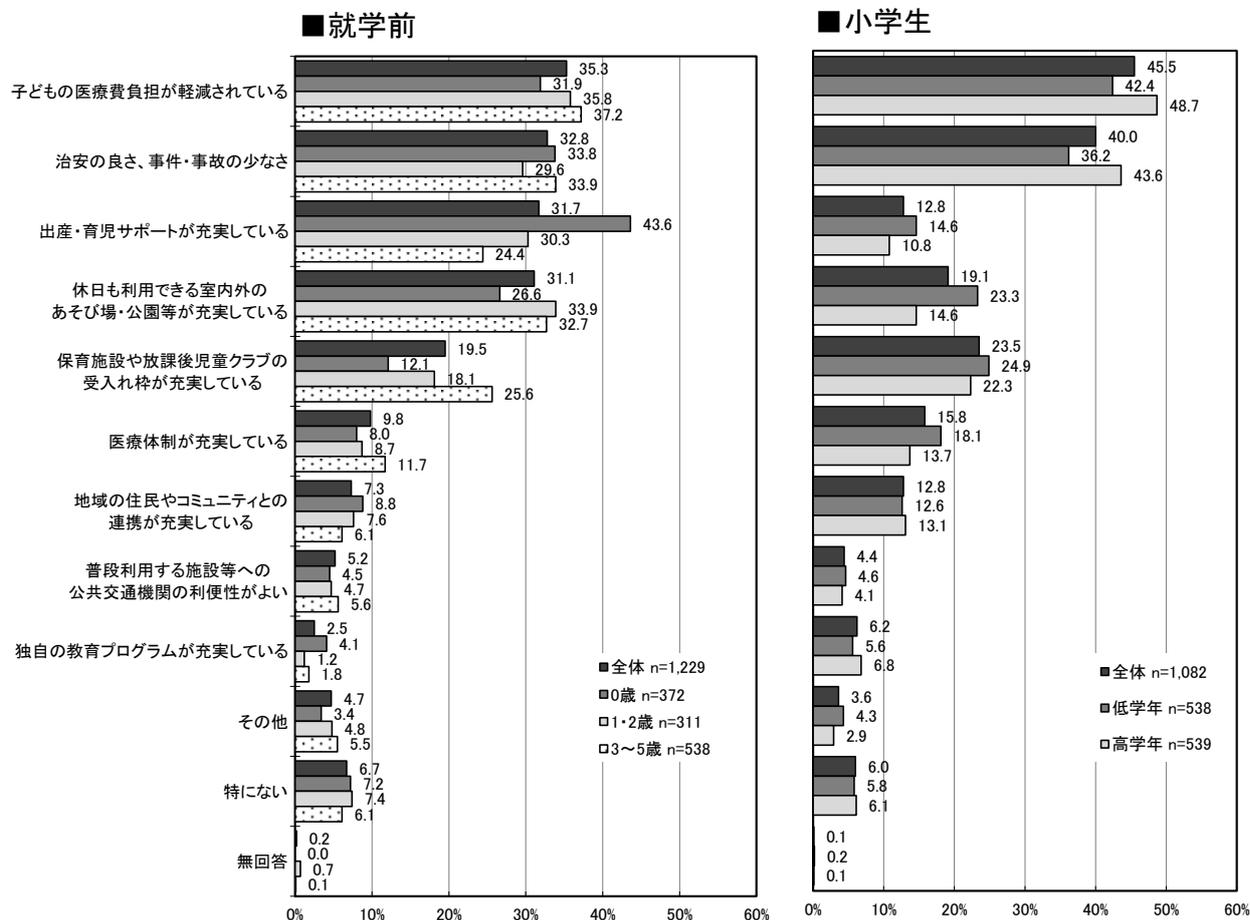
■ 前回(参考)



③9で「1」、「2」(子育てしやすい)と回答した人

③9-1 どういったところが子育てをしやすいまちであると感じますか。

“就学前”“小学生”ともに「子どもの医療費負担が軽減されている」「治安の良さ、事件・事故の少なさ」が高くなっています。“0歳”では「出産・育児サポートが充実している」が高くなっています。



④ 東広島市を子育てしやすいまちとするために大切なことはなんですか。

“就学前”では「保育施設や放課後児童クラブの受入れ枠の充実」が高くなっています。

“小学生”では「子どもの医療費負担の軽減」、次いで「医療体制の充実」が高くなっています。

